機械設備工事特記仕様書 No. 1

【工事概要】 1 工事場所 京都府福知山市三和町寺尾8004番地の丙 2 建物概要

-	X土1011以 文						
	建物名	構 造	階 数	延床面積(m²)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備考
	三和荘本館	RC造	3階	2555. 33 m²	16項イ	●甲 OZ	
	シャワー棟	W造	1階	85. 62m²	15項	O甲 ●Z	
						O甲 OZ	
						O甲 OZ	
,	구 古 된 ㅁ				●印をついたま	のを適田! 冬-	- ポレオス

				04 02
3 工事科目			●印をついたもの)を適用し、各一式とする。
建物 工事科目	1名称	三和荘本館	シャワー棟	
空気調和設備		•	•	0
換気設備		•	•	0
排煙設備		0	0	0
自動制御設備		0	0	0
衛生器具設備		•	•	0
給水設備		•	•	0
排水設備		•	•	0
給湯設備		•	•	0
消火設備		•	0	0
ガス設備		•	0	0
厨房機器設備		0	0	0
浄化槽設備		0	0	0
医療ガス設備		0	0	0
撤去工事		•	0	0
		0	0	0

【特記事項】 1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)令和 四年版」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築設備工事標準図(機械設備 工事編)令和 四年版(以下「標準図」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和 四年版」による。

	四年版」による。						
		事及び建築工事を含む場合、	その仕様は当該図面及び標準仕様書による。				
2	特記事項						
			適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。 				
章	項 目	特	記 事 項				
	※設備機材等	本工事に使用する設備機構	才等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。				
		ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。					
		また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針 」(以下、「グリーン調達」という。)					
		の特定調達品目を示す。					
		◆京都府ホームページ参照 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<pre>{</pre>				
	※機材の承諾	機材の承諾に際しては、原	原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監				
		修の機械設備工事機材承諾図	図様式集(最新版)によるものとする。				
-	※機材の品質	使用する機材が、(一社)	公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設				
般事	- 性能証明	備機材等評価名簿 (最新版)	」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第 1 編第1章				
項		第4節1.4.2(3)の品	品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略すること				
		ができる。					
			Eされる製作図・試験成績書等は除く。				
	※現場代理人		は、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監				
	W.F.C. III. C. IV.		D直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。				
	※電気保安技術者	※適用する 〇適用し	,ない				
	〇技能士(一級)	※配管(配管工事)					
	※工事用電力・水その他		『取付け》 〇冷凍空気調和機器施工 ・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。				

	※官公署への手続き ※工事用仮設物	借公者等への手続きは速やだ	Nに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。 ●る ○できない				
	※足場・作業構台		とる してさない 民置したものは、無償で使用できる。				
	※監督職員事務所		設置する (〇本工事 〇別途)				
	※監督職員事務所	下記の図書を監督職員事務所					
	に備え付ける図書		・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)				
		• 機械設備工事監理指針	・機械設備工事施工チェックシート				
		• 建築設備耐震設計施工排					
		·公共建築改修工事標準位	上様書(機械設備工事編) 編(最新版)				
	※建設副産物の処理	〇建設副産物の処理	〇引き渡しを要するもの 【 】				
	及び建設発生土の処理	右記のほか、	〇再生資源利用を図るもの【				
		現場説明書による。	○特別管理産業廃棄物				
			OPCB使用機器 O臭化リチウム O				
		〇建設発生土の処理	〇構外指定地に搬出処理 ※(一財)城陽山砂利採取地整備公社				
		右記のほか、	〇構外搬出適切処理				
		現場説明書による	(運搬及び処分費は 〇本工事 〇別途)				
		再生資源利用(促進)計画	○構内指示場所に敷き均し				
			事項 14 建設副産物の取扱い 2)再生資源利用(促進)計画・				
		実施書について」による。	事項 14 建放制连初0000000 2 / 丹土貝/601円 (促進/計画 ·				
			」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。				
			」及び「建設副産物等を理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物				
		処理報告書」により監督					
			↑に従い適切に破壊処分を行う(家電リサイクル法対象機器を除く)。				
			金、 処分費:※本工事 〇別途、 運搬費:※本工事 〇別途)				
		〇アスベストの処理等					
		1) 次の資機材のアスベス	ト今有の有無け以下による				
		〇ダクトパッキン	○含有 ○不含 ○要調査(分析資料数:)				
			〇含有 〇不含 〇要調査(分析資料数:)				
		〇煙道の断熱材	〇含有 〇不含 〇要調査(分析資料数:)				
		Oアスベスト成形板	〇含有 〇不含 〇要調査(分析資料数:)				
		アスベスト成形板の処理	里等				
		施工調査 アスベスト	成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項				
		について行	う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。				
		・アスベス	ト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認				
		・アスベス	ト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認				
		確認範囲	※成形板の製造年等の確認 〇×線解析法				
		2) アスベスト含有調査は					
			※本工事 O別途 とする。。)				
			2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法一第2部試料採取及び				
			判定するための定性分析方法」又はJIS A1481-3「建材				
			方法一第3部:アスベスト含有率の X 線回折定量分析方法」による。				
			は関係法令に従い適切に処理する。				
		調金の結果アスペスト記	含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。				
_		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

	※工事関係書類	福知山市工事書類一覧	持 記表により	<u>記</u> 提出。	事	項			
	※履行報告	月報 ※2部 〇3部	万 毎月	末に〆め、翌月の5	日までに提	 出する。			
	※工事写真	1) 国土交通省大臣官					丁事編(最	計品)	
		による。				- > 10×10×10×10H		/	
		2) 工事完成時、整理	凰の上、1	部提出する。					
		3) デジタルカメラで	を撮影可と	する。				_	
	※完成図書	名 称		内容	F		大きさ	部	娄
		〇完成図	金文字製	本			A 4版	1	咅
		●完成図	●背貼り	J製本(A2・A3版	Q) OA4	ファイル止め		2	台
		●施工図	●背貼り	J製本(A2・A3版	Q O A 4	ファイル止め		2	掊
		●機器完成図等	機器製作	図	ファイ	イル止め	A 4版	2	咅
				拿案内書(機器取説書					
			機器性能	⊧試験成績書・保証書	・施工の試	【験成績書		_	
		●諸官庁提出書類	副本					1	Ī
		〇原図	完成図・					1	台
		●完成写真	アルバム					2	掊
	\\\ \ \ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	電子納品については、			7 1 7 W=+	7.h.4	D4=++ 200	<u> </u>	
	※著作権等	当該建物において 譲するものとする。	以待する、	施工図等の著作権に	係わる当該	建物に限る使用	刊権は、発法	土石	-5
	※付属品及び予備品	標準仕様書によるほか	\ 別表 1	ニ よる					
	※総合試運転調整	〇風量調整 (測定共)		●水量調整 (測	定井)	〇室内外空気 <i>0</i>	の温湿度測を		
	(測定結果は報告書にて	〇室内気流及びじんは			~~//	OEFINEX	7.111111111111111111111111111111111111	_	
	提出)	〇飲料水の水質の測定		〇雑用水の水質	の測定				
	●耐震施工	1) 設備機器の固定に				独立行政法人强	* 築研究所	に修り	カ
				針2014年版」に					
		2) 下記の設計用水平	z震度(K	H)により、機器製	作固定を行	う。			
				●特定の施			め施設		
		設置場			-般機器	重要機器	一般機		
		上層階、屋上及		2.0 (2.0) 1.					-
		中間	階	1.5 (1.5) 1.					-
		1 階及び地	下階	1.0 (1.0) 0.	6 (1 .0)	0 .6 (1 .0)	0 .4 (0	.6)	
				〇特定の施	設	●	との施設		
		設置場	所	水槽			槽		+
		上層階、屋上及	び塔屋	2.0			. 5		1
		中間	階	1.5			. 0		1
		1 階 及 び 地		1 . 5			. 0		
		注1 お雪中へ州の/	/ ** T > CD **	の建物は株立の佐乳	+ 7 転の	7-3-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	た=n + '☆ 四 -	+ 7	_
		注1 耐震安全性の分		の建物は特定の施設 物の耐震安全性の分					
				合は、特定の施設を		。たたし、知り	四内10中級0	ク姓1	(M)
		注2()内の数							
		注3 設計用鉛直震度				•			
		注4 上層階の定義に				建の場合は上降	皆2階。		
		注5 重要機器(水棉						含む。	,)
		[1
		注 6 「建築設備耐震	Dene⊥ +t-						
- 1			を設計・他	工指針(2014年	版)」によ	る形鋼振れ止め	か支持を行う	う場合	合に
		S₄種とする。		工指針(2014年 収付け金物についてに			か支持を行	う場合	合に
	●一般用弁		ただし、耳		は標準図に準	準ずる。	か支持を行	う場合	合口
,	●一般用弁	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び図	ただし、耳 2. 2. 1 図面特記部	2付け金物についてに (ア)~(シ)によ の耐圧は10K以上	は標準図に準 るほか、下 、その他は	基ずる。 記による。		う場合	合 [
		標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び図 2)給水・給湯用の間	ただし、耳 2. 2. 1 図面特記部 『銅製弁は	Q付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使	は標準図に準 るほか、下 、その他は 用する。	≜ずる。 記による。 5 K以上とする	5.		
,	●一般用弁 ○フレキブルジョイント	標準仕様書第2編2 1) 水道直結部及び 2) 給水・給湯用の 機器廻りに取付ける	ただし、耳 2.2.1 図面特記部 背銅製弁は 3フレキシ	Q付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使	は標準図に準 るほか、下 、その他は 用する。	≜ずる。 記による。 5 K以上とする	5.		
	〇フレキブルジョイント	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする	ただし、耳 2.2.1 図面特記部 背銅製弁は るフレキシ	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、	は標準図に準 るほか、下 、その他は 用する。	≜ずる。 記による。 5 K以上とする	5.		
	〇フレキブルジョイント 〇伸縮管継手	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT	ただし、耳 2.2.1 図面特記部 計銅製弁は るフレキシ 。	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、	は標準図に準 るほか、下 、その他は 用する。	≜ずる。 記による。 5 K以上とする	5.		
	○フレキブルジョイント○伸縮管継手 (鋼管用)	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形	ただし、耳 2 2 1 図面特記部 折銅製弁は 3フレキシ 。 記による	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、	は標準図に準 るほか、下 、その他は 用する。	≜ずる。 記による。 5 K以上とする	5.		
	〇フレキブルジョイント 〇伸縮管継手	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形 溶接部の非破壊検査に	ただし、耳 2 2 1 図面特記部 折銅製弁は 3フレキシ 。 記による	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、	は標準図に準 るほか、下 、その他は 用する。	≜ずる。 記による。 5 K以上とする	5.		
	○フレキブルジョイント○伸縮管継手 (鋼管用)	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形 溶接部の非破壊検査に 〇適用しない	ただし、耳 2.2.1 図面特記部 調鋼製弁は 5フレキシ 5。 こ記による。 〇スリ	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 一ブ形	は標準図に対るほか、下、その他は用する。	≝ずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ刑	5.		
	○フレキブルジョイント○伸縮管継手 (鋼管用)○溶接接合	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の 機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形 溶接部の非破壊検査に 〇適用しない 〇適用する(〇放身	ただし、耳 2.2.1 図面特記部 新銅製弁は 5フレキシ ここによる 〇スリ は、 対線透過検	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 一ブ形	は標準図に対 るほか、下 、その他は 用する。 鋼板に対し	きずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ刑 深傷検査)	5。 ß、FRPI		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び	標準仕様書第2編21)水道直結部及び22)給水・給湯用の青機器廻りに取付けるでは合成ゴム製とする調管用伸縮管継手はTのベローズ形溶接部の非破壊検査にの適用しないの適用する(○放射1)給水管	ただし、耳2.2.1 図面特記はいます。このでは、1 部の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 一ブ形 査 ○浸透深傷検 (○要 ○不要)	は標準図に対 るほか、その他は 用する。 鋼板に対し 査又は磁粉 埋設表示用	きずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ刑 深傷検査) テープ (●要	S。 IS、FRPI O不要)		
	○フレキブルジョイント○伸縮管継手 (鋼管用)○溶接接合	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の青機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形 溶接部の非破壊検査は 〇適用しない 〇適用する(〇放身 1)給 水 管 類 2)消 火 管 類	ただし、耳2.2.1 名面特別は 2.2.1 部間製料は 5.2 レキション 1.3 のでは、 1.3 のでは、 1.3 のでは、 1.4 を	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 一ブ形 査 ○浸透深傷検 (○要 ○不要) (○要 ○不要)	は標準図に対 る、ほの他は 用する。 鋼板に対し 査工は破みの 強して を を を を を を を を を を の を る。 の を る。 の も る。 と る。 と う し る。 と う し る。 と り し る。 と る。 と る。 と る。 た う と う と う 、 の 、 の 、 の 、 の と う の 、 の と う の 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ刑 深傷検査) テープ(●要 テープ(○要	S。 FRPI O不要) O不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の青機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形 溶接部の非破壊検査は 〇適用しない 〇適用する(〇放射 1)給 水 管 対 2)消 火 管 対 3)ガ ス 管 対	ただし、耳2.2.1 1 2.2.1 1 部は 2.2.1 1 部は 3.5 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 一ブ形 査 ○浸透深傷検 (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要)	は標準図に対する、用類はは、 ののは、 ののはは、 ののはは、 ののはは、 をする。 がのしは、 がのしは、 がのいる。 がのい。 がのい。 がのいる。 がのいる。 がのい。 がのい。 がのい。 がのいる。 がのい。 がし。 がのい	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ刑 深傷検査) テーププ(○要 テーププ(○) 要要 テーププ(○)	び、FRPI の不要) の不要) の不要) の不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の青機器廻りに取付ける では合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形 溶接部の非破壊検査は 〇適用しない 〇適用する(〇放身 1)給 水 管 類 2)消 火 管 類	ただし、耳2・2・1 和 1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上、 糸水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 一ブ形 査 ○浸透深傷検 (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要)	は標準図に当ている。 は、用の他は、用するに対しは、表示ではは表表示では、 ないでは、表示では、ないでは、ないでは、ないでは、 ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、 をでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ刑 深傷検査) テーププ(○要 テーププ(○要 テーププ(○ファープ)	び、FRPI の不要) の不要) の不要) の不要) の不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び	標準仕様書第2編2 1)水道直結部及び 2)給水・給湯用の青機器廻りに取りにでは合成ゴム製とする 鋼管用伸縮管継手はT 〇ベローズ形 溶接部の非破壊を直に 〇適用しない 〇適用する(〇放身 1)給 水 管 は 2)消 火 管 は 3)ガ ス 管 は 4)油	ただし、耳1 2・2・1 1 部は2・2・1 部はシーンでは、 線理埋埋地では、 線を埋埋埋地では、 線標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標標	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上、 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 ーブ形 査 ○浸透深傷 (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要)	は標準図に当ない。 はないの他ののははないのでは、 ではないのでは、 ではないでは、 はないではないでは、 はないではないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズボ 深傷検査) テテーププ(○要要要 テテーププ(○ファープ) マラテープ(○アープ)	O不要) O不要) O不要) O不要) O不要) O不要) O不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び	標準仕様書第2編2 1)水子 2)給水・給湯用の 機器を 調管用伸縮管形 溶接部の非破い 〇適用から 0適用から 0適用から 0適用から 0適用から 0 2)消火管 3)ガス 4)油 5)ブライン管	ただし、I 2 2 1 1 3 1 2 2 3 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上、 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 ーブ形 査 ○浸透深傷 (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要)	は標準図に当ない。 はないの他ののは、 はないの他のののは、 ないの他のののは、 ないの他のののは、 ないの他のののは、 ないの他ののののでは、 ないの他のののでは、 ないの他のでは、 ないの他のでは、 ないの他のでは、 ないの他のでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 のいのでは、 ないのでは、	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズボ 深傷検査) テテーププ(○要要要 テテーププ(○ファープ) マラテープ(○アープ)	び、FRPI〇不要)〇不要)〇不要要要要〇不要要要要〇不要)〇不要)〇不要)		
	○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ	標準仕様書第2編21)水は直結湯用の青機を出する。 (2) 給水・給湯用の青機を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を表して、(2) は、(3) が、(3) が、(4) は、(5) が、(5) は、(5) は、(5) は、(6) は、	ただし、I 1 2	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上、 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 ーブ形 査 ○浸透深零 (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○の要 ○不要)	は標準図に当ない。 はないの他ののは、 はないの他のののは、 ないの他のののは、 ないの他のののは、 ないの他のののは、 ないの他ののののでは、 ないの他のののでは、 ないの他のでは、 ないの他のでは、 ないの他のでは、 ないの他のでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 のいのでは、 ないのでは、	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズボ 深傷検査) テテーププ(○要要要 テテーププ(○ファープ) マラテープ(○アープ)	び、FRPI〇不要)〇不要)〇不要要要要〇不要要要要〇不要)〇不要)〇不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第2編2 1) 水水・給湯用の間 機器の間間 機器の間間 機器の間 を	ただし、I 1 2	な付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上、 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 ーブ形 査 ○浸透深零 (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○要 ○不要) (○の要 ○不要)	は標準の、用鋼を重型では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ用 深傷検査() テテーププ(○) テテーププ(○) テテーププロ(○) テテーププロ(○) テテープフラック ・重ね合わせで	び、FRPI〇不要)〇不要)〇不要要要要〇不要要要要〇不要)〇不要)〇不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第2編2 1) 然水・給湯用の間 機合成 が いい に を で で は で は で は で で で で で で で で で で で で	ただし、耳 2. 2 面	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上、 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 ーブ形 査 ○浸透深深傷検 (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○で要 ○不不要) (○で要 ○不不要) (○ででで、でで置る。	は標準の、用鋼を重型では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ用 深傷検査() テテーププ(○) テテーププ(○) テテーププロ(○) テテーププロ(○) テテープフラック ・重ね合わせで	び、FRPI〇不要)〇不要)〇不要要要要〇不要要要要〇不要)〇不要)〇不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第2編2 1) 水銀 1 2) 給水・給湯用の 1 2 2) 給水・約 5 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	ただし、耳 2. 2 面	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上、 、給水用青銅弁を使 ブルジョイントは、 。 ーブ形 査 ○浸透深深傷検 (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○要 ○不不要) (○で要 ○不不要) (○で要 ○不不要) (○ででで、でで置る。	は標準の、用鋼を重型では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ用 深傷検査(●要 テテーププ(○○フ テテーププリカー を重ね合わせで 温材	び、FRPI〇不要)〇不要)〇不要要要要〇不要要要要〇不要)〇不要)〇不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第2編2 1) ※ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ただし、耳 2 2 1 1 1 2 1 2 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、給水用青銅弁をは、。 ーブ形	は標準の、用鋼 を関係であるには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ T 深傷検査() マテテープリ() マテテープリスト ではつりでは、 はべローズ T 深による。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	び、FRPI〇不要)〇不要)〇不要要要要〇不要要要要〇不要)〇不要)〇不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第2編2 2 1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ただし、耳1・11・11・11・11・11・11・11・11・11・11・11・11・1	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐圧は10K以上 、	は標準の、用鋼を重型では、下は、	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ T 深傷検査() マテテープリ() マテテープリスト ではつりでは、 はべローズ T 深による。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	び、FRPI〇不要)〇不要)〇不要要要要〇不要要要要〇不要)〇不要)〇不要)		
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第2編2 2 及の間を 2 2 及の間で 2 2 及の間で 2 2 及の間で 3 2 2 及の間で 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ただ2、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐には10K以上 の耐圧は10K以上使 ブルジョイントは、 。 一ブ形	は標は、用鋼 を埋埋埋埋埋 2 を フ保保冷 図に下は は表表表表表表 ついて は とし が が が が が が が が が が が が が が 用 用 用 用 用	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ形 深傷検査 ⁽⁾ (○○ 要要 要要要要要で(○○ せせで) 温材 ○○ ○ 準ずる。	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第32 名編2 2 2 及のできる。 3 2 2 2 及のできる。 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ただこの「耳」、1 部はシュース は、	収付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐には10K以上 の耐圧は10K以上使 ブルジョイントは、 。 一ブ形	は標は、用鋼 を埋埋埋埋埋 2 を フ保保冷 図に下は は表表表表表表 ついて は とし が が が が が が が が が が が が が が 用 用 用 用 用	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ形 深傷検査 ⁽⁾ (○○ 要要 アテテテテティーププリ(○○ せで) は 温材 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第2 編2 2 及のできる。	ただと、2面観りし、は、独中中中中では、「1部はシーム」を、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	取付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐水用 (シ) に以上使 ブルジョイントは、 。 一ブ形	は標は、用鋼 を埋埋埋埋埋 2 を フ保保冷 図に下は は表表表表表表 ついて は とし が が が が が が が が が が が が が が 用 用 用 用 用	まずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ形 深傷検査 ⁽⁾ (○○ 要要 アテテテテティーププリ(○○ せで) は 温材 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準仕様書第部2000 1 2 2 2 及の可ででは、	ただと、1年の大きなでは、「「「「」」、「「」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「	取付け金物についてに (ア) ~ (シ) によ の耐水用 (シ) K以上使 ブルジョイントは、 。 一ブ形	は標は、用鋼 査埋埋埋埋埋 2 を フ保保 冷 配 で	単ずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ形 深テテテテテーププププププログロース を を は で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準化量第部級別用付と手(2) 機は (2) 機は (2) 機は (3) が (4) と手(3) が (4) が (5) を持ち、 (5) を持ち、 (6) を持ち、 (6) を持ち、 (7) を持ち、 (7) を持ち、 (7) を持ち、 (7) を持ち、 (8) を持ち、	ただと、2面銅フ・こと、緑中世中中中でラアで、大き、標はする種脂のでは、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、	取付け金物についてに (ア) ~ (シ) によし (ア) ~ (シ) によし の耐水用イントは、 の耐水用イントができる。 一ブ形	は標は、用鋼 査埋埋埋埋埋 2 を フ保保 冷 配 で	単ずる。 記による。 5 K以上とする てはベローズ形 深テテテテテーププププププログロース を を は で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準化量 (1) (2) (2) (2) (2) (4) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	たと、日本のでは、「村本のでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きないでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きないでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きないでは、「大きなでは、「大きなでは、「大きないでは、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	取付け金物についてに (ア) ~ (シ) に以上使 (ア) ~ (10 の	は標はそす板では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型	ではなる。 記による。 まだは、	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準水・治・は、 (智管) を管管管管を引き、 (1) を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	たと、百つらに、は、対しもしものでです。 は、これでは、大きなでは、まないでは、大きなでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	収付け金物についてによいでは、ア)~(10 kh についてにより に 10 kh が が に 10 kh が が が が が が が が が が が が が が が が が が	はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はできるですが、 はできるですが、 はできるですが、 はできるですが、 はできるですが、 はできるですが、 はできるですが、 はできるですが、 にできるですが、 にできるですが、 にできるできるできますが、 にできるできますが、 にできまない。 にできまない。 にできないできない。 にできないできない。 にできないできない。 にできないをできないでをできないできなないできないできなないできないでをできなななでをできなななななななななな	単する。 記による。 5 K 以上とする てはベローズボ 深(の) (○) 要要要要で (○) で、 (○)	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準水台のでは、1 2 2 及用付と手を持直にいて、1 2 2 及用付と手を持直にいて、1 2 2 及用付と手を持直にいて、1 2 2 及用付と手を持った。 2 2 及用付と手を持った。 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	たと、日本のでは、「対したとのです」と、「対したとのです」と、「対したとのです」と、「対したのです」と、「おいって、「おいって、「おいって、「おいって、「おいって、「おいって、「おいって、「おいって、 「おいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、「はいって、」」、「はいって、」、「はいって、」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」」、「はいって、」、「はいって、」」、「はいって、」、「はいい、」、「はいいって、」」、「はいいって、」」、「はいい、」」、「はいいって、」」、「はいい、」」、「はいいって、」、「はいって、」」、	収付け金物についてによいでによいでによいでによりでででできます。 (ア) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ) (マ	はでは、用鋼 を工場では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型	単する。 記による。 5 K 以	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇下である。	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準水・治・スター (1) を (たと、百分のでは、対しとしとして、「下では、「大きな」では、対して、大きな、「大きな」では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	(マー	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋った フ保保冷 ・ 配 ・ カ ・ 鋼鋼を ・ 大変とのでは、 大変をできる。 ・ 一 は、 一 ないののでは、 は、 大変を表表、表、 ものです。 ・ は、 は、 大変を ・ で、 は、	単する。 記による。 5 K 以	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇下不要)	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標本 (1) 2 (2	たと、面銅つ。に、は、地色也也也プラ下で、、は、種にする物でである。に、線中中中中(「「下ででは、は、は、は、は、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型で	((() () () () () () () () () () () () (はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 ・ 配 ・ カ ・ ア鋼鋼るに は表表表表表長う ・ 一村村水不不の ・ に に に に と よ ・ と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	単する。 記による。 5 K K C C C C C C C C C C C C C C C C C	び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇下不要)	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準水・治・スター (1) を (たと、面銅つ。に、は、地地地地でプラトで、大型は、大型である。に、は、地地地地でプラトで、大型、横に、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、	取付け会 取付ける では、 では、 での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、ガー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ での、カー・ でいる。 での、カー・ でいる。 での、カー・ でいる。 で	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るに準にそす板 ・ 又設設設設設倍行 ・ オ温温温〇〇管 が 記板板。準図、のののでは表表表表長う ・ 一村材水不不の ・ こ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	単する。 記による。 5 K K は ベローズ T ((((((((((((((((((び、FRPI 〇不要) 〇不不要) 〇不不要要要) 〇不不要。 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇不可以 〇下不要)	二対 (
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理	標準 (1) (2) (2) (2) (3) (4) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	たと、面銅つ。記し、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	収付ける ((((((((((((((((((((((((((((((((((((はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフルーク	単する。 記による。 5 K は	び、 FR P(こ対し	
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温	標本 (1) 2 (2	たと、図前のでは、、・村也也也也プラでは、、特別では、大きでである。こと、・村也也也也プラでは、、村間では、大きでは、大きである。こと、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	収付ける ((((((((((((((((((((((((((((((((((((はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフを準にそす板 ・ 又設設設設設合行 ・ オ温温温〇〇管 パ 記板板。準ォ行図、のののは、は表表表表表長。 ・ 一村村水不不の ー に ずーう図、 で、下は、 し 粉用用用用用上 保 に に る〇〇 もにた	上ずる。 記に K は	び、 FR P(こ対し	
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温	標準 (1) (2) (2) (2) (3) (4) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	たと、図前のでは、、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	収付けった。 では、	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフを準にそす板 ・ 又設設設設設合行 ・ オ温温温〇〇管 パ 記板板。準ォ行図、のののは、は表表表表表長。 ・ 一村村水不不の ー に ずーう図、 で、下は、 し 粉用用用用用上 保 に に る〇〇 もにた	上ずる。 記に K は	び、 FR P(こ対し	
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温	標) () () () () () () () () () (たと、図前のでは、、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	取付けった。 では、 では、 では、 では、 とは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	はでは、用鋼 ・	上ずる。 記に K は	3。 ジ、FRP(の () () () () () () () () () (う範围	
	 ○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 	標) (2 及用付と手) 検 (2 を育り は (2	たと、図前のでは、、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	取付けった。 では、 では、 では、 とは、 では、 とは、 では、 とは、 では、 とは、 では、 とは、 では、 では、 とは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	はでは、用鋼 ・	上ずる。 記に K は	5。 「	う範に	し
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ● 保温 ● 公登装 ● 吹出口及び吸込口	標) は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	たと、図前ののには、対し也也也也でです。 は、となりに下校では、これでは、一般で中中中では、下では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	取付けつの、ブーク 査(((((()) グラン・ では、 こう では、 こう では、 こう では、 こう では、 こう では、 こう がっていた。 一 査((((()) グラン・ では、 こう では、 こう では、 こう がっていた。 では、 こう がっていた。 では、 こう がいから はいがった。 では、 こう がいから はいがった。 では、 こう はいがった。 では、 こう がいから はいがら では、 こう がいから では、 こう	は、用鋼 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設準にそす板 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 パ 記板板。準オ行ク 板備図かのるに は表表表表表長う 一村材水不不の ー に ずーうト 製用図いののもの 磁示示示示示以 と でしていました 粉用用用用用上 保 管要要項 2 よ る〇〇 もにた面 すクットは し 粉用用用用用上 保	上ずる。 記に K は	5。 「	う範に	し
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ● 保温 ● 公登装 ● 吹出口及び吸込口	標) (2 及用付と手) 機は管 (2 及用付と手) 機は管 (2 及用付と手) 機は管 (2 及用付と手) 機は管 (2 及用付と手) 検 (2 及用付と手) (2 及用付と用付と用付と用付と用付と用付と用付と用付と用付と用付と用付と用付と用付と用	たとの前のでは、対地地地地で「ラ下」、「横温橋はす装樹ンの一一で、「配室」・1年と、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	取付けつの、ブークでは、	は、「大きな、、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、」、「ない、」、「ない、「ない、」、「ない、、」、「ない、、」、「ない、、」、「ない、」、「ない、」、「ない、」、「ない、、」、「ない、」、「ない、」、「ない、」、「ない、」、「ない、、」、「ない、、」、「ない、、」、「ない、、、、、、、、、、	上ずる。 記に K は	5。 「	こか う 範駆 ト ト ルのと	し
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ● 体温 ● 体温 ● なび吸込ロボックス	標))機は管〇接の回答では、1))のでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	たとの前のでは、対地地地地でプラ下で、構造権はす装樹である。には、線中中中中でプラ下で、構造権はす装樹である一で、記憶でいる亜亜配で、の〇〇ての鉛支い、記弁キーよス、過設設設設設は二に「気」ら、の0。別カス属鉛鉛管〇〇配「ダ、0鉄持」「1部はシ」るり、検標標標標標1ンよ「筒」の「蓋m」はバ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇ク特9板を	取付けつの、ブークでは屋上では、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	は、用鋼 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ準にそす板 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 バ 記板板。準オ行ク 板備すな図、ののるに は表表表表表長う 一村村水不不の ー に ずーうト 製用るいのののでで、他で、 は 管要要項 2 よ るム。 と とず。場に、 は し 粉用用用用用上 保 に に こ る〇〇 もにた面 すク 合	上ずる。 記に K は	5。 「	こか う 範駆 ト ト ルのと	し
	 ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ● 欧出口及び吸込口ボックス ○ステンレス製ダクトの板厚 	標))機は管〇接の回答では、「大きな」と、「大きな」、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「大きな」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」、「ない」、「ない」と、「ない」と、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」	たと図言うでは、対地地地地で「下で、「「大きなに」、技術である。こと、対地地地地で「下で、「一様に「大楼」であって、「一記室」の、ののは、「記弁キーよス」過設設設設設は二に「気」ら、の0。別カス属鉛鉛管〇〇配「ダ、0鉄持は「「1部はシ」るり「検標標標標標」」とよ「筒」の「蓋m」はバ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇ク特9板を「「一年で、「一番で、「一番で、「一番で、「一番で、「一番で、「一番で、「一番で、「一番	取付けつの、ブークでは関係では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ2準ほそす板 ・ 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 パ 記板板。準オ行ク 板備すな0g、かのるに は表表表表表長う 一村村水不不の ー に ずーうト 製用るい1gに、 他の 管要要項 2 よ るム。〇 とにた面 すク 合に)で下は し 粉用用用用用上 保 に に に る〇〇 もにた面 すク 合に)	上ずる。 記に K は	5。 「	こか う 範駆 ト ト ルのと	し
	 ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テーブ ○防食処理 ●保温 ●吹出口及び吸込口ボックス ○ステンレス製ダクトの板厚 ●ボックス 	標))機は管〇接の回答の一つの一つの一つの一つの一つの製管を関すると、「大学」を表現して、「大学」を表現って、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現して、「大学」を表現って、「大学」を表現って、「大学」を表現って、「大学」を表現って、「大学」を表現って、「大学」を表現って、「大学」を表現って、「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現りまする。「大学」を表現れば、「大	たと四前のでは、対地地地地でプラドで、大震な間に大関であるでは、配室の、30分でに、動調のでは、線中中中中で「では、横にはす装掛ンの一で、記憶に1年恵し、の一のでは1年点板は、、記弁キーよス、過設設設設設は二に「気」ら、の0。別カス属鉛鉛管〇〇配「ダ、0鉄持は樹」1部はシーるり、検標標標標標1ンよ「筒」の、蓋m」はバ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇ク特9板を「脂」	取付けつの、ブークでは関係では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ2る ・ 準にそす板 ・ 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 パ 記板板。準ォ行ク 板備すな0。図、他ののは、は表表表表長う ・ 一村村水不不の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	上ずる。 記に K は	5。 「	う範ををしている。	し ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー に も に も に も に に に に に に に に に に に に に
	 ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ● 欧出口及び吸込口ボックス ○ステンレス製ダクトの板厚 	標))機は管〇接の〇)))。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	たと四前のでは、対地地地地でプラ下は、標品槽はす装掛であって、配室の、30倍量だ2特製レーに〇、綾理埋埋埋埋幅イ記・排・か、等2る種脂レ金亜亜配・の『〇て0鉛支厚、は、・記弁キーよス・過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持は樹表11部はシーるリー検標標標標標1ンよ 筒 の 蓋m はバ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇ク特9板を 脂示	取付けつの、ブークでは、	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ2る ・ 準にそす板 ・ 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 パ 記板板。準ォ行ク 板備すな0。図、他ののは、は表表表表長う ・ 一村村水不不の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	上ずる。 記に K は	5。 「	う範ををしている。	し ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー に も に も に も に に に に に に に に に に に に に
	 ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テーブ ○防食処理 ●保温 ●吹出口及び吸込口ボックス ○ステンレス製ダクトの板厚 ●ボックス 	標))機は管〇接の合うのでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	たと四前のでは、対地地地でプラドで、大震な関い大関である。では、対地地ではついて、大震な関い大関である。では、大関で大関である。では、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な関い、大震な対象をは、大震な、大震な、大震な、大震な、大震な、大震な、大震な、大震な、大震な、大震な	取付けつの、ブークでは関する。 ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 配 カ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ2るる ・ 準にそす板 ・ 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 パ 記板板。準才行ク 板備すな0。。 図、 のるに は表表表表長う ・ 一村村水不不の ・ に ずーうト 製用るい1 だば、下は、し ・ 粉用用用用用上 保 に こ る〇〇 もにた面 すク 合に し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	上する。 記言 に に は	5。 「	た	
	 ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ●体温 ●なび吸込口ボックス ○ステンレス製ダクトの板厚 ●ボックス ●容量等の表示 	標))機は管〇接ののでは、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	たと、図前のでは、対地地地地でで下で、「特別では、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、一切では、「大きなでは、大きないでは、大きなでは、まないでは、大きなでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	取付けつの、ブーー 査((((()」)では、	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 ・ 配 ・ カ ・ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ2るる 誘導にそす板 ・ 又設設設設設倍行 ・ オ温温温〇〇管 パ 記板板。準オ行ク 板備すな0。。 導図かのるに は表表表表長う ・ 一材材水不不の ・ に ずーうト 製用るい1 た 電いているの ・ は を まる ・ と ダ ・ は 動いに、 は も	上する。 記言 に に は	5。 「	た	
	 ○フレキブルジョイント ○仲縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ●体温 ●なび吸込口ボックス ○ステンレス製ダクトの板厚 ●ボックス ●容量等の表示 	標))機は管〇接の合うのでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	たと四前のでは、対地地地地でプラトで、大震・横にす装樹ンの一で、配室の「ひょうに置いて草だ2特製レーに〇、線中中中中中(「大震・横にす装樹ンの一で、配室の「ひょうに数に動し、記弁キーよス」過設設設設設は二に 気 ら の0。別カス属鉛鉛管〇〇配 ダ、0鉄持は樹表値W機「1部はシーるり」 検標標標標標1ンよ 筒 の 蓋m はパ鋼製鉄鉄の硬ビ管〇ク特9板を 脂示以以一	取付けの、ブーー 査((((() 5 グる 一板カ板板保質ーは屋ト記(で標 J 製さ下上低いによと使、	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 ・ 配 ・ カ ・ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ2るる 誘モ準にそす板 ・ 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 パ 記板板。準才行ク 板備すな0。。 導一図 ・ ののもに は表表表表長う ・ 一	上する。 記言 に に は	5。 「	た	
	○フレキブルジョイント ○伸縮管継手 (鋼管用) ○溶接接合 ●地中埋設標及び 埋設表示用テープ ○防食処理 ●保温 ●保温 ○応食処理 ●のボックス ○ボックス ○容量等の表示 ○誘導電動機	標))機は管〇接ののでは、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型	たと四前のでは、対地地地地でで下し、大震なでは、大きである。これでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	取付けの、ブーー 査(((((() グる 神の 、一板カ板板保質ーは屋ト記(で標J製さ下上低ウール、ブーラー ・	はでは、用鋼 ・ 査埋埋埋埋埋2を フ保保冷 ・ 配 ・ カ ・ 下鋼鋼るにフをダ 鉄設とれ2るる 誘モ準にそす板 ・ 又設設設設設倍行 オ温温温〇〇管 パ 記板板。準才行ク 板備すな0。。 導一図 ・ ののもに は表表表表長う ・ 一	上する。 記言 に に は	5。 「	た	

章	項目			特	記	事	I	<u></u>	
	●はつり	1) 既存(のコンク	リート床	・壁等の配管	貫通部の穴あ(ナは、原則とし	てダイヤモン	ノドカッターを
		使用する							_
				L紺修士	でとする。				
	● /> # ##*					女+悪・生・土・土・土・土・	50 经 50 年 10	- L 7	
	●インサート及び				う場合は、改作				// /* === / 7== //
	アンカー	施工後確認	認試験 〇		国土交通省大臣			改修工事標準	仕禄書(建築
					事編)(平成	3 1 年度))(こよる。		
				行わなし	۸,				
	〇防煙ダンパー及び	復帰方式	t Oi	遠方復帰	式 (電気式	(定格入力 1	DC24V 0). 6 A 以下))
	防火防煙ダンパー		0=	手動復帰	式				
	●消音内貼	ダクト及び	びチャン	ヾー、消	音エルボの内見	より(箇所図え	示) は下記によ	:る。	
		・消音に	内貼り部分	分の外部	3保温は ●2	r要 O』	沙要		
					外形寸法を示す				
					音エルボは、「		+)		
					は断熱戸とする		, ,		
	▲ 1°1 × ++ +						あんさい ホル ス		
	●ドレン抜き	外壁に囲	9 るカフ	ノル・直接	を取付けるチャ:	ノハ一類に必要	とに心し設ける	0 0	
	075/114	nt . ===							
	O取付枠				口、吸込口等		要とするものは	「鋼枠を使用す	る。
	●機器の基礎				は、下記による	-			
)溶融亜鉛メッ	ŧ ⊕si			
		・その			一般品	0)		
#		●機器側	の材質が	SUS製	』の場合は、S	JS製とする。			
共	●防火区画	●平面階	(ン図示	0				
	〇掲示板	機械室に	操作順序、	注意事	項、連絡先及	び系統図などる	を画いた掲示板	を設ける。	
	〇天井仕上区分	(書きの	室名 は直	[天井を示し、	その他は二重	天井を示す。		
通	〇給油設備	地下オイ				〇設けない			
		遠隔油量			〇設ける	- m			
			副指示計			- m			
事		オイルサ-			<u>○設ける</u> 油面計 ○ゲ-		ガラス管式		
尹		ייניטל די ני	こへひこ	· /					
					油面制御装置の				
						プの起動、停」			
項				L		プの起動、停」	上制御用		
1				L	〇満油警報				
					〇遠隔警報 ((
		油管(露	出、トラコ	フ内)	〇配管用炭素銀	鋼鋼管 (黒)	0		
		油管(地口			〇ポリエチレ:		0		
	〇建物導入部配管				フレキシブ ルシ゛ョイント				
	(排気及び通気を除く)	〇標準図			ドールジョイントを使				
	(排気及び通気を除く)				マリークッションを使用				
	O AMILLA								
	〇鋼材	屋外部分	-		かっき (〇2科				
			0:	ステンレ	·ス鋼製(SU:				
	○制御及び操作盤	構成			〇進相コンデン	ノサー			
					○運転時間計				
		表示等			〇運転 (赤色)	及び停止(約	录色)表示		
					〇保護継電器の	D動作表示			
		接点及び	端子		〇遠方発停用站	常子			
					〇湿度調節器月				
					〇運転時間表示				
					〇温水出入口流				
			〇冷水出入口温度用端子						
						- m / /		it Til IB '* 그는 기	_ /- '# CD'
								小型貫流ボイ	
					〇給水量表示月	月端子 (ボイラ	ラーの場合、小	型貫流ボイラ	一に適用)
		O 会 空 气	+ + (Or		〇給水量表示月 〇燃料消費量素	月端子(ボイラ 長示用端子(オ	ラーの場合、小	型貫流ボイラ	一に適用)
	●主方式	〇全空気			〇給水量表示月 〇燃料消費量素 〇各階ユニッ	月端子(ボイラ 長示用端子(カト)	ラーの場合、小 ドイラーの場合	型貫流ボイラ	一に適用)
		0ファン:	コイル・	ダクト併	〇給水量表示月 〇燃料消費量 〇各階ユニッ 用方式	月端子(ボイラ 長示用端子(オト) ●個別方式	ラーの場合、小 ドイラーの場合 〇	◇型貫流ボイラ ◇、小型貫流ボ	一に適用)
	●主方式 ●主要熱源機器	〇ファン	コイル・台温水機	ダクト併 C	〇給水量表示月 〇燃料消費量 〇各階ユニッ 月方式 ・サングユニ・	用端子(ボイラ 表示用端子(オト) ●個別方式 ント (5 一の場合、小 ドイラーの場合 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	型貫流ボイラ : 、小型貫流ボ - トポンプユニ	ーに適用) イラーに適用) ニット
空气		○ファン:○吸収冷:●空冷ヒ・	コイル・ 温水機 ートポン	<mark>ダクト併</mark> C プ式パッ	〇給水量表示 〇燃料消費量 〇各階ユニッ F用方式 ・ケージ形空気	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ ト) ●個別方式 ット (週和機 (● E I	5 一の場合、小 ドイラーの場合 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	型貫流ボイラ : 、小型貫流ボ - トポンプユニ	一に適用)
空気鋼		○ファン:○吸収冷:●空冷ヒ・	コイル・ 温水機 ートポン	<mark>ダクト併</mark> C プ式パッ	〇給水量表示月 〇燃料消費量 〇各階ユニッ 月方式 ・サングユニ・	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ ト) ●個別方式 ット (週和機 (● E I	5 一の場合、小 ドイラーの場合 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	型貫流ボイラ : 、小型貫流ボ - トポンプユニ	ーに適用) イラーに適用) ニット
空気調和		○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー	コイル・: 温水機 ートポン トポンプ式	ダクト併 で プ式パッ ルーム形	○給水量表示F ○燃料消費量量 ○各階ユニッ 用方式 ・チリングユニッケージ形空気i 空気調和機(●E	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ ト) ●個別方式 ット (週和機 (● E I	ラーの場合、小 ドイラーの場合 〇 〇 〇空気熱源ヒー HP 〇GHP	型貫流ボイラ : 、小型貫流ボ - トポンプユニ	ーに適用) (イラーに適用) ニット)
空気調和設	●主要熱源機器	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー	コイル・ 温水機 ートポン	<mark>ダクト併</mark> C プ式パッ	〇給水量表示 〇燃料消費量 〇各階ユニッ F用方式 ・ケージ形空気	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ ト) ●個別方式 ット (週和機 (● E I	ラーの場合、小 ドイラーの場合 〇 〇 〇空気熱源ヒー HP 〇GHP	型貫流ボイラ 、小型貫流ボ - トポンプユ <i>=</i> ・ 〇	ーに適用) (イラーに適用) ニット)
空気調和設備	●主要熱源機器	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー●空冷ヒー場 原	コイル・: 温水機 ートポン トポンプ式	ダクト併 プ式パッ ルーム形 屋	○給水量表示F ○燃料消費量量 ○各階ユニッ 用方式 ・チリングユニッケージ形空気i 空気調和機(●E	用端子 (ボイラ 長示用端子 (オト) ●個別方式 ソト (順和機 (●EI	ラーの場合、小 ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋(型貫流ボイラ 、小型貫流ボ - トポンプユ <i>=</i> ・ 〇	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直)
空気調和設備	●主要熱源機器	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー●空冷ヒー場 原時 其	コイル・台温水機 ートポンプ式	ダクト併 プ式パッ ルーム形 屋	○給水量表示 ○燃料消費量素 ○各階ユニッ 用方式 シチリングユニッケージ形空気 空気調和機(●E 外	用端子 (ボイラ 長示用端子 (オト) ●個別方式 ソト (順和機 (●EI	ラーの場合、小 ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋(型貫流ポイラ、小型貫流ポイラ・トポンプユニ	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直)
空気調和設備	●主要熱源機器	○ファン: ○吸収冷に ●空冷ヒー ●空冷ヒー 場 原 時 其	コイル・ 温水機 ートポンプ式 トポンプ式 明 温度 ロ	ダクト併 プ式パッ ルーム形 屋 (DB)	〇給水量表示 〇燃料消費量素 〇各階ユニッ 月方式 〇チリングユニッケージ形空気 空気調和機(●E 外 湿度(RH) 65.9%	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ を関われる) が	ラーの場合、小 ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0%	型貫流ポイラ 、小型貫流ポ ートポンプユ= 〇 内 (調整目標 温度 (DB)	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH)
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件	○ファン:○吸収冷止・●空冷止・場 原時 其夏 其	コイル・ 温水機 ートポンプ式 所 調	ダクト併 プ式パッ ルーム形 屋 (DB)	〇給水量表示 〇燃料消費量素 〇各階ユニッ 月方式 〇チリングユニッケージ形空気 空気調和機(●E 外 湿度(RH) 65.9%	用端子 (ボイラ 表示用端子 (オト) ●個別方式 ソト (順和機 (●EI HP O	ラーの場合、小 ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0%	型貫流ポイラ 、小型貫流ポ ートポンプユ= 〇 内 (調整目標 温度 (DB)	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) %
空気調和設備	●主要熱源機器	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー場 月時 其夏 其○アング/	コイル・ 温水機 ートポンプ式 所 温度 明 36	ダクト併 プ式パッ ルーム形 屋 (DB) . 4℃ . 9℃ ジエ法	 ○給水量表示 ○燃料消費量素 ○各階ユニッ 戸サングユニッケージ形空気 空気調和機(●E 外 昼度(RH) 65.9% 63.1% 	用端子(ボイラ 表示用端子(ガト) ●個別方式 ソト (側和機 (●EI HP O 温度 (DB) 22.0°C 26.0°C	ラーの場合、小 ドイラーの場合 〇 〇 〇空気熱源ヒー HP 〇GHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0%	型貫流ポイラ 、小型貫流ポ ートポンプユ= へ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) %
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー場 月時 月を 月○アング/○コーナー	コイル・ 温水機 ートポンプ式 所 温度 明 36 明 フラン:	ダクト併 プ式パッルーム形 屋 (DB) . 4℃ . 9℃ ジエ法 (C	 ○給水量表示 ○燃料消費量 ○各階ユニッ ・用方式 ・ケージ形空気 ・空気調和機(●E 外 昼度(RH) 65.9% 63.1% ○共板フランジ 	用端子(ボイラ 表示用端子(ガト) ●個別方式 ソト (側和機 (●EI HP O 温度 (DB) 22.0°C 26.0°C	ラーの場合、小 ドイラーの場合 〇 〇 〇空気熱源ヒー HP 〇GHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0%	型貫流ポイラ 、小型貫流ポ ートポンプユ= へ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) %
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー場 所時 期②アング/○コーナー○割込み:	コイル・ 温水機 ートポンプ式 所 温度 明 36 明 フラン:	ダクト併 C プ式パッ ルーム形 (DB) 4℃ ・ 9℃ ジエ法(C C	 ○給水量表示 ○燃料消費量 ○各階ユニッ ・用方式 ・ケージ形空気 ・ウケージ形空気 ・ウケージの ・タ ・ 日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	用端子(ボイラ 表示用端子(ガ ト) ●個別方式 ソト (側和機 (●EI HP O 温度 (DB) 22.0°C 26.0°C	ラーの場合、小 ドイラーの場合 〇 〇 〇空気熱源ヒー HP 〇GHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0%	型貫流ポイラ 、小型貫流ポ ートポンプユ= へ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) %
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー場 所時 期②アンーナー○割込み冷温水管	コイル・ 温水機 ートポンプ式 所 温度 明 36 明 フラン:	ダクト併 C プ式パッ を (DB) 4℃ ・9℃ ご工法(C でご に の配管	〇給水量表示 〇燃料消費量3 〇各階ユニッ ・ 用方式 ・ アージ形空気 ・ 空気調和機 (● E 外 ・ 湿度 (RH) ・ 65.9% ・ 63.1% ・ 196 ・ 196 196 196 196 196 196 196 196	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ シト (側の方式 シト (側の形形で) (側の形形で) (回りで)	ラーの場合、小 ドイラーの場合 〇 〇 〇空気熱源ヒー HP 〇GHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0%	型貫流ポイラ 、小型貫流ポ ートポンプユ= へ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) %
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー場 所時 期②アンーナー○割込み冷温水管	コイル・ 温水機 ートポンプ式 所 温度 明 36 明 フラン:	ダクト併 プルーム 屋 (DB) .4℃ .9℃ .2 工法(C ○配管	○給水量表示月 ○燃料消費量子 ○各階ユニット ・ケージ形空気に 空気調和機(●E 外 湿度(RH) 65.9% 63.1% ・サージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ガト) ●個別方式 ット 順和機 (●EI HP O 温度 (DB) 22.0°C 26.0°C 工法 Oスー コ)	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0%	型貫流ボイラ 、小型貫流ボ ートポンプユニ ウ 〇 対 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) %
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー場 所時 期②アンーナー○割込み冷温水管	コイル・ 温水機 ートポンプ式 所 温度 明 36 明 フラン:	ダクト併 プルーム 屋 (DB) .4℃ .9℃ .2 工法(C ○配管	〇給水量表示 〇燃料消費量3 〇各階ユニッ ・ 用方式 ・ アージ形空気 ・ 空気調和機 (● E 外 ・ 湿度 (RH) ・ 65.9% ・ 63.1% ・ 196 ・ 196 196 196 196 196 196 196 196	用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ガト) ●個別方式 ット 順和機 (●EI HP O 温度 (DB) 22.0°C 26.0°C 工法 Oスー コ)	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0%	型貫流ボイラ 、小型貫流ボ ートポンプユニ ウ 〇 対 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) %
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン:○吸収冷:●空冷ヒー場 所時 期②アンーナー○割込み冷温水管	コイル・ 温水機 ートポンプ式 明 温度 の 明 3 6 ルーボ法	ダクト併 プルーム 屋 (DB) ・4℃ ・9℃ ・2 法 ・2 に 〇配配管 にの位置	○給水量表示月 ○燃料消費量子 ○各階ユニット ・ケージ形空気に 空気調和機(●E 外 湿度(RH) 65.9% 63.1% ・サージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・・クージ・	開端子(ボイラ 表示用端子(ガト) ●個別方式 シト リカ和機(●EI HP O 温度(DB) 22.0℃ 26.0℃ 正法 Oス・ コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ)	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O O D 空気熱源ヒー HP O GHP) 屋 「 温度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラ	型貫流ボイラ 、小型貫流ボ ートポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) C つ ・ C ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	 ○ファン: ○吸収冷: ●空冷ヒー 場時 基期 ○アンーナー ○割水管 冷却水管 	コイル・ 温水機 ートポンプ式 明 温度 の 明 3 6 ルーボ法	ダクト併 プル 屋 (D B) C C C C C C C C C C C C C C C C C C	○給水量表示 ○燃料消土ニッ ・	開端子(ボイラ 表示用端子(ガト) ●個別方式 ット 順和機(●EI HP O 温度(DB) 22.0°C 26.0°C 工法 Oスー コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ) コ)	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O O D 空気熱源ヒー HP O GHP) 屋 「 温度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラ	型貫流ボイラ 、小型貫流ボ ートポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) C つ ・ C ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	 ○ファン: ○吸収冷: ●空冷ヒー 場時 基期 ○アンーナー ○割水管 冷却水管 	コイル・ 温水機 ートポンプ式 明 温度 の 明 3 6 ルーボ法	ダクト併 プル	○給水量表示 ○燃料消土 ッ ・	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ガート) ●個別方式 ツト 側和機(●EI HP 〇 温度(DB) 22.0°C 26.0°C 工法 〇スー 自) 管 (SGPー 自) 管 (SGPー 自) を を を は の に の の に に の に に の に の に の に の に の に の に に に の に の に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラー VA、SGP 安合 OMD	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ○ ℃ ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	 ○ファン: ○吸収冷: ●空冷ヒー 場時 基期 ○アンーナー ○割水管 冷却水管 	コイル・ 温水機 ートポンプ式 明 温度 の 明 3 6 ルーボ法	ダクト (H) C)	○給水量表示 ○燃料消ユニッ ・	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ガート) ●個別方式 ツト 側和機(●EI HP 〇 温度(DB) 22.0°C 26.0°C 工法 〇スー 自) 管 (SGPー 自) 管 (SGPー 自) を を を は の に の の に に の に に の に の に の に の に の に の に に に の に の に の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラー VA、SGP 安合 OMD	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ○ ℃ ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン: ○吸収冷ヒー ●空冷ヒー ● 場	コイル・ コイル・ 温水機 ートポン式 調明 36 ロリース スート・ は 10 ロリース は 20 ロース は 20 ロース に 20 ロース に 30 ロース に 40 ロース に 40 ロース に 50 ロース に 50 に	ダクケ 式ル	○給水量表示 ○燃料消ユニッ ・	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ガラ) 別方式 リカト機(●EI HP O 温度(DB) 22.0°C 26.0°C 工法 O らいで はいている。 はいる。 はいている。 はいている。 はいている。 はいる。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいている。 はいな。 はいな。 はいないる。 はいないる。 はいないる。 はいないる。 はいる。 はいる。 はいないる。 はいないる。 はいないる。 はいないる。 はいないる。 はいないる。 はいな。 はいないる。	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラー VA、SGP 安合 OMD	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ○ ℃ ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン: ○吸収冷ヒー ●空冷ヒー ● 場	コイル・ コイル・ 温水機 ートポン式 温度 の明 36 ラフルーエ 大管	ダク 式ル	○給水量表示 ○燃料消ユニック ・	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ガラ) りの のの のの はの はの はの はの はの はの はの は	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラー VA、SGP 安合 OMD	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ○ ℃ ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン: ○吸収冷ヒー ●空冷ヒー ●空冷ヒー 場 時	コイル・ コイル・ 温水機 ートポン式 温度 の明 36 ラフルーエ 大管	ダ ク 式	○給水量表示 ○燃料消ユニック ・ 大空 外 湿度 (RH) ・ 日	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ガラ) り	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラー VA、SGP 安合 OMD	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ○ ℃ ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン: ○吸収冷ヒー ●空冷ヒー ●空冷ヒー 場 時	コイル・ コイル・ 温水機 ートポン式 温度 の明 36 ラフルーエ 大管	ダ プル	○ 合名 水 温表 景 景 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗	開端子 (ボイラ 長、	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラー VA、SGP 安合 OMD	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ○ ℃ ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン: ○吸収冷ヒー ●空冷ヒー ●空冷ヒー ●変 男 男 男	コイル・ コイル・ 温ートポープ式 温ートポープ式 温度 C G ランルーエ 大管 気管	ダクケース	○ 合称水量表示量。	開端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ) 上の個別方式 (● EI HP O) 温度 (D B) 2 2 6 . 0 ° C	ラーの場合、小ドイラーの場合 O O空気熱源ヒー HP OGHP) 屋I 湿度 (RH) 40.0% 50.0% ライドオンフラー VA、SGP 安合 OMD	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ○ ℃ ランジエ法)	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ファン: ○ファン: ○ファン: ○ファン: ○ 空空冷	コイル・ コイル・ 温ートポープ式 温ートポープ式 温度 C G ランルーエ 大管 気管	ダク ガル	○ 合名 水 温表 景 書 豊 ッ ()	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ) ● M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	ラーの場合、小ボイラーの場合 の の の の の の の の の の の の の	型貫流ポイラン、	ーに適用) ・イラーに適用) ・マト) 直) ・湿度(RH) ・% ・%
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○フ吸空冷 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒 が かっと	コニート 所 明 明 リーエ	ダク 式ー	○ 合給 水 当	開端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ を	ラーの場合、小ボイラーの場合、小ボイラーの場合 O つ	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃ ・ ○ ℃ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) % %
空気調和設備	 ●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) 	○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	コニート 所 明 明 リ フ ボ 法 管 気 管 デジャー・	ダブル () ユンエ () ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ 合給水温表電子の	開端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ 表示用端子 (ボイラ を	ラーの場合、小ボイラーの場合、小ボイラーの場合 O つ	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃ ・ ○ ℃ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) % %
空気調和設備	●主要熱源機器●設計時の温湿度条件○長方形ダクトの工法○ダクトの分岐方法●配管材料	○ マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・アリンス・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	コニート 所 明明 フボ法 管	ダプル (○ 合・	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ を関われて(DB) 22.0°C 26.0°C 工法 Oスラ 自当)(等 ビール・ラ はいます。(黒)(Oロール・ラ はいます。(大き)(ののでは、また)(ない)は、また)(ののでは、また)(ない)は、また)は、また)(ない)は、また)は、また)(ない)は、また)は、また)は、	ラーの場合、小ボイラーの場合 の の の の の の の の の の の の の	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃ ・ ○ ℃ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) % %
空気調和設備	 ●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) 	○ マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・アリンス・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	コニート 所 明明 フボ法 管	ダプル (○ 合給水温表電子の	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ を関われて(DB) 22.0°C 26.0°C 工法 Oスラ 自当)(等 ビール・ラ はいます。(黒)(Oロール・ラ はいます。(大き)(ののでは、また)(ない)は、また)(ののでは、また)(ない)は、また)は、また)(ない)は、また)は、また)(ない)は、また)は、また)は、	ラーの場合、小ボイラーの場合 の の の の の の の の の の の の の	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃ ・ ○ ℃ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) % %
空気調和設備	 ●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) 	○ マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・マンネー・アリンス・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	コニート 所 明 明 リンボ法 ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	ダプル (○ 合・	開端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ 表示用端子(ボイラ を関われて(DB) 22.0°C 26.0°C 工法 Oスラ 自当)(等 ビール・ラ はいます。(黒)(Oロール・ラ はいます。(大き)(ののでは、また)(ない)は、また)(ののでは、また)(ない)は、また)は、また)(ない)は、また)は、また)(ない)は、また)は、また)は、	ラーの場合、小ボイラーの場合 の の の の の の の の の の の の の	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃ ・ ○ ℃ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	コニート 所 明 明 ロート 所 明 明 ロート 所 明 明 ロート 所 明 明 ロート	ダープル (0~3) 「「「「「「「「」」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」	○ 合・	開端子 (ボイ・ボート) ・	ラーの場合、小ボイラーの場合 O の場合 O の	型貫流ボイラ 、小型貫流ボイラ トポンプユニ 内 (調整目標 温度 (DB) ℃ ℃ ・ ○ ℃ ・ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ーに適用) イラーに適用) ニット) 直) 湿度 (RH) % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	コニート 所 明 明 ローエ 水 管 気管 ジイ棒ルサーエ 水 管 管管 管 ジイ棒ルサーン	ダープル (〇 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○ 合給 水 当 表示 量 ッ で	開端子 (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オー	ラーの場合、小ボイラーの場合 O の場合 O の場合 O の場合 O の場合 O の場合 O の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	型貫流ボイラン、	ーに適用) イラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	コニート 所 明 明 ローエ 水 管 気管 ジイ棒ルサーエ 水 管 管管 管 ジイ棒ルサーン	ダープル (〇 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○ 合	開端子 (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オーラ (オー	ラーの場合、小ボイラーの場合 O の場合 O の場合 O の場合 O の場合 O の場合 O の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	型貫流ボイラン、	ーに適用) イラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット かサット形ファンコイルュニット	○○○○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	コ温ート 所 朗朗 ローエ 水	ダープル () ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○○給料性式ング形機 (● F F F F F F F F F F F F F F F F F F	開端子 (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ	ラーの場合、小ボイラーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の要素に一HPの製作をは、	型貫流ボイラン、	ーに適用) イラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット かセット形アァンコイルュニット ○バーナー制御方式	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	コ温ート	ダプル (O) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	○○給燃各方ナウ室 湿度 日本	用端子 (オイラ (オイラ) (オイラ	ラーの場合、小ボイラーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の要素に一HPの製作をは、	型貫流ボイラン、	ーに適用) イラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット かたット形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	コ温ート	ダープル (C) C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	用端子 (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ	ラーの場合 の場合の場合 の場の場合の場合 の熱のの事に一 中P) 屋 (RH) 40.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 60.0%	型貫流ボイラン、	ーに適用) イラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニット ○ファンコイルユニット ・ かり形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤 ○排熱投入形再生器	○○○○□ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ で 管 管 で の ○ 風 ○ 回 回 回 回 回 の 回 回 の 回 回 の 回 の 回 の 回 の 回	コ温ート	ダープル (C) C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C	○○給燃各方ナウ室 湿度 日本	用端子 (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ (オイラ	ラーの場合 の場合の場合 の場の場合の場合 の熱のの事に一 中P) 屋 (RH) 40.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 60.0%	型貫流ボイラン、	ーに適用) イラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット かたット形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤	○○○○□ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 結張ア媒パエガメ風量 オ進だ図のの 本	コ温ート	ダープル (C) C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C)C	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	用域 (ラーの場合 の場合の場合 の場の場合の場合 の熱のの事に一 中P) 屋 (RH) 40.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 60.0%	型貫流ボイラン、	ーに適用) イラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % %
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度計 ○定風量ユニット ○ファンコイルユニット ・ かり形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤 ○排熱投入形再生器	○○●● 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電ア収冷とし 「	コ温ート 所 明明明ルーエ 水 冷還 管 ーバ製カンダ オン収よイ水トポ 温 フボ法 管 気 形メ状タート 制ン温。 アンカー・	ダ プル (O C C C C C C C C C C C C C C C C C C	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開場 (ラーの場合 ラーの場合 の場合の場合 の数原 Lー H P) 屋	型貫流ボイランプユニ 内 (調整目標(温度 (DB) ℃ ℃ で で で で で で で で で で で で で で で で で	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % % たよる接合)
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット がット形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤 ○排熱投入形再生器 ○高温再生器の構造	○○○○□ 場 時冬夏アコ割温却 調 気 結張ア媒パエガメ風量 オ進だ図のの 本	コ温ート 所 明明明ルーエ 水 冷還 管 ーバ製カンダ オン収よイ水トポ 温 フボ法 管 気 形メ状タート 制ン温。 アンカー・	ダープル (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開議	ラーの場合 ラーの場合 の場合の場合 の数原 Lー H P) 屋	型貫流ボイラン、	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % % たよる接合)
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット がット形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤 ○排熱投入形再生器 ○高温再生器の構造	○○●● 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電ア収冷とし 「	コ温ート 所 明明明ルーエ 水 冷還 管 ーバ製カンダ オン収よイ水トポ 温 フボ法 管 気 形メ状タート 制ン温。 アンカー・	ダープル (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開議	ラーの場合、小ボイラーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の要素に一番を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	型貫流ボイランプユニ 内 (調整目標(温度 (DB) ℃ ℃ で で で で で で で で で で で で で で で で で	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % % たよる接合)
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット がット形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤 ○排熱投入形再生器 ○高温再生器の構造	○○●● 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電ア収冷とし 「	コ温ート 斤 明明明ルーエ	ダープル (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開議	ラーの場合、小ボイラーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の要素に一番を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	型貫流ボイラング 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % % たよる接合)
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット がット形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤 ○排熱投入形再生器 ○高温再生器の構造	○○●● 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回ア収冷に一 見	コ温ート 斤 明明明ルーエ	ダープル (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開議	ラーの場合、小ボイラーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の要素に一番を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	型貫流ボイラング 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % % たよる接合)
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度量 ユニット ○ファンコイルユニット ○ブァンコイルユニット ○バーナーカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	○○●● 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回ので空場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回のの直※発熱 そのは、	コ温ート 斤 明明明ルーエ	ダ プル () C C () C C () C C C C C C C C C C	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	明	ラーの場合 ラーの場合 ラーの場合の場合 「	型貫流ボボボート の は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○定風量ユニット 変風量ユニット ○ファンコイルユニット がット形ファンコイルユニット ○バーナー制御方式 ○電動機盤 ○排熱投入形再生器 ○高温再生器の構造	○○●● 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回ア収冷に一 見	コ温ート 斤 明明明ルーエ	ダ プル O O O O O O O O O O O O O	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	明	ラーの場合、小ボイラーの場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の要素に一番を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を	型貫流ボボボート の は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) % % % たよる接合)
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度量 ユニット ○ファンコイルユニット ○ブァンコイルユニット ○バーナーカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	○○●● 場 中冬夏アコ割温却 調 気 結張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回 の 示 水管抜管ッ業ラカ速分 ン相き面方収 他 機 に 一 原	コ温ート 所 明明明ルーエ 水 冷還 管 ーバ製カンダ オン収よ 置 で イ水トポ 温 3カンド 気 形メ状タート 制ン温。 管 空タ温イタは 御サ水	ダープル (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開張	ラーの場合 ラーの場合 の場合の場合 の類に一 中 P) を (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー そ (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー そ (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー を (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー を (R H) 40.0% ライドオンフラー を (R H) カイケ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	型貫流ボイランプュニウン (調整目標(DB) ○ C ○ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C	ーに適用) バイラーに適用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度量 ユニット ○ファンコイルユニット ○ブァンコイルユニット ○バーナーカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	○○●● 場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回ので空場 時冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回のの直※発熱 そのは、	コ温ート 所 明明明ルーエ 水 冷還 管 ーバ製カンダ オン収よ 置 で イ水トポ 温 3カンド 気 形メ状タート 制ン温。 管 空タ温イタは 御サ水	ダ プル ()	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開張	ラーの場合 ラーの場合 ラーの場合の場合 「	型貫流ボイランプュニウン (調整目標(DB) ○ C ○ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C	ーに適用) ボイラーに適用) ニット) 塩度 (RH) %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6 %6
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度量 ユニット ○ファンコイルユニット ○ブァンコイルユニット ○バーナーカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	○○●● 場 再冬夏アコ割温却 調 気 給張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回 の 示 一ァ収冷に一 原	コ温ート 所 朗朗ルーエ 水 給還 管 ーバ製カンダ オン収よ 置 置 管 で イ ボール ボール	ダ プル () - ジエ () ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開張	ラーの場合 ラーの場合 の場合の場合 の類に一 中 P) を (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー そ (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー そ (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー を (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー を (R H) 40.0% ライドオンフラー を (R H) カイケ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	型貫流ボイランプュニウン (調整目標(DB) ○ C ○ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C	ーに適用) バイラーに適用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
空気調和設備	●主要熱源機器 ●設計時の温湿度条件 ○長方形ダクトの工法 ○ダクトの分岐方法 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○温度量 ユニット ○ファンコイルユニット ○ブァンコイルユニット ○バーナーカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	○○●● 場 中冬夏アコ割温却 調 気 結張ア媒パエガメ風量 才進だ図電回 の 示 水管抜管ッ業ラカ速分 ン相き面方収 他 機 に 一 原	コ温ート 所 朗朗ルーエ 水 給還 管 ーバ製カンダ オン収よ 置 置 管 で イ ボール ボール	ダ プル () - ジエ () ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	開張	ラーの場合 ラーの場合 の場合の場合 の類に一 中 P) を (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー そ (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー そ (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー を (R H) 40.0% 50.0% ライドオンフラー を (R H) 40.0% ライドオンフラー を (R H) カイケ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	型貫流ボイランプュニウン (調整目標(DB) ○ C ○ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C ・ C	ーに適用) バイラーに適用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

三和荘改修工事 SCALE NS

DATE M - 0.1(株)日匠設計 General 一級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介

機械設備工事	特記仕様書	(1)

機械設備工事特記仕様書 No.2

	項目		特	記	事	項			
-	〇鋼板製煙道	厚さ 03.		04.5mm					
空気調和設備		〇ばい煙濃度計の 〇伸縮継手		〇ばいじん量測 〇掃除口	制定口				
調和	〇ばい煙濃度計	〇ファン付		() () () () () () () () () () () () () (
設	0.000	(電源は熱源機器		り取出し、配管配	線共本工事	(に含む)			
1厘	○瞬間流量計	│ 〇固定形 │ 〇着脱可能形	個 (測定用タッ)	ピング 個	本体	個)			
	●保温	1) 冷媒管の保温				· /			
	(図面特記部分は除く)								
		露出	部 〇保温化	化粧ケース(塩化	ビニル樹脂	(製)			
		・屋外 ●ステンレス鋼板							
		〇保温	化粧ケース	(〇樹脂製					
		・保温化粧ケー	スの下部カバ-		間板製 〇浴 〇不要	腎融亜鉛メッキ鋼板製)			
						と備工事の排水管による。			
		3)加湿用給水水				・キャナフ			
	●ダクトの工法	4) トラフ内の油 ●アングルフラン		ックテーフ1/2	里ね1四巻	ぎどりる。			
		〇コーナーボルト		フランジエ法 C)スライドオ	-ンフランジエ法)			
換		●スパイラルダク	٢						
換 気 設	●ダクトの分岐方法	給気ダクト	●割込み方式	式 〇直付け方	式				
備		排気ダクト							
	●厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは	亜鉛鉄板製と「	し、板厚は下記に	:よる。				
			ダクト	の長辺		板 厚			
		4 5 0 mm		0		0.6mm			
			iを超え120 imを超え18			0.8mm 1.0mm			
			mを超えるも			1. 2 mm			
		1 \ # = 1 ' の #	* +# ^ #	拉入刘华(十二	드 수시 수사 +ㄷ 속비 수	プロトの火計車項に トフォ	0 h l		
	●排気フード	対質は下記によ		・接合削寺は、田	型鉛鉄板裂グ	「クトの当該事項によるも	のとし、		
		●ステンレ	ス鋼板(補強						
		2)排気フード廻り	に取付ける幕構 〇別途二		: 同材質とす	⁻ る。			
		3) グリスフィル		-)必要				
	●保温	浴室・厨房(多湿			_	〇不要	〇必要		
		外気取入ダクトの 全熱交換器までの				〇不要 5室について) 〇不要	○必要 ●必要		
						室について) 〇不要	●必要		
		保温を行う場合の	仕様は標準仕	^谦 書第2編第3章	第1節によ	こる 。			
	○排煙対象部分	〇廊下 〇	事務室	〇図示	〇最大面積	m ²			
排	○ダクトの種別	〇高圧 1 ダクト	〇高圧:	2 ダクト					
	○ダクトの工法 ○ダクトの材料	〇アングルフラン 〇亜鉛鉄板製		= 1 = 44					
煙	しょう トの物料			24 大屋 第1					
	〇排煙口	1)形 状		 トフェース形	〇パネル形	ションパー形 タイプ アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア アイア ア			
設	〇排煙口	2) 排煙口の開放	Oスリッ O手 動	トフェース形 (〇機械式	〇電気式)	〇煙感知器連動			
設備	○排煙口	2)排煙口の開放 3)復帰装置	○スリッ ○手 動 ○手元復!	トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式	〇電気式) 〇電気式)	〇煙感知器連動	は別途工事と		
		2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体 する。	○スリッ ○手動 ○手元復! 及び操作箱と(トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本エ	〇電気式) 〇電気式) ○事とし、そ	〇煙感知器連動 〇遠方復帰式	は別途工事と		
備	○排煙口	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体	○スリッ ○手動 ○手元復! 及び操作箱と(トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本エ	〇電気式) 〇電気式)	〇煙感知器連動 〇遠方復帰式	は別途工事と		
備		2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体 する。	○スリッ ○手動 ○手元復! 及び操作箱と(トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本エ	〇電気式) 〇電気式) ○事とし、そ	〇煙感知器連動 〇遠方復帰式	□別途工事と		
備		2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体 する。	○スリッ ○手動 ○手元復! 及び操作箱と(トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本エ	〇電気式) 〇電気式) ○事とし、そ	〇煙感知器連動 〇遠方復帰式	≒別途工事と		
備	○保温	2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の	○スリッ ○手動 ○手元復月 及び操作箱との 保温	トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本エ 不要	〇電気式) 〇電気式) ○電気式) 事とし、そ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は	な 大別途工事と		
備 設備 自動制御		2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体 する。	○スリッ ○手動 ○手元復り 及び操作箱との 保温 ○2	トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本エ	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ 【(図示)	〇煙感知器連動 〇遠方復帰式	た別途工事 と		
備 設備 自動制御	●小便器用節水装置 ●自動水栓	2) 排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ	○スリッ ○手動 ○手元復り 及び操作箱との 保温 ○AC電源 ●AC電源	トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本工 不要 〇必要	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ 【(図示)	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	☆別途工事と		
備 包動制御	○保温●小便器用節水装置	2) 排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式	○スリッ ○手動 ○手元復 及び操作箱との 保温 ○A C電源 ●A C電源 ○無し ○手動式	トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 の渡り配線は本エ 不要	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ 【(図示)	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大別途工事と		
備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ 操作方式 〇手洗器一体型	○スリッ ○手元復り ○手元復り 及び操作箱との 保温 ○ A C 電電 ○ 手電し ○手電よ ○手電式閉路が	トフェース形 (〇機械式 帚式(〇手動式 か渡り配線は本エ 不要	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ 「(図示) ●水流	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・発電充電池 発電充電池	大別途工事 と		
備 設備 自動制御	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁	2) 排煙口の開放 3) 復帰装置 4) ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ 操作方式 〇手洗器一体型 1) 大便器洗浄弁	○スリッ ○手元復! ○手元復! 及び操作箱との 保温 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	トフェース形 (〇機械式 帯式 (〇手銀は 不要 〇必要 で	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ 【(図示)	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・発電充電池 発電充電池	対途工事と		
備 包動制御	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動スイッチ 操作方式 〇手洗器一体型	○スリッ ○手元復り ○手元第を ○ は ○ A C 電 電 ○ A C 電 ・ 画 ・ 画 ・ の ・ 手電 ・ の ・ 手電 ・ の ・ の ・ に ・ の ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に ・ に	トフェース形 (〇機械式 の機械式 の手 の を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ 【(図示) ●水流 ●水流	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・発電充電池 発電充電池			
備 設備 自動制御	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給給方式 手動スイナ 操作方式 ○手洗器便器の方式 1)洗値配器の方式 2)洗道立プ直送	○スリッ ○手元復を ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	トフェース形 (〇機械式 (〇機械式 帝式 (〇手線は本本 不要 〇乾電 (〇センサ の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ (図示) ●水流 ●水流 マナスイッチ ペンプ方式(2	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・発電充電池 発電充電池 ・マッチスイッチ式) ・式 ○レバー式			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動ス式 操作方式 〇手洗器一体型 1)洗道の の水道の の水道の の水道の の水が の水が の水が の水が の水が の水が の水が の水		トフェース形 (〇機械式 (〇機械式 帝式 (〇手線は本本 不要 〇乾電池 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・ボークレバー式 ・水道用直結加圧形ポンプ	ユニット)		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動ス式 操作方式 〇手洗器一体型 1)洗道の の水道の の水道の の水道の の水が の水が の水が の水が の水が の水が の水が の水		トフェース形 (〇機械式 (〇機械式 帝式 (〇手線は本本 不要 〇乾電池 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	○電気式) ○電気式) ○電気式) 事とし、そ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・発電充電池 発電充電池 ・マッチスイッチ式) ・式 ○レバー式	ユニット)		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動ス式 操作方式 〇手洗器一体型 1)洗道直 〇水道ンプ ・般配管		トフェース形 () () () () () () () () () ()	○電気式) ○電気式) ○電気気式) ・事とし、そ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット)		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動ス式 操作方式 〇手洗器一体型 1)洗道直 〇水道ンプ ・般配管		トフェース形 () () () () () () () () () ()	○電気式) ○電気式) ○電気気式) ・事とし、そ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・ボースイッチ式) ・式 ○レバー式 ・水道用直結加圧形ポンプ・	ユニット)		
備と設備を発見設備を開発しています。	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復帰装置 4)ダンパー本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 電気供給方式 手動ス式 操作方式 〇手洗器一体型 1)洗道直 〇水道ンプ ・般配管		トフェース形 () () () () () () () () () ()	○電気式) ○電気式) ○電気気式) ●水流 ●水流 ●水流 ●水流 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復爆装一本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 手動方式 手操作 〇手洗大無便面結直 〇水道 ブラー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		トフェース () () () () () () () () () (○ (では、 できない) (では、 できない) (では、 できない) (できない)	 ○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 子式 ○レバー式 水道用直結加圧形ポンプ 水道用直結加圧形ポンプ 水道ア5Su以上は溶接接 -PA、SGPーFPA) 3、SGPーFVB) 	ユニット)		
	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復爆装一本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 手動方式 手操作 〇手洗大無便面結直 〇水道 ブラー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○ス手元箱とのでは、「います」とは、「います」とは、「います」では、「いまます」では、「います」では、「いまます」では、「いまます」では、「います」では、「います」では、「いまます」では、「います」では、「います」では、「います」では、「います」	トース (O) (O) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	○○事 (図示) ●水流流 ・一式 イカオ (ののでは、 ののでは、 のので	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は ・発電充電池 発電充電池 ・マチスイッチ式) ・式 〇レバー式 ・水道用直結加圧形ポンプ・ ・水道用直結加圧形ポンプ・ ・アA、SGPーFPA) ・SGPーFVB)	ユニット)		
備と設備を発見設備を開発しています。	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復爆装一本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 手動方式 手操作 〇手洗大無便面結直 〇水道 ブラー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		トース (O) (O) (D) (D) (D) (D) (D) (D)	○○本 ・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復爆装一本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 手動方式 手操作 〇手洗大無便面結直 〇水道 ブラー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	トース (O o c c c c c c c c c c c c c c c c c c	○○事 (図示) ●水流流 ・一式 イ 方 (の) ・ で (の)	 ○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 子スイッチ式) ・式 ○レバー式 水道用直結加圧形ポンプ が径75Su以上は溶接接 -PA、SGPーFPA) 3、SGPーFPB) が径75Su以上は溶接接換 ・PD、SGPーFPD) 	ユニット)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復爆装一本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 手動方式 手操作 〇手洗大無便面結直 〇水道 ブラー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	トース (O o c c c c c c c c c c c c c c c c c c	○○事 (図示) ●水流流 ・一式 イ 方 (の) ・ で (の)	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙口の開放 3)復爆装一本体 する。 床下及び暗渠内の 電気供給方式 手動方式 手操作 〇手洗大無便面結直 〇水道 ブガビー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○○	トースの で	○○事 「電電と 図示) ●水水 次流流 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット) (表合) (表合)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙場では 3)復歩表で 4)ダンパー 4)ダンパー でする。 床下及び暗渠内の 電気気気チ 操作お方方・ 操作が表で、 1)が、 3)を発展である。 電気気気が、 一般配管 [屋内] 地中配管 [屋内]		RO TO	○○事 「電電と 図示) ●水水	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット) (全合) (全合)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙場では 3)復歩表で 4)ダンパー 4)ダンパー でする。 床下及び暗渠内の 電気気気チ 操作お方方・ 操作が表で、 1)が、 3)を発展である。 電気気気が、 一般配管 [屋内] 地中配管 [屋内]	及 保	RO TO	○○事 「電電と 図示) ●水水	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット) (全合) (全合)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙場では 3)復歩表で 4)ダンパー 4)ダンパー でする。 床下及び暗渠内の 電気気気チ 操作お方方・ 操作が表で、 1)が、 3)を発展である。 電気気気が、 一般配管 [屋内] 地中配管 [屋内]	○○○	RO TO	○○事 ()		ユニット) (全合) (全合)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙場では 3)復歩表で 4)ダンパー 4)ダンパー でする。 床下及び暗渠内の 電気気気チ 操作お方方・ 操作が表で、 1)が、 3)を発展である。 電気気気が、 一般配管 [屋内] 地中配管 [屋内]	及 保	RO TO	○○事 ()	○煙感知器連動 ○遠方復帰式 ・れ以降の制御配管配線は 発電充電池 発電充電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ユニット) (合) (合)		
備と設備を発見設備を開発しています。	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料	2)排煙場では 3)復歩表で 4)ダンパー 4)ダンパー でする。 床下及び暗渠内の 電気気気チ 操作お方方・ 操作が表で、 1)が、 3)を発展である。 電気気気が、 一般配管 [屋内] 地中配管 [屋内]	○○○	RO TO	○○事 ()		ユニット) (合) (合)		
備 自動制御 衛生器具設備	●小便器用節水装置 ●自動水栓 ○大便器用洗浄弁 ○水石けん入れ ●身障者用器具 ●給水方式 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	2)排煙場 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	及 保	To T	○○事 () ○○ (ユニット) (合) (合)		

章	項目	特	記	事	項
	●水栓柱	〇合成樹脂製 (ДÚ)	-74
	- WITH	0 11/1/11/12		,	
		○ステンレス製 (○アルミニウム合金製()	
給 水 設		したんさークム日並級(特記なき場合、水栓取付け	古さけめらののしする	,	
火	●無の押売売せ			0	
没 備	●管の埋設深さ		3 0 0 mm O		
闸			600mm O		
		3) 寒冷地では凍結深度以			
	〇加入金・負担金	〇不要 〇必要(〇別	途 〇本工事)		
	〇本管引込工事	〇本工事 〇別途工事			
	●排水方式	汚水と雑排水 [屋内]	●分流式 ○合	·流式	
		汚水・雑排水と雨水[屋外]	●分流式 O合	·流式	
		ポンプ排水	〇有り(〇雑排水 〇	汚水 〇雨水 〇)湧水 〇浄化槽2次側)〇な
	●放流式	汚水	●直放流下水管	〇浄化槽	0
		雑排水	●直放流下水管	〇浄化槽	○別途桝・側溝
		雨水ポンプアップ	〇直放流下水管	〇雨水側溝	〇雨水桝
		湧水ポンプアップ	〇直放流下水管	〇雨水側溝	〇雨水桝
排	●配管材料	屋内雑排水管	〇排水用塩ビライニ	ング鋼管	
	(図面特記部分は除く)		〇鋼管(SGPW)	(〇ねじ接合	OMDジョイントによる接行
			●ビニル管(VP)		
			●耐火二層管	● S	US管(屋外露出部分)
		屋内汚水排水管	〇排水用塩ビライニ	ング鋼管	
			●ビニル管(VP)	OF	R F — V P
			●耐火二層管	0	
-lv				J	
水			〇リサイクル硬質ポ	リ塩化ビニル発	泡三層管(RF-VP)
					〇MDジョイントによる接行
			●ビニル管(VP)	, O TO O IX II	= - 1 / 1 (- 6 ° 0)X1
			●耐火二層管	0	
			●□□コへ一店日	U	
		地中配管 [屋内]	〇リサイクル硬質ポ	リ塩化ビー=笹	(REP-VII)
		20年配名 [连四]	〇リサイクル硬質ホ 〇リサイクル硬質ポ		
设					暦官(RS-VU) 泡三層管(RF-VP)
			Oリサイクル使貨ホ ●ビニル管 (VP)		泡二暦官(RF-VP) ご二ル管(VU)
				Ot	/VE (VU)
		サイカ は はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっ	0 0 1 サイクル研覧式	口指ルビー:ゲ	(DED-VII)
		地中配管[屋外]	〇リサイクル硬質ポ		
			〇リサイクル硬質ポ		
			●ビニル管(VP)	Ot	ニニル管(VU)
#		御佐来るよう → ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	〇コンクリート管 〇コンクリート管	- > . +> Am Ar- / -	0.0 1/4 0.05 =
苚					GP-VA、SGP-FV
			、SGP-FVD)と	し、継手はフラ	ンジ又はハウジング形継手
		する。			
	〇満水試験継手	いぶ曲 (図子筒形に取付け			
	C 11-1-1-10-10-10-1	〇必安(因小固別に取りり	る) 〇不要		
	〇負担金		る) 〇不要		
			別途 〇本工事)		
	〇負担金	O不要 O必要(O	別途 〇本工事)		
	〇負担金 〇本管接続工事	〇不要 〇必要(〇 〇本工事 〇別途工事	別途 〇本工事)	銅管を使用して	もよい。)
	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式	別途 〇本工事)	銅管を使用して	もよい。)
	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆	銅管を使用して	もよい。)
給湯設	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ●ステンレス鋼管	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆	銅管を使用して	·もよい。)
	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ●ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆	銅管を使用して	もよい。)
湯	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 管		もよい。)
易设	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 管		
易设	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 管		
易。	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー		
易。	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(様書第2編3.	
易设備	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○連結送水管	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(·様書第2編3.)	
易设備	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポ	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(ンプ運転表示灯取付用	様書第2編3.	
易な構	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管	別途 ○本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(ンブ運転表示灯取付用 ●配管用炭素鋼管(様書第2編3.) 口を設ける。 白)	
易な構	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管	別途 ○本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(ンプ運転表示灯取付用 ●配管用炭素鋼管(○圧力配管用炭素鋼	様書第2編3.) 口を設ける。 白)	
易な構	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ピライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管	別途 ○本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(ンプ運転表示灯取付用 ●配管用炭素鋼管(○圧力配管用炭素鋼	様書第2編3.) 口を設ける。 白) 管(白)	
易 设 備 一	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ピライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 屋内外地中配管	別途 ○本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(ンプ運転表示灯取付用 ●配管用炭素鋼管(○圧力配管用炭素鋼	様書第2編3.) 口を設ける。 白) 管(白) GP-VS)	1.5の表2.3.5によ
易设備()	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ピライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○泡消火 ○泡消火と ○連結送水管 屋内消火栓箱には、消火ポー般配管 「一般配管 「関外地中配管 「以用充水タンクの保温を	別途 ○本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガス消火(ンプ運転表示灯取付用 ●配管用炭素鋼管(○圧力配管用炭素鋼管(○外面被覆鋼管(医)	様書第2編3.) 口を設ける。 白) 管(白) GP-VS) 張タンクによる	 5の表2.3.5によ O施工しない
易设備()	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●中央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ピライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火 ○泡消火栓 ○泡消火栓 河流火栓箱には、消火ポー般配管 「一般配管 「対火用充水タンクの保温を消火用呼水タンクの保温を	別途 ○本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクラー 不活性ガスメリンクラー 不活性がある。 ○圧力配管用炭素鋼管 (S) ○外面被覆鋼管 (S) ○施工しない	様書第2編3.	1.5の表2.3.5によ) O施工しない 膨張タンクによる)
易安備当火安	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ピライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火栓 ○泡消火栓箱には、消火ポー般配管 「農内外地中配管 河火用充水タンクの保温を消火用呼水タンクの保温を	別途 ○本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクスー 不活性ガスクラ消火(ンブ運転表示灯取付用 ●配管用炭素の ○圧力配管用炭素鋼管(○圧力配を変調管(S) ○外面被覆鋼管(S) ○施エレない	様書第2編3.	 1.5の表2.3.5によ O施工しない 膨張タンクによる) 給水管の保温仕様に準ずる
易安備当火安	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ピライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消失栓 ○泡消失栓箱には、消火ポー般配管 戸内外地中配管 河火用充水タンクの保温を 屋内外塊露出管の保温を 屋内露出管の保温を	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンカス ラー 不活性ガラー 不活性ガラー での正力 の所面被電網管(紹 の施工工していい の施工しない	様書第2編3.) 口を設ける。 白) 管 (白) GP-VS) 張タンクによる 〇施エする (〇施エする (1.5の表2.3.5によ) 〇施工しない (膨張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる)
易设備()	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ピライニング鋼 ○保温付き被覆鋼管 ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火栓 ○泡消火栓 ○泡消火栓箱には、消火ポー般配管 「農内外地中配管 河火用充水タンクの保温を消火用呼水タンクの保温を	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンカス ラー 不活性ガラー 不活性ガラー での正力 の所面被電網管(紹 の施工工していい の施工しない	様書第2編3.) 口を設ける。 白) 管 (白) GP-VS) 張タンクによる 〇施エする (〇施エする (1.5の表2.3.5によ O施工しない 膨張タンクによる) 給水管の保温仕様に準ずる
易安備当火安	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆 「対ス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火 ○泡消送水管 屋内消火 ○晩消火栓 ○泡浦送水管 屋内消火を ○晩消火栓 ○別連結送水管 □を内消火を ○別連結送水管 □を内消火を ○別連結送水管 □を内消火を ○別連結送水管 □を内消火を ○別連には、消火ポー般配管 □を内外地中配管 河火用呼水タンクの保温を □を外露出管の保温を □を内の保温を □を内外の保温を □を対象の保温を □を対象の保温を □の保温を	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンクス 不活性ガラーバリ () () () () () () () () () (様書第2編3.	1.5の表2.3.5によ (i) ○施工しない (i) 施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる)
易安備当火安	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩だライニング鋼 ○保温付き被覆 「ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火 ○泡消送水管 屋内消火 ○地議送水管 屋内消火 一般配管 消火用呼吹水タンクの保温を 屋内外地中配管 消火用呼吹水タンクの保温を 屋内外地等の保温を 屋内の保温を 上のの保温を 「カールの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」ののののののののののののののののののののののののののののののののの	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンプス 示大素 明記で 一 の で で で で で で で で で で で で で で で で で	様書第2編3.	1.5の表2.3.5によ (i) ○施工しない (i) 施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる)
易な ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼 ○保温付き被覆 「対ス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火 ○泡消送水管 屋内消火 ○晩消火栓 ○泡浦送水管 屋内消火を ○晩消火栓 ○別連結送水管 □を内消火を ○別連結送水管 □を内消火を ○別連結送水管 □を内消火を ○別連結送水管 □を内消火を ○別連には、消火ポー般配管 □を内外地中配管 河火用呼水タンクの保温を □を外露出管の保温を □を内の保温を □を内外の保温を □を対象の保温を □を対象の保温を □の保温を	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンプス 示大素 明記で 一 の で で で で で で で で で で で で で で で で で	様書第2編3.	1.5の表2.3.5によ (i) ○施工しない (i) 施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる)
易安備当火安	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●同部式 ●明音では原理とではではです。 ○保温ではではです。 ○保温ではではです。 ○保温ではではです。 ○保温ではではできる。 ○保温ではできる。 ○内消火を ○海洋火を ○本が、	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンプス 示大素 明記で 一 の で で で で で で で で で で で で で で で で で	様書第2編3.	1.5の表2.3.5によ (i) ○施工しない (i) 施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる)
· 易设	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●申央式 ●局部式 ●銅管(壁又は床埋設をす ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩だライニング鋼 ○保温付き被覆 「ガス湯沸器の排気筒の隠蔽 ●屋内消火 ○泡消送水管 屋内消火 ○地議送水管 屋内消火 一般配管 消火用呼吹水タンクの保温を 屋内外地中配管 消火用呼吹水タンクの保温を 屋内外地等の保温を 屋内の保温を 上のの保温を 「カールの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 」のの保温を 「カールのの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」のの保温を 」ののののののののののののののののののののののののののののののののの	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンプス 示大素 明記で 一 の で で で で で で で で で で で で で で で で で	様書第2編3.	1.5の表2.3.5によ (i) ○施工しない (i) 施張タンクによる) (治水管の保温仕様に準ずる) (治水管の保温仕様に準ずる) (治水管の保温仕様に準ずる)
易设 備 肖	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●同部式 ●明音では原理とではではです。 ○保温ではではです。 ○保温ではではです。 ○保温ではではです。 ○保温ではではできる。 ○保温ではできる。 ○内消火を ○海洋火を ○本が、	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スポークス 表表 表表 表表 表表 表表 表表 で の で で で で で で で で で	様書第2編3.	1.5の表2.3.5によ (i) ○施工しない (i) 施張タンクによる) (治水管の保温仕様に準ずる) (治水管の保温仕様に準ずる) (治水管の保温仕様に準ずる)
易设 備 肖	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類	○不要 ○小本工事 ○小本工事 ○小田本工	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンガス 表別の () () () () () () () () () (様書第2編3.	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易设 備 肖	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類	○不要 ○小本工事 ○小本工事 ○小田本工	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプリンガス 表別の () () () () () () () () () (様書第2編3.	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
1 易 殳 莆 肖 火 殳 莆	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●同局部式 ●明音では原理とは原理を対し、場合ではです。 ○保温付き被覆がある。 ○保温付きをです。 ○保温がです。 ○保温がです。 ○保温ができませます。 ○保温ができませます。 ○保温ができませます。 ○保温を関わられています。 ○保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関が、対しています。 ○の保温を関する。 ○のは、対していまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しない	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 スプはガラー、 不活性ガラー、 不活性ガラー、 不活性の の外面被覆網管のにの の外面を施工工工工しししている。 の施施工工工工している。 量が、いの施施ではないい。 のをはないないい。 のをはないい。 のをはないい。 のをはないい。 のをはないい。 のをはないい。 のをはないい。 のをはないい。 のをはないい。 のをはないい。 のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、の	様書第2編3.	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
1 易 殳 莆 肖 火 殳 莆	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスター ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●同局部式 ●明音では原理とは原理を対し、場合ではです。 ○保温付き被覆がある。 ○保温付きをです。 ○保温がです。 ○保温がです。 ○保温ができませます。 ○保温ができませます。 ○保温ができませます。 ○保温を関わられています。 ○保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関から、対しています。 ○の保温を関が、対しています。 ○の保温を関する。 ○のは、対していまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しないまする。 ○のは、対しない	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準仕 ・ ス不 ンプ・ () () () () () () () () () (様書第2編3.) 口を設ける。 白)(「ロ)(「ロ)(「ロ)(「ロ)(「ロ)(「ロ)(「ロ)(「ロ	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
1 易 殳 莆	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスター ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●同局部式 ●銅管(壁又は床埋き ●気が関係である。 ○のは、大型のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準性 ・ ス不 ンプ・ () () () () () () () () () (様書第2編3.) 口を設ける。 白)(GP - VS)(るるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのではよるのではよる。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易殳 帯 当 火 殳 帯 うり ス	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスター ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●同局部式 ●銅管(壁又は床埋き ●気が関係である。 ○のは、大型のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準性 ・ ス不 ンプ・ス 表明配 ででである。 ・ でである。 ・ では、 一火 「収録である。 ・ では、 一火 「収録できる。 ・ では、 でいい、 では、 でいい。 ・ では、 でいい。 でいい。 では、 でいい。 では、 でいい。 では、 でいい。 でいい。 では、 でいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいい。 では、 でいいいいい。 では、 でいいいいい。 では、 でいいいいいいいいい。 では、 でいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	様書第2編3.) 口を設ける。 白)(GP - VS)(るるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのではよるのではよる。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易殳 帯 当 火 殳 帯 うり ス	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスター ●配管材料	○不要 ○必要(○事 ○本工事 ○別途式 ●同局部表 ●明高報表 ●明高報表 ●知徳では、 ○の別途ではです。 ○の別途ではです。 ○の別途ではできる。 ○の間にはできる。 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、 ○のは、	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準 「クスス不 ンプの () () () () () () () () () (様書第2編3.) 口を設ける。 白)(GP - VS)(るるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのではよるのではよる。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易设備 肖 火 设 備 ガース	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 ○表示灯 ○配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスター ●配管材料	○不要 ○必要(○ ○本工事 ○別途工事 ●同局部式 ●銅管(壁又は床埋き ●気が関係である。 ○のは、大型のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準 「クスス不 ンプの () () () () () () () () () (様書第2編3.) 口を設ける。 白)(GP - VS)(るるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのではよるのではよる。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易设備 肖 火 设 備 ガー ガース 设	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く)	○不要 ○必要(○事 ○本工事 ○財命 ○本工事 ○別途式 ●同局郡 ○別島郡設を ○別島郡設を ○同局郡設を ○日間の ○日間のの ○	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 を	様書第2編3.) 口を設ける。 白)(GP - VS)(るるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでであるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのでである。) (Oのではよるのではよるのではよるのではよる。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○のは関 ○地中埋設管の接合法	○不要 ○必要 ○小事 ○小事 ○小郎 ○小郎	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 を	様書第2編3.) 口を設ける。 白)(「O () () () () () () () () () (1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
湯 設 備 一 、 肖 、火 、投 、備 ・ ・ ガ ・ ス ・ ・ 设 ・ ・	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○仕ット内施工法		別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 管 簡 の保 は、 一 (様書第2編3.) 口を設ける。 白)(「O () () () () () () () () () (1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易设備 肖 火 设 備 ガー ガース 设	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○はウェースのでは、 ○はウェースのでは、 ○はついまのは、 ○はいまのは、 ○はは、 ○はいまのは、 ○はいまのは、		別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 を	様書第2編3.) 口を設ける。 白)(「O () () () () () () () () () (1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
易设備 肖 火 设 備 ガー ガース 设	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○仕ット内施工法		別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 管 簡 の保 は、 一 (様書第2編3.) 口を設ける。 白)(「O () () () () () () () () () (1.5の表2.3.5によ 2.3.5によ 3.5によ 3.5によ 3.6によ 3.によ 3.によ 3.によ 3.によ
湯 投 構 一 肖 火 设 構 ガ ス 设 構	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○は世中上内は関係を対している。 ○は世中生内は関係を対している。 ○は世のは、 ○は世のは、 ○は世のは、 ○は世のは、 ○は世のは、 ○は世のは、 ○本管接続工事	○不要 ○必適定式 ○小田本工事 ○小田本工事	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準性 グラル (取鋼炭 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	様書第2編3. 口を設ける。 口を設ける。 口を ()	1. 5の表2. 3. 5による) (施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準する) (治水管の保温仕様に準する)
い易没情 肖 火 没 情 ガ ス ・ 没 情	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○地中埋設管の接合法 ○ピット内施工法 ○負担金 ○本管接続工事 ○掘削工法	○不要 ○小妻 ○公妻 ○小妻 ○公妻 ○公妻 ○小妻 ○公妻 ○○公妻 ○○公妻 ○○公妻 ○○公妻 ○○公妻 ○○○公妻 ○○○公妻 ○○○○公妻 ○○○○○○○○○○	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆管 箇所の保温は、標準性 グラル (取鋼炭 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	様書第2編3. 口を設ける。 口を設ける。 口を設ける。 口を設ける。 口を変われる。 口を変われる。 口を変われる。 口を変われる。 口を変われる。 口を変われる。 ロールス の できます できます できます できます できます できます できます できます	1. 5の表2. 3. 5による) (施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準する) (治水管の保温仕様に準する)
湯 投 備 一)) ス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ●保温 ●消火設備の種類 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料部分は除く) ○は中中トトート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○不要 ○必適定式 ○小田本工事 ○小田本工事	別途 〇本工事) 3	様書第 2 編 3 .	1. 5の表2. 3. 5による) (施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準する) (治水管の保温仕様に準する)
湯 投 構 一 肖 火 设 構 ガ ス 设 構	○負担金 ○本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ●ガスの種類 ●ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○保温 ○地中埋設管の接合法 ○ピット内施工法 ○負担金 ○本管接続工事 ○掘削工法	○不要 ○必適定式 ○本工事 ○別途式 ●局間を ○別途式 ○別途式 ○別途式 ○別途式 ○別途で ○別	別途 〇本工事) る場合は、保温付被覆 管 簡 所の保温は、標準性 のののののでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のではできます。 ののののでは、一次では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、	様書第 2 編 3 .	1. 5の表2. 3. 5による) (施張タンクによる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準ずる) (給水管の保温仕様に準する) (治水管の保温仕様に準する)

章	項	目		特	記	事	項	
井設備	○掘削工法		○回転振動式			○ダウンザホー	ルハンマ <u>ー式</u>	
設備器			安全装置の適用	は図面による。				
浄化槽設備	〇形式 〇処理方法		〇ユニット形 〇小規模合併処					
設備			〇合併処理(別約	(1)				
設 備			※図面による。					
ス								

			電気	容量			
記号	名称	仕 様 -	電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	台数	設置場所	備 考
BH-1	ボイラー	型式:真空式温水ヒーター 竪型2回路	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	0. 45kW	2	1階 ろ過機室 [存置]	
		定格出力:349.0kW					
		燃料消費量:43.5 L / h(灯油)					
		附属品:制御盤(外部警報取出端子付)、感振器、煤煙濃度計、投光器、受光器共					
T O – 1	オイルタンク	型式:地下埋設型 SS400製(銅・鏡板共6.0m/m)			1	1階 屋外 [存置]	
		容量:4,000L(灯油)					
		参考寸法:1, 300φ×3, 000L(全長:3, 556L)					
		附属品:油面計、他標準附属品共					
						, mt >0 144-t- 5-t-m2	
TOS-1	オイルサービスタンク	型式:単板型 SS400製(3.2m/m)			1	1階 ろ過機室 [存置]	
		容量: 100L(灯油) 耐震: 1.0G					
		参考寸法:400×450×630					
		附属品:フロートスイッチ、側圧式油面計、架台1,500H(溶融亜鉛めっき仕上)共					
T VW-1	P中 2日 4曲				1	4 昨 7 2 株 宁 「左罕」	
1 0 00 - 1	貯湯槽	型式: 竪型 SUS444製 容量: 1,500L 耐震: 1.0G			'	1階 ろ過機室 [存置]	
		参考寸法: 1, 0000 が 2, 554H 最高使用圧力: 0. 49MPa					
		参考する は、1,000 φ ∧ 2,55 4 日 最高使用圧力:0.4 9 M P a M B M B M B M B M B M B M B M B M B M					
		四周日·1条年四周日天					
T E – 1	膨張水槽	型式:鋼板製密閉型隔膜式ダイヤフラム			1		
	<給湯系統>	容量: 240 L タンク容量: 300 L					
		参考寸法:610 φ × 1, 400 H 最高使用圧力:0. 78 M P a					
		附属品:圧力計共					
P – 1	給湯一次ポンプ	型式:SUS製ラインポンプ	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	0. 40kW	2	1階 ろ過機室 [存置]	
		能力:40 φ×125 L / m i n×9.5 m					
		附属品:標準附属品共					
P-2	<u>給湯二次ポンプ</u>	型式:SUS製ラインポンプ	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	0. 15kW	2	1階 ろ過機室 [存置]	
		能力: 25 Ø × 3 0 L / m i n × 5 m					
		附属品:標準附属品共 					
DOC 1	オイルポンプ	刑书,打造用集市投入者,已从中(古新大工社司集制)	0.40000	0 01111		1 吡 尼从 [左坚]	
POG-1	オイルホンノ	型式:灯油用歯車ポンプ 屋外用(自動交互並列運転)	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	0. 2 kW	2	1階屋外[存置]	
		能力:12夕×5L/min×4m					
				1	1		

三和荘改修工事

SCALE

衛生設備 機器表(1)(改修)

	DAIL	-	NO.
	2022	2, 03	M-03
株) 日匠設計	General		
一級建築士事務所	Staff		
84790 森田 恭介			

			電気	容 量			
記号	名称	仕 様 	電 源 (φ -V)	容 量 (W・kW)	一 台数	設置場所	備考
W T — 1	受水槽	型式:ステンレス製パネル(溶接組立)水槽(2 槽式) 保温付 ポンプ室付 耐震: 1. 0 G			1	1階 屋外 [新設]	コンクリート基礎は建築工事
		水槽寸法:2.0(1.0+1.0)×5.0×2.5 有効容量:19.5m3					
		ポンプ室寸法: 2. 0 × 2. 5 × 1. 5					
		附属品:チャンネルベース、内外タラップ、マンホール600φ、通気口、電極取付座、					
		その他標準附属品共					
WP - 1	加圧給水ポンプユニット	型 式:推定末端圧力一定給水ユニット 単独交互運転	3 Ø 2 0 0 V	3. 7 kW	1	1階 屋外 [新設]	コンクリート基礎は建築工事
		能 力: 50φ×40φ×340L/min×31m					
		附属品:制御盤、防振架台、その他標準附属品共					
G H – 1	ガス給湯器 	型式:屋外壁掛型 給湯専用機 オートストップ機能付	1 Ø 1 0 0 V	1 3 3 W	7	3階 客室バルコニー [新設]	ノーリツ: GQ-C1634WS(BL)相当品
		給湯能力:16号 					
		燃料消費量: 2. 14kg/h (LPG)					
		附属品:台所リモコン、浴室リモコン、リモコンコード、その他標準附属品共					
G H – 2	 ガス給湯器	型式:屋外壁掛型 給湯専用機	1 Ø 1 0 0 V	1 8 8 W	1	1階 調理室外壁 [新設]	ノーリツ:GQ-C3222WZ-1相当品
		給湯能力:32号					
		燃料消費量: 4. 19kg/h (LPG)					
		附属品:メインリモコン、リモコンコード、その他標準附属品共					
G T — 1	<i>₽</i> →	피구 수목피				4 MK =878 = [fr =0.]	
GI-I	グリストラップ	型式:床置型			4	1階 調理室 [新設]	ホーコス: GS2-7H相当品
		容量:7L 					
		附属品:マンホール蓋、その他標準附属品共					
EH-1	電気温水器	型式:台下設置型 飲雑両用	1 Ø 2 0 0 V	2. 0 kW	1	1階 ベビールーム [新設]	日本イトミック:ESD25BRX220B0相当品
<u>. </u>		容量:25 L					
		附属品:メインリモコン、膨張水排出装置(密閉式)、逃し銅管セット、					
		給湯口付混合水栓(埋込配管型)、その他標準附属品共					
					1		

三和莊改修工事

SCALE

衛生設備 機器表(2)(改修)

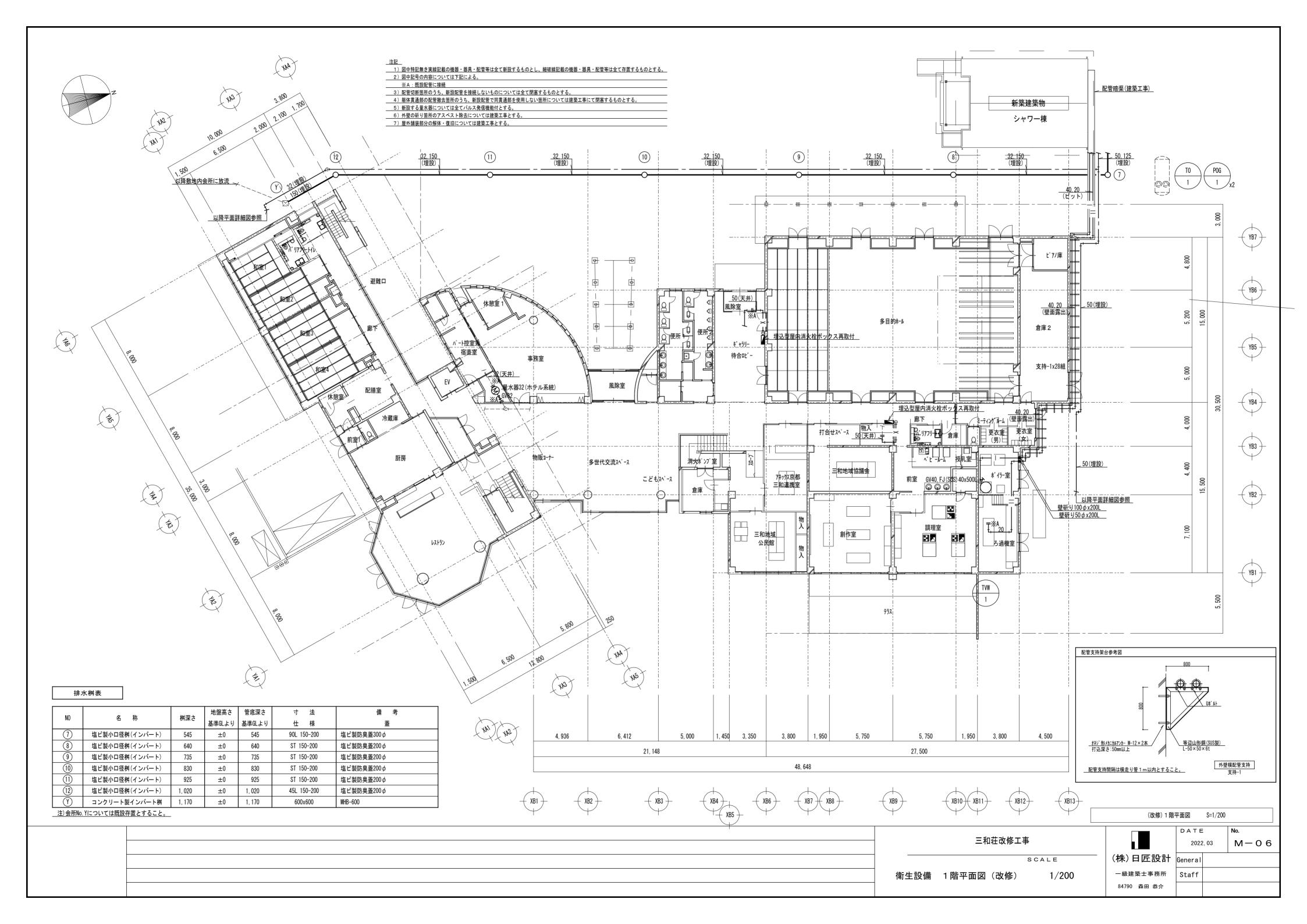
2022, 03
(株) 日匠設計
-級建築士事務所
84790 森田 恭介

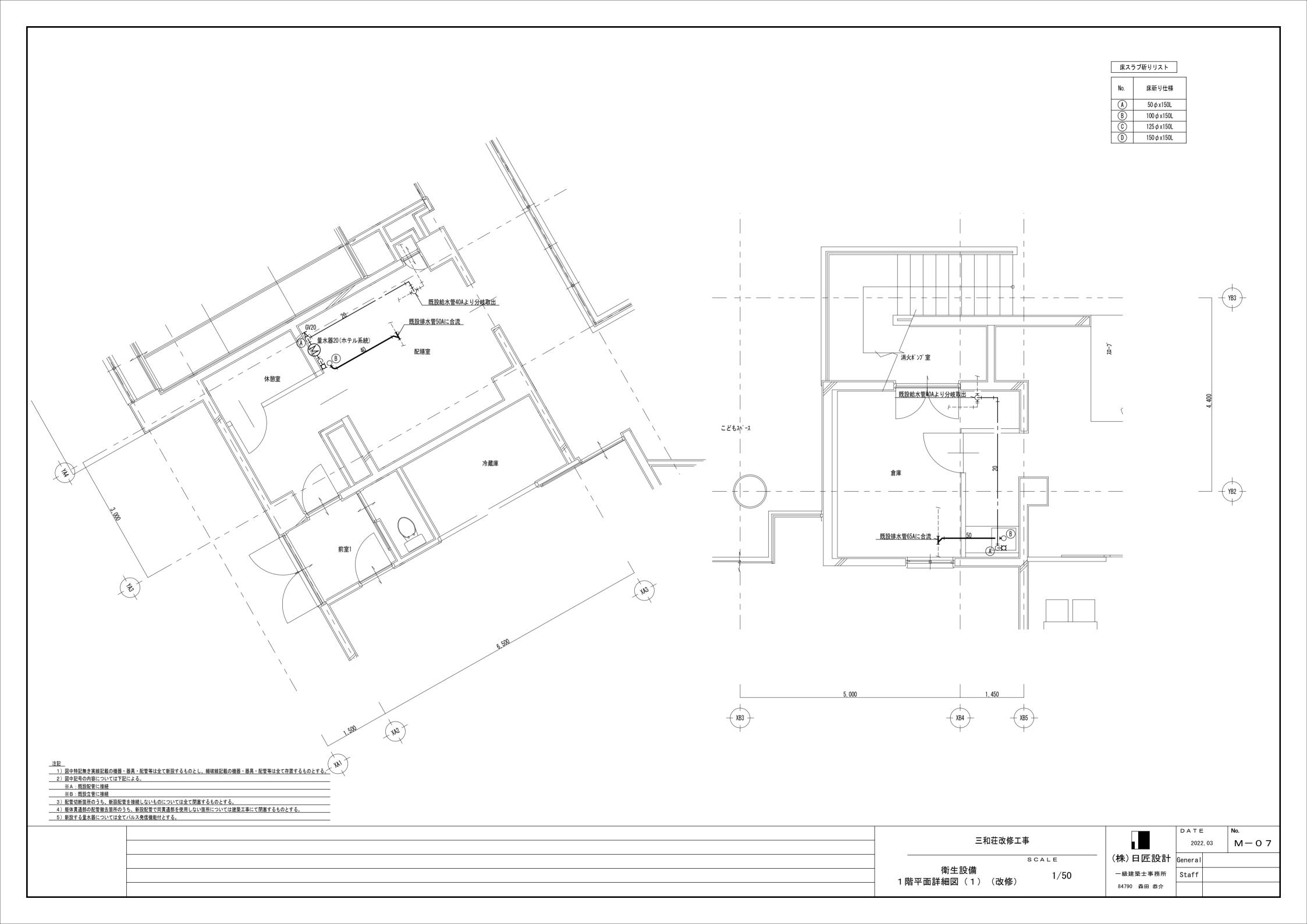
M - 0.4

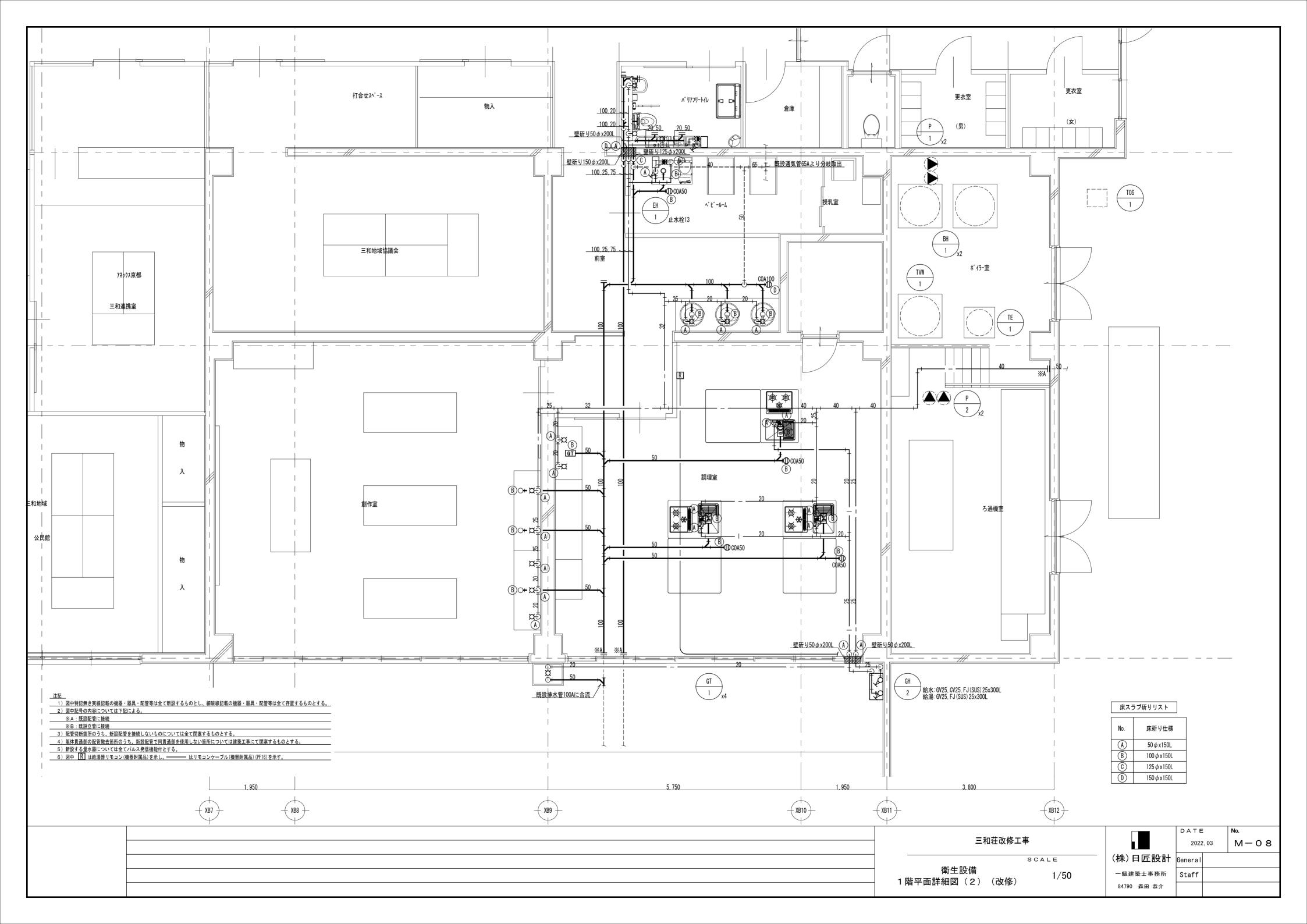
器	具	表	

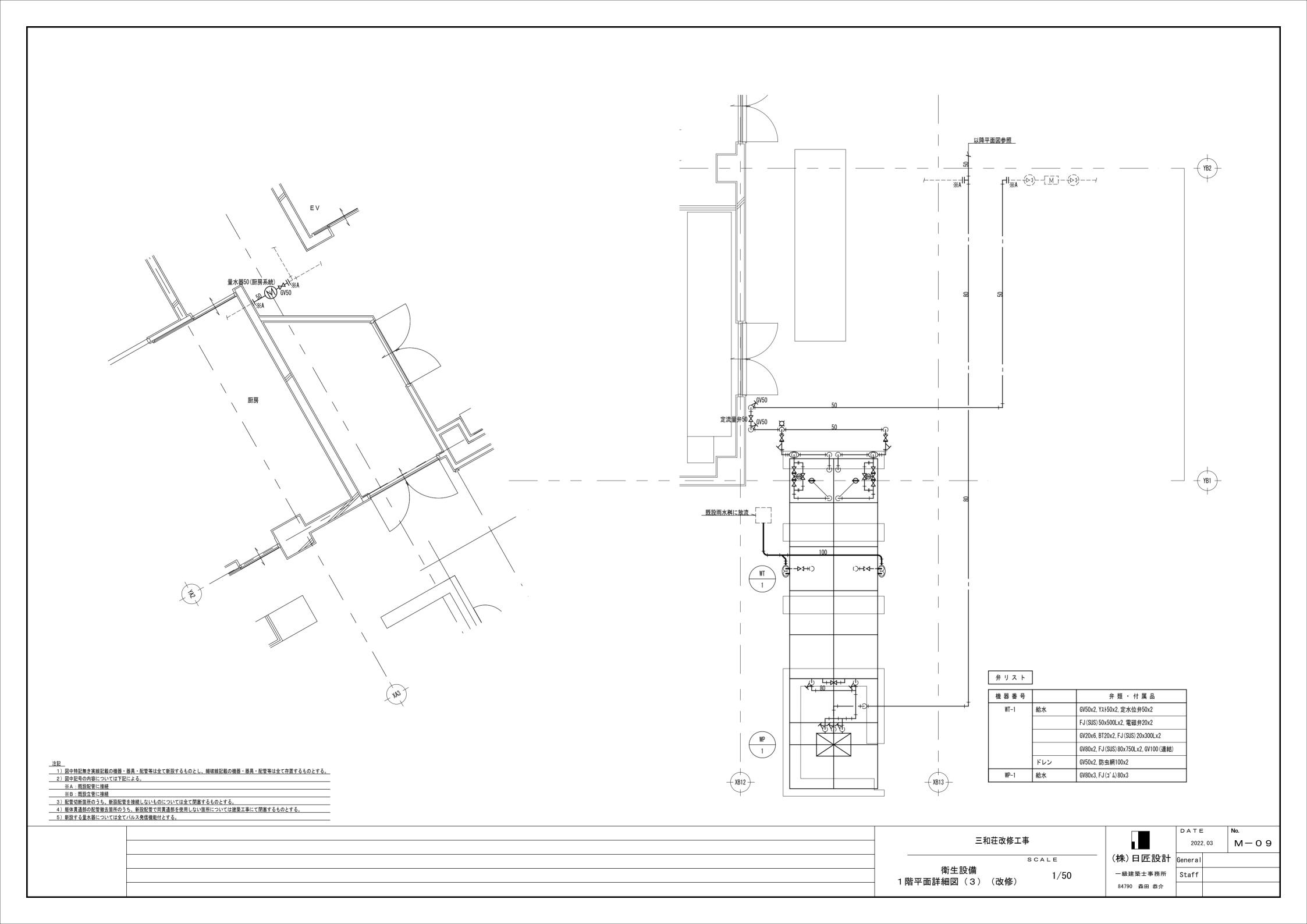
名称	参 考 品 番 [上段: TOTO 下段: LIXIL	付 属 品 「上段: TOTO 下段: LIXIL	合計	1階配膳室	1階 バリアフリートイレ(1)	1階 バリアフリートイレ(2)	1階 バリアフリートイレ (3)		1階 創作室	給湯室	1階 ベビールーム	会会	2階 会議室3	男子トイ	階 女子トイレ	2階 バリアフリートイレー 2階 トイレ前通路	3階 301号室	3 0	3階 303号室	階 3 0 4 号	3 0 5 号	3階 306号室	 シャワー棟 男子洗濯室	シャワー棟 男子脱衣室1	シャワー棟 男子脱衣室2	シャワー棟 男子収納	シャワー棟 女子洗濯室	シャワー棟 女子脱衣室1	シャワー棟 女子脱衣室2	屋 外	備 考
洋風大便器	CS597BCS BC-P20SUM	SH597BAR, TCF5534AU, YH701 DT-PA280U, CW-PA11FLQD-NE, CF-63HST, CF-008-1	10								1	1	1				1	1	1	1	1	1 1									新設
洋風大便器	CS597BCS BC-P20SUM	SH596BAYR, TCF5534AU, YH701 DT-PA250UCH, CW-PA11FLQD-NE, CF-63HST, CF-008-1	3											1	2																新設
洋風大便器	CS597BPC BC-Z30P	SH598BAY, TCF5534AUY, Y9207, YH701 DT-Z350CH, CW-PA11FLQC-NEC, CF-63HST, CF-008-1, CF-11P	3		1	1	1																								新設
洋風大便器	CS20AB BC-220SK	SH30BAVA, TCA348, TCF5534AP, TS513GV16S, YH701 DT-K250CH, CW-PA11FLQC-NECK, CF-63HST, CF-008-1	1													1															新設
小便器	UFS900WR U-A51MP		2											2																	新設
オストメイト対応 トイレパック	UAS81RDB2NW PTOM-B210W	UTR141 PTOM-ESCR	4		1	1	1									1															新設
手洗器	LSE50AP	AM-320C, LF-30PA, KF-33	4		1	1	1									1															新設
手洗器	L30DM	TLE28SS1W, T22BP, TS126AR, TL220D AM-300C, LF-10PA, KF-30DN, SF-5E, KF-24F	1	1																											新設
手洗器	LSH50AP L-35	LF-48, LF-3V (55) 382W25, LF-30PA, KF-33	8																						4				4		新設
	L270CM	TLE28SS1W, TLDP2105J, REWF03B1SM, TN154, YH651, TL347CU, RHE436-45N, RHE436-75, TS126AR, TL220D																													
洗面器	L-275N	AM-300C, LF-3VK, LF-105PA, SF-10E, KF-24F, KF-30DN, A-6224, EHPS-CA3ECS2, EFH-HM1, EFH-CB3	1													1															新設
洗面器	L270CM L-275N	TL220D, TLE28SS1W, TLDS2105J, REWF03B1SM, TN154, TL347C1R RHE436-75, RHE436-45N, TH651, TS126AR AM-300C, LF-3SV (255) K, LF-105SAL, KF-30DN, SF-10E, KF-24F, A-6224, EHPS-CA3ECS2, EFH-CB3	3		1	1	1																								新設
はめ込み洗面器	L531 L-2295	TL516GR, TLE28SS1W, TLDS2105J AM-300C, LF-105SA, LF-625K, A-2202, A-6224	9				3				1	1	1	1	2																新設
はめ込み洗面器	L531 L-2295	TLG11301J, TLDS2201J, TLC4B9, TL516GR LF-WF340SYC, LF-3SV (470) K, LF-105SA, LF-625K, A6224	7														1	1	1	1	1	1 1									新設
洗面化粧台	LDSML090BUGMZ1A VH0-905SY(S)/VP2H	LTL4D13U BB-VH1-YK-S90/W	2																					1				1			新設
掃除流し	SK22A S-202A	T23AEQ20C, T37SGEP, TN114, T9R, TK22 LF-7E-19, SF-20ASF-P, SF-10E, SF-202	3													1										1			1		新設
立水栓	T136BUNR13V2C LF-14ZF-13 (65)		5					2	3																						新設
横水栓	TK133EQ13C		3						2	1																					新設
シングルレバー混合水栓	TKS05316J SF-WM432SY		4					3			1																				新設
散水栓	T200SNR13C	水栓柱 (建築工事) 水栓柱 (建築工事)	1																											1	新設
散水栓	T28KUNH13 LF-7RG-13	ハエユ(圧木ナザ)	1																											1	新設
シャワー付混合水栓	TBV03411J BF-KA147TSM		7														1	1	1	1	1	1 1									新設
洗濯水栓	TW11R LF-WJ50KQA		4																				2				2				新設
洗濯パン	PWP640N2W PF-6464AC/FW1	PJ2008NW TP-52/FW1	4																				2				2				新設
	11 VTVTVV/1 III	٧2/181	<u> </u>																												DATE

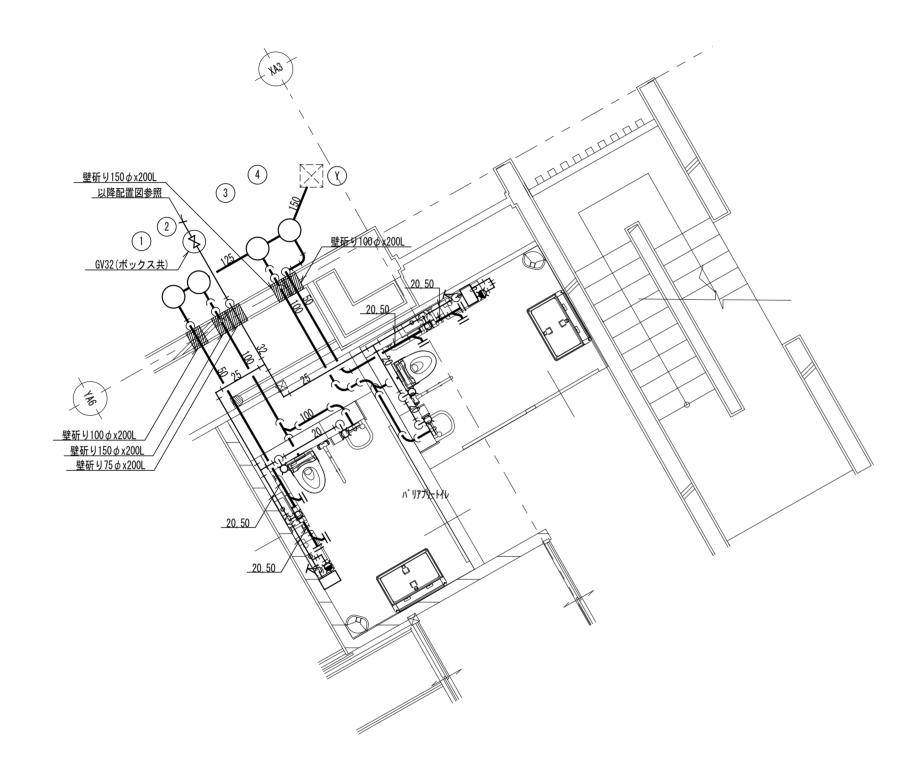
DATE No.		⊤ 重	│ ─ 三和荘改修긔		 			
2022, 00		- ₹			 			
這十 General	(株)日匠設計	SCALE						
Sfi Staff	一級建築士事務所	NS	衛生設備 器具表(改修)					
Λ	84790 森田 恭介							











※A: 既設配管に接続

※B: 既設立管に接続

3) 配管切断箇所のうち、新設配管を接続しないものについては全て閉塞するものとする。

4) 躯体貫通部の管撤去箇所のうち、新設配管で同貫通部を使用しない箇所については建築工事にて閉塞するものとする。

5) 新設する量水器については全てパルス発信機能付とする。 6) 外壁の斫り箇所のアスベスト除去については建築工事とする。

7) 屋外舗装部分の解体・復旧については建築工事とする。

排水桝表

NO	名 称	桝深さ	地盤高さ	管底深さ	寸 法	備考
NU	名 称	が赤さ	基準ほより	基準ほより	仕 様	蓋
1	塩ビ製小口径桝(インバート)	450	±0	450	90L 100-200	塩ビ製防臭蓋 300ϕ
2	塩ビ製小口径桝(インバート)	460	±0	460	90Y 125x100-200	塩ビ製防臭蓋200φ
3	塩ビ製小口径桝(インバート)	470	±0	470	90Y 150x100-200	塩ビ製防臭蓋 200ϕ
4	塩ビ製小口径桝(インバート)	480	±0	480	90Y 150x50-200	塩ビ製防臭蓋200φ
Ŷ	コンクリート製インバート桝	1, 170	±0	1, 170	600x600	MHB-600

注)会所No. Yについては既設存置とすること。

三和荘改修工事

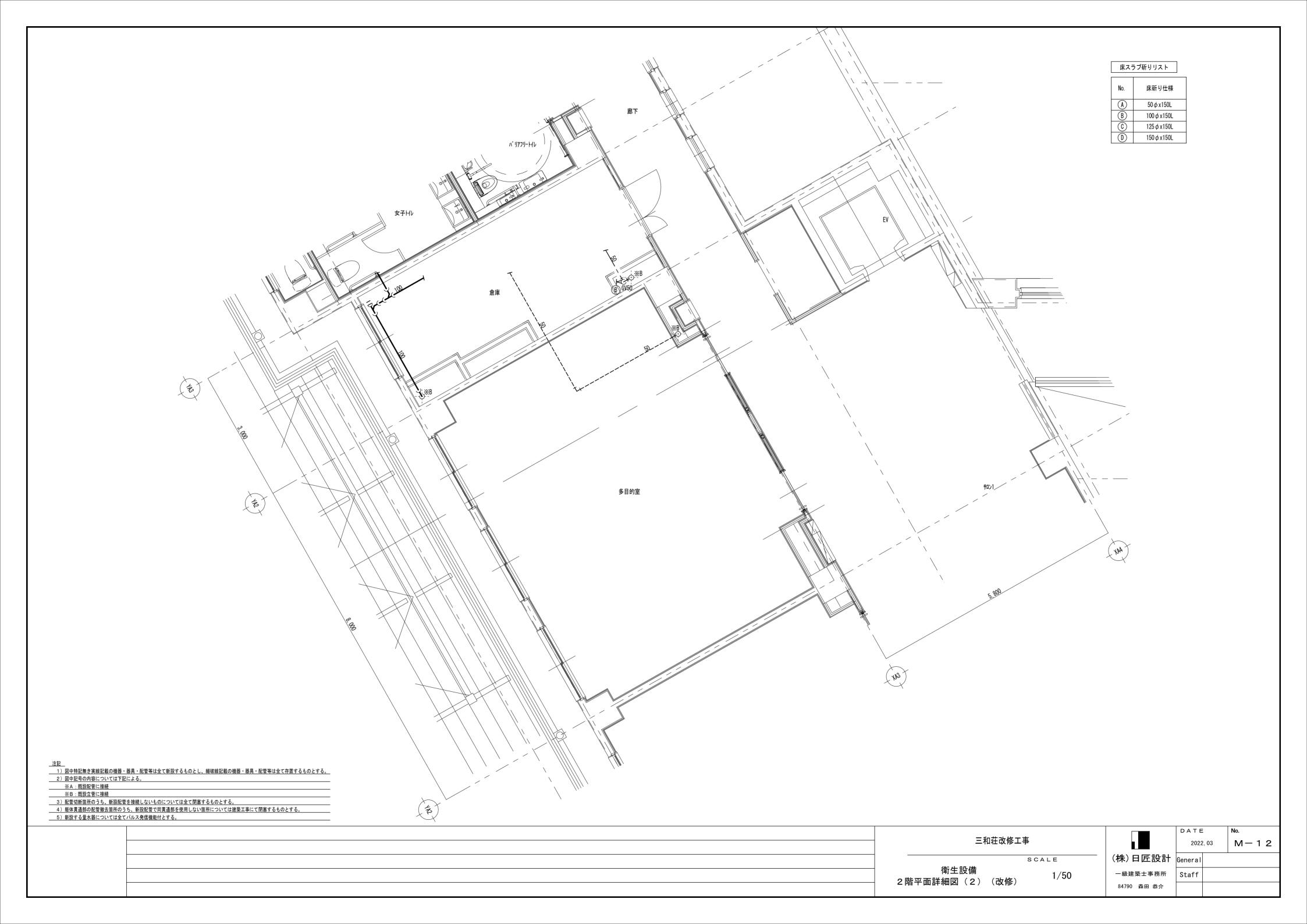
SCALE

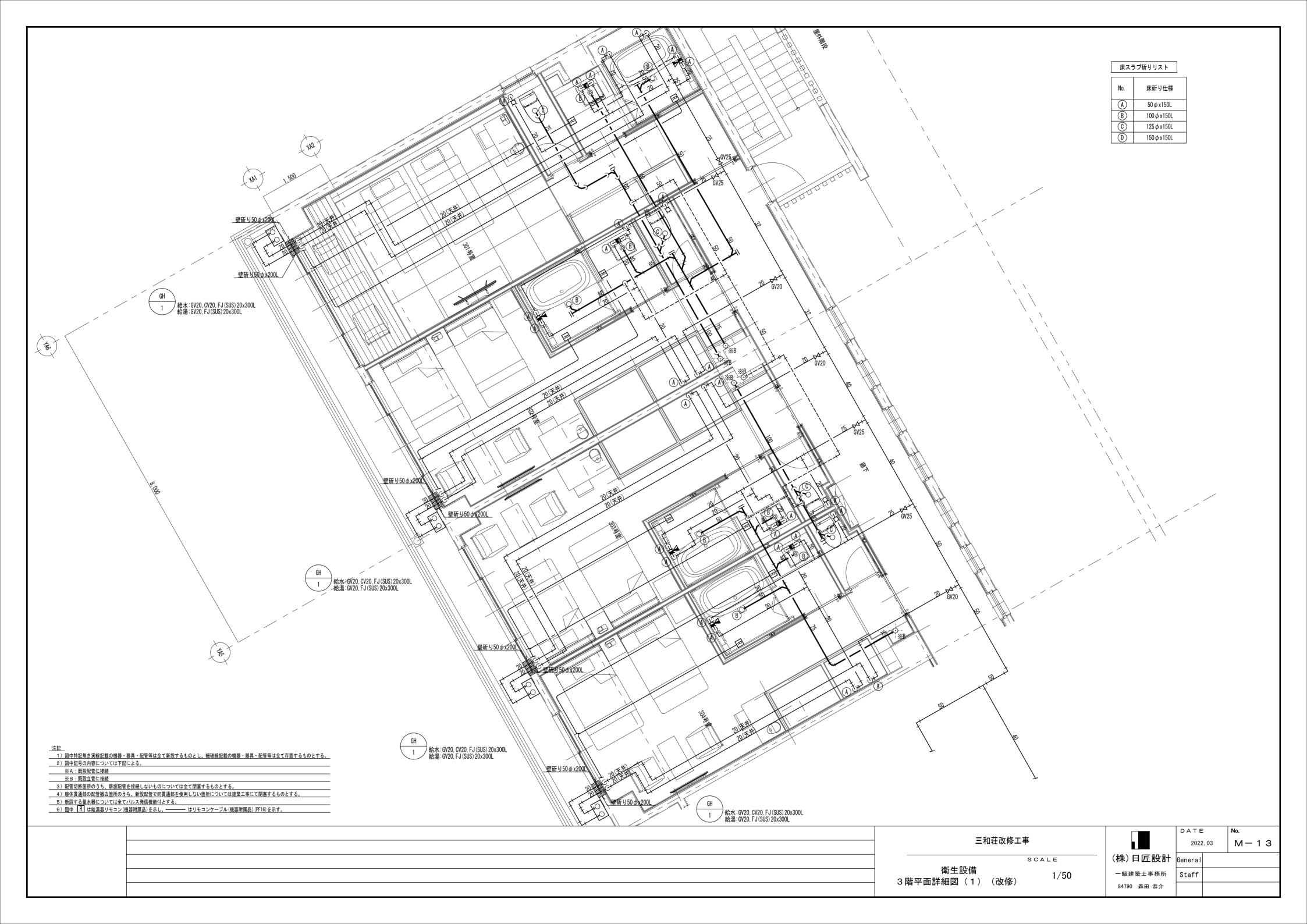
衛生設備 1 階平面詳細図(4)(改修)

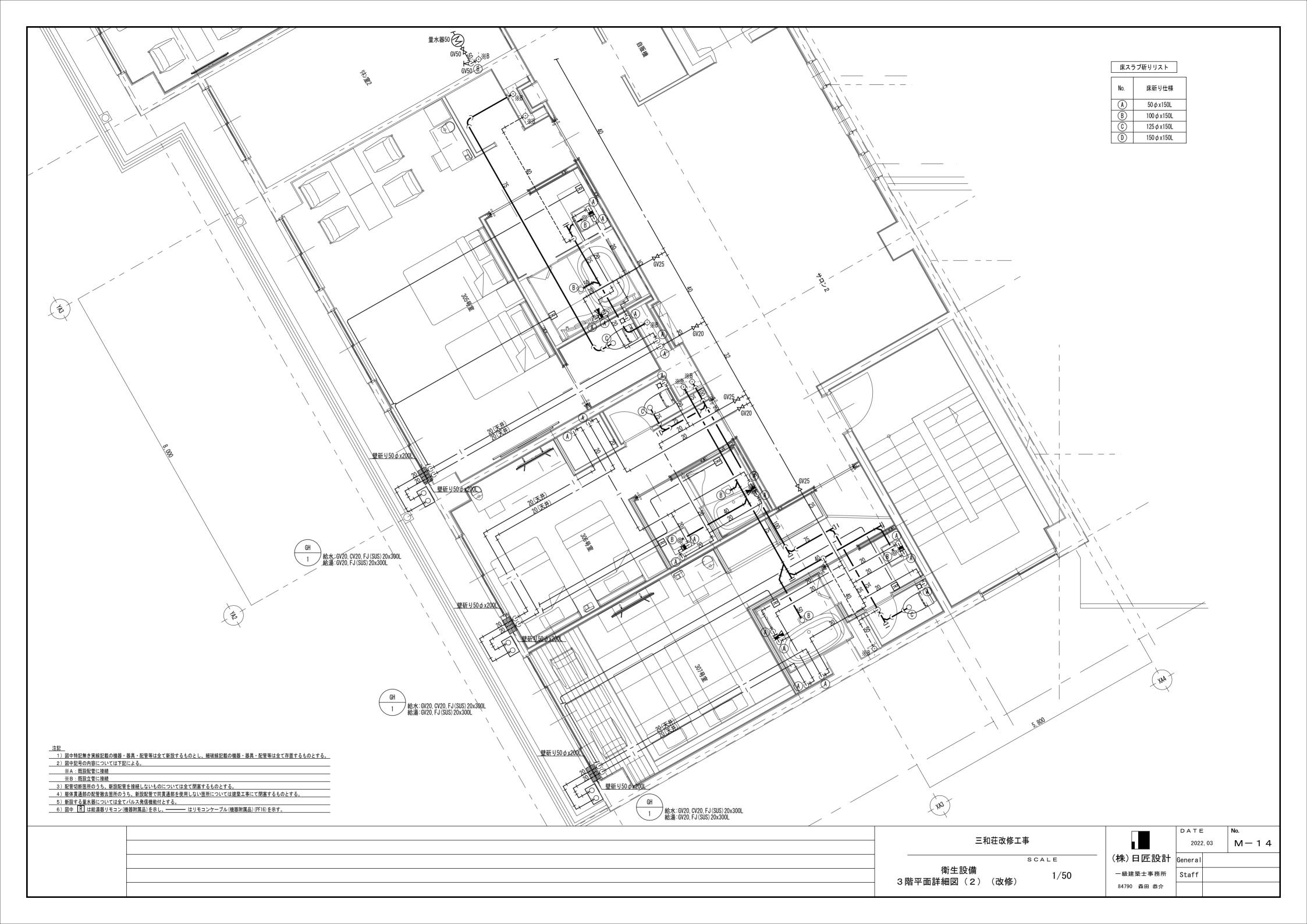
1/50

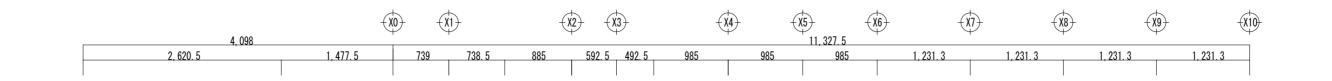
DATE 2022, 03 M - 10(株)日匠設計 General 一級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介

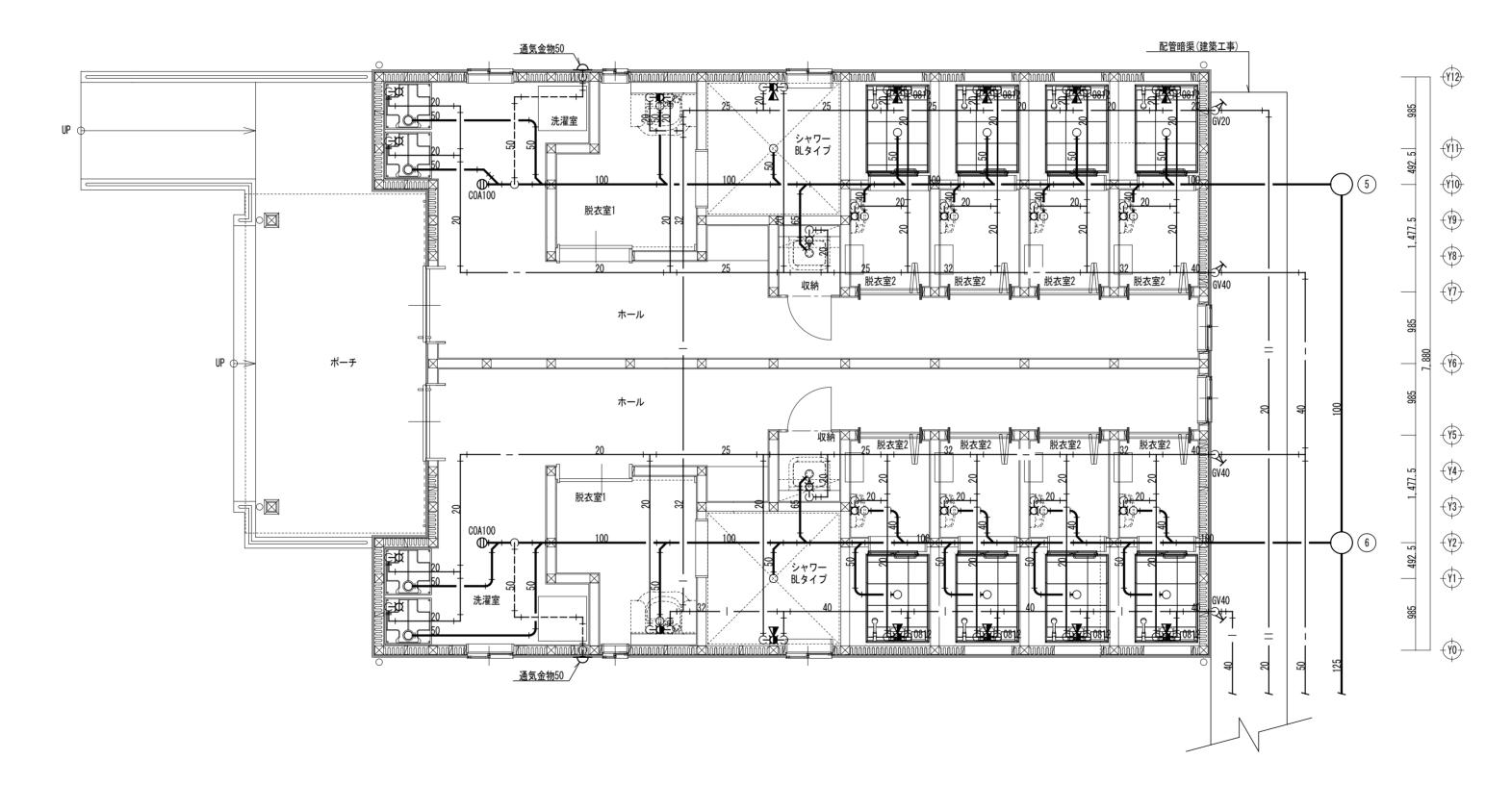












※B: 既設立管に接続

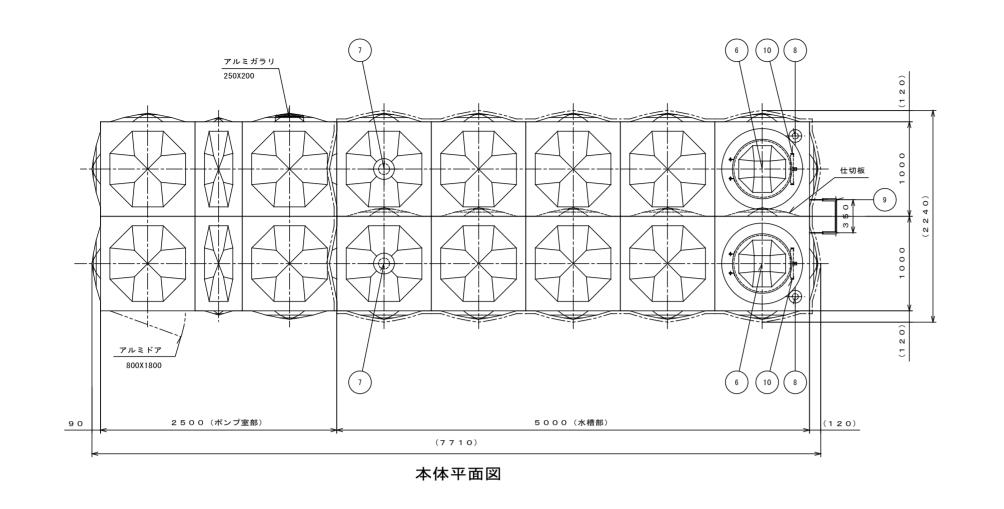
3) 配管切断箇所のうち、新設配管を接続しないものについては全て閉塞するものとする。

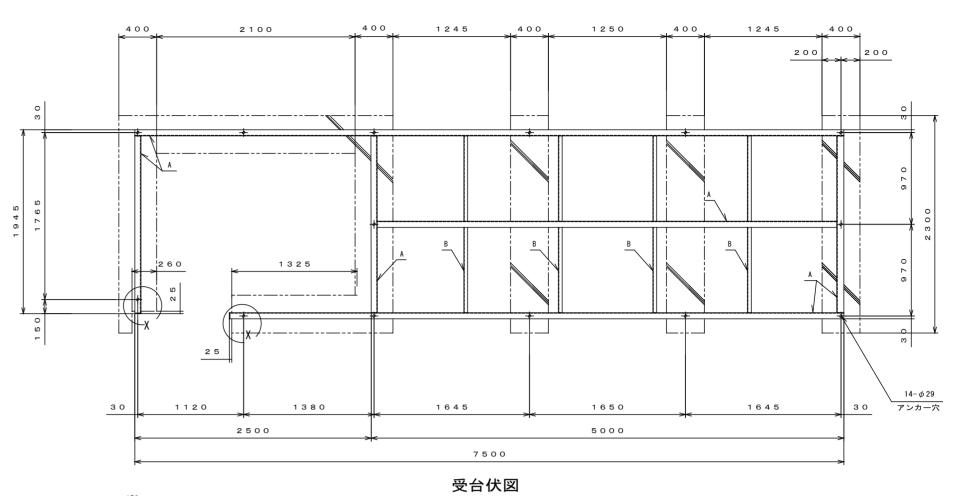
4) 躯体貫通部の配管撤去箇所のうち、新設配管で同貫通部を使用しない箇所については建築工事にて閉塞するものとする。

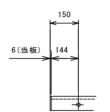
排水桝表

NO	名 称	桝深さ	地盤高さ 基準GLより	管底深さ 基準GLより	寸 法	備 考 蓋
5	塩ビ製小口径桝(インバート)	300	±0	450	90L 100-200	塩ビ製防臭蓋200φ
6	塩ビ製小口径桝(インバート)	350	±0	500	90Y 125x100-200	塩ビ製防臭蓋200φ

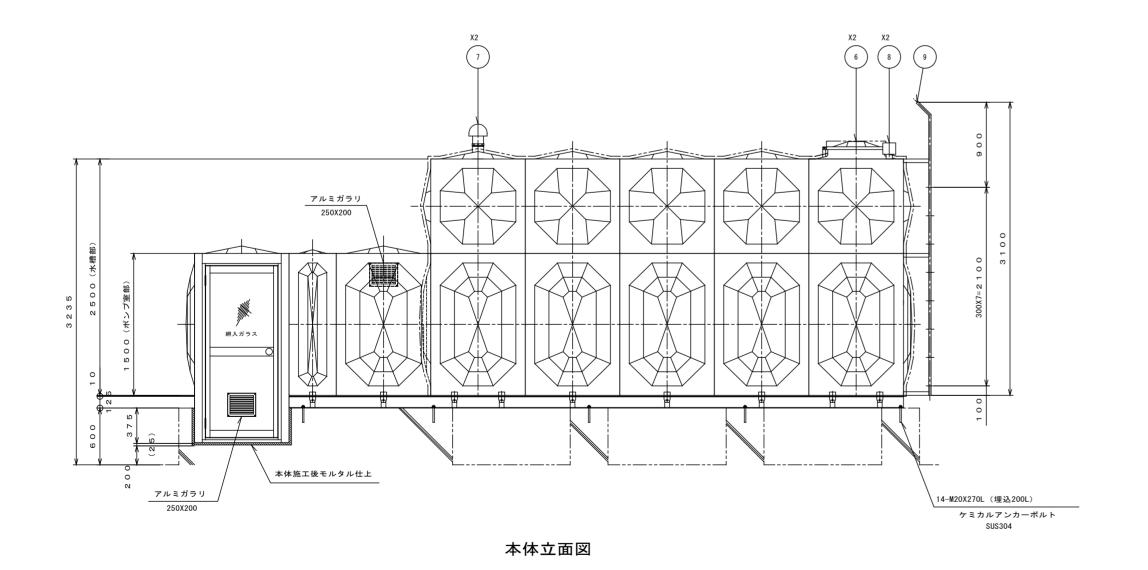
	三和荘改修工事			DATE 2022, 03	No. M — 1 5
	衛生設備	SCALE	(株)日匠設計	General	
	シャワー棟平面詳細図(改修)	1/50	一級建築士事務所	Staff	







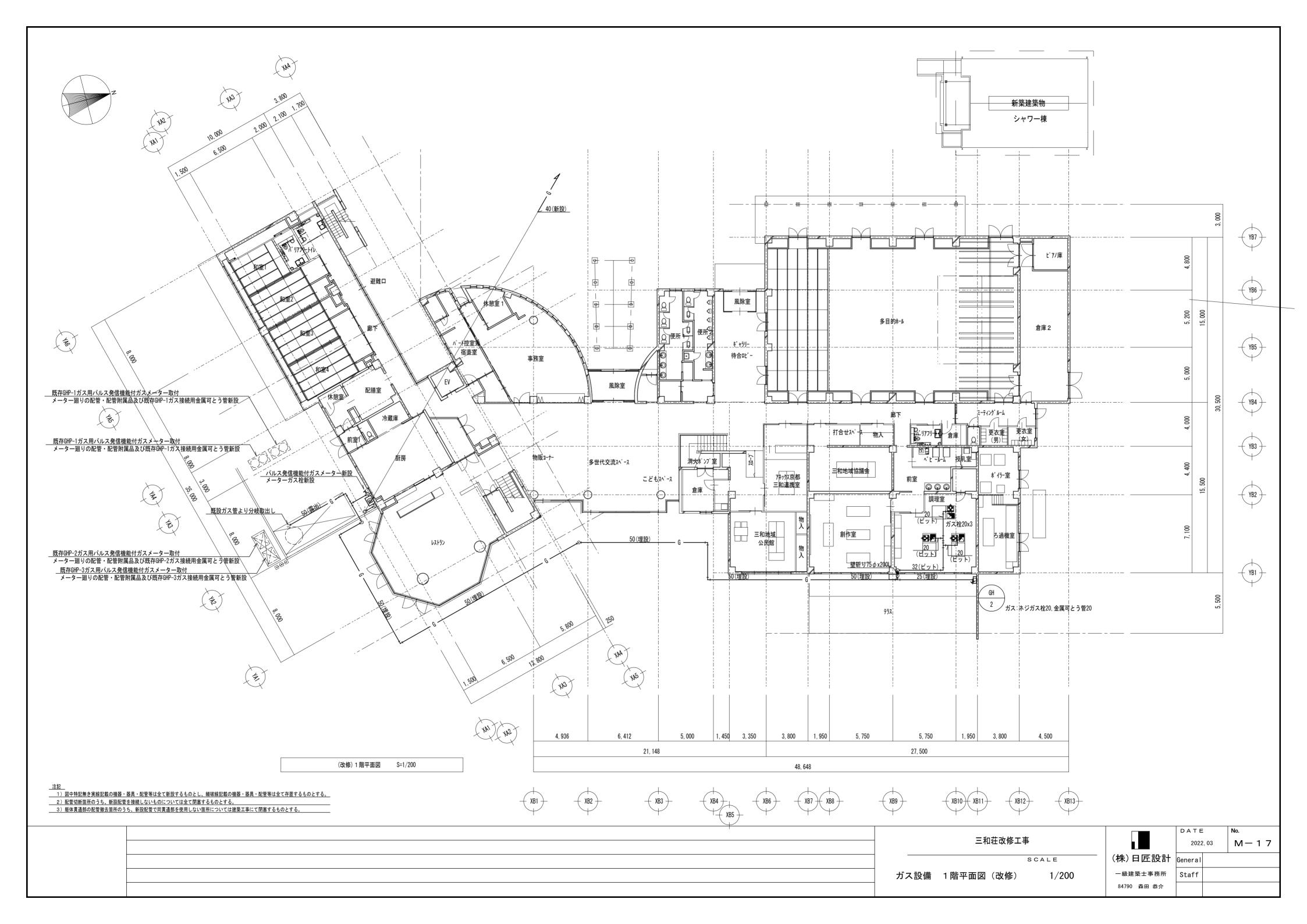
図面通り1ケ所 勝手違い1ケ所 X部詳細図

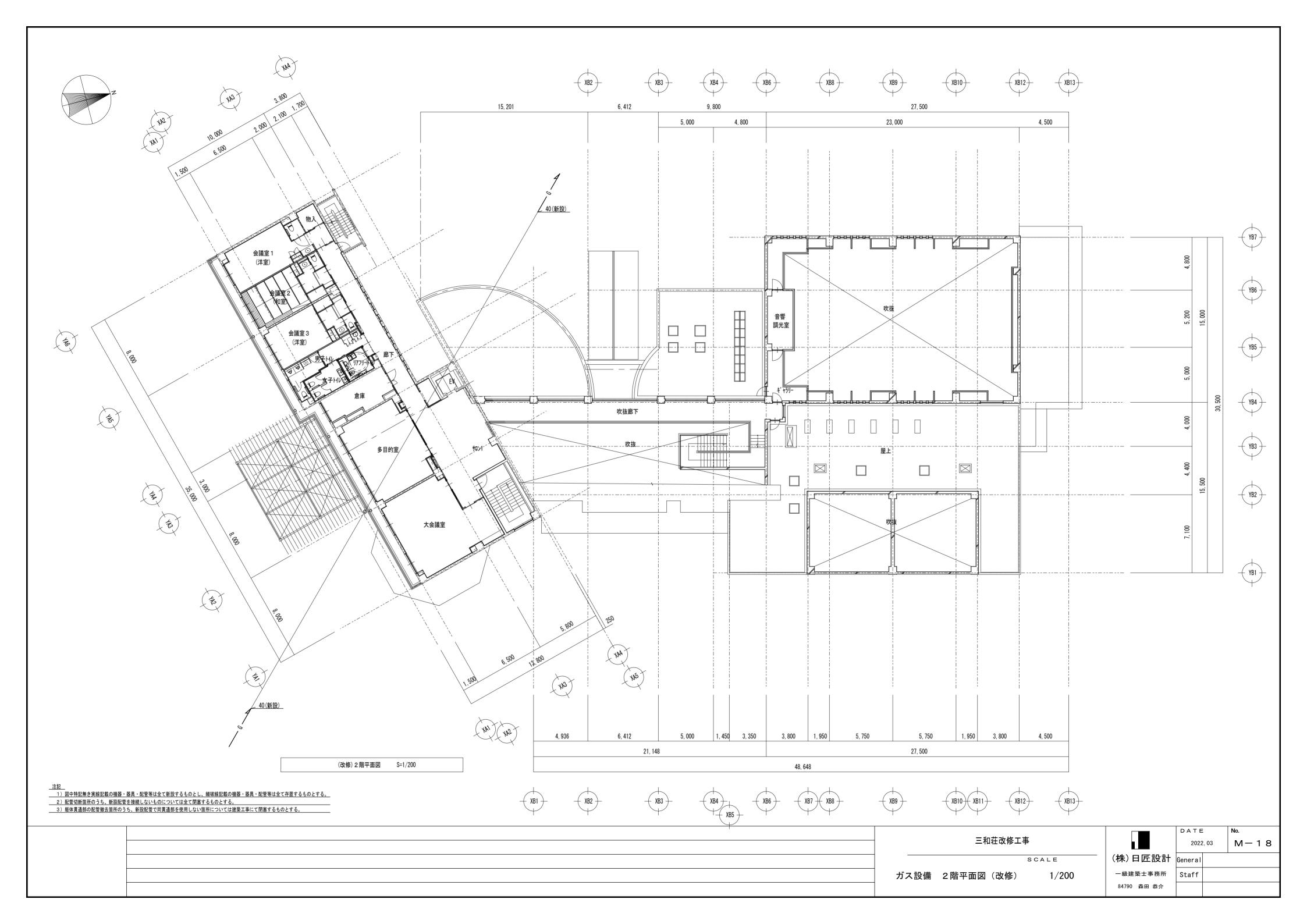


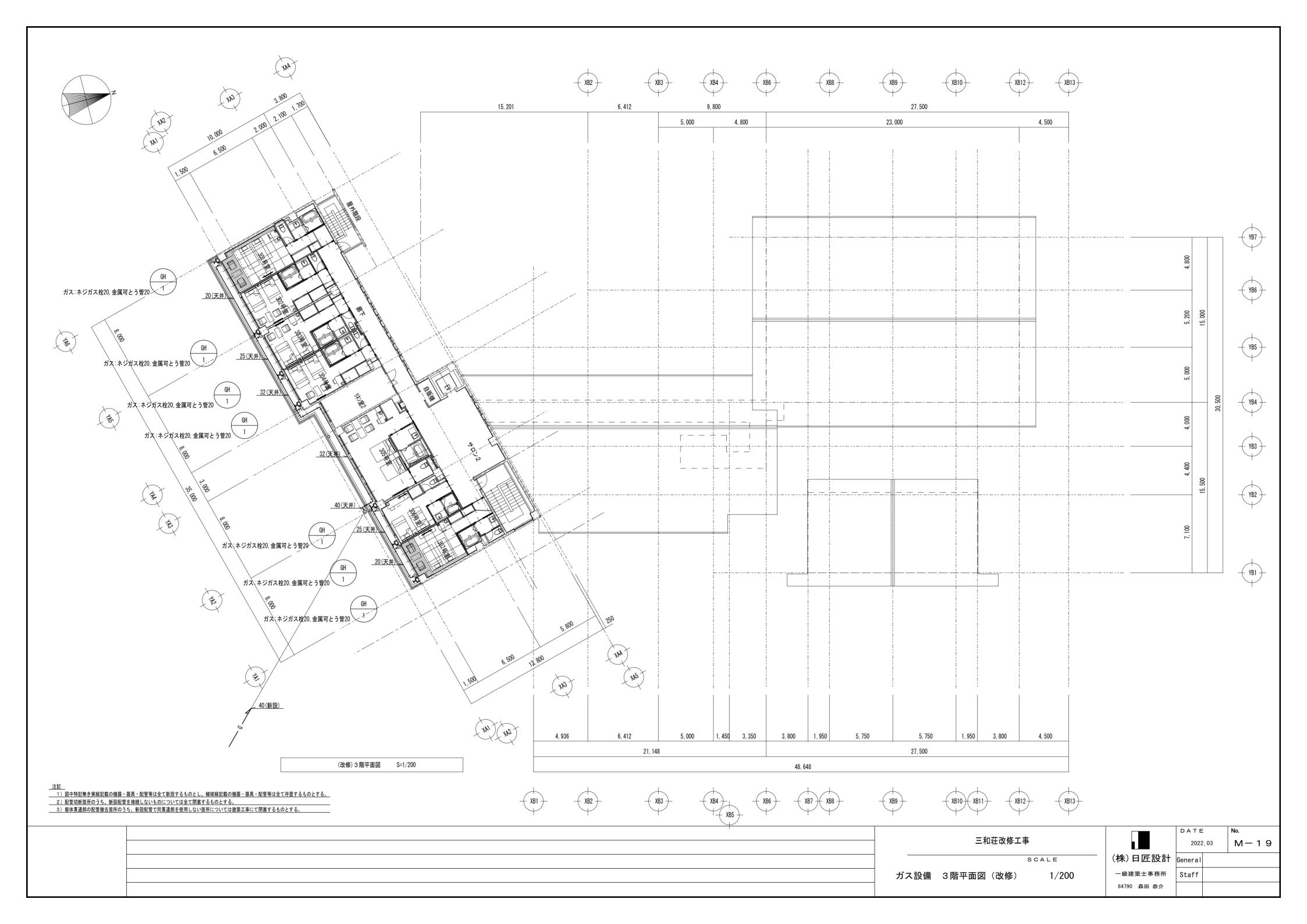
溶接	医組立	形ス	テンし	ノスパネ	レタ:	ンク仕様
設計水	平震度	K h = 1	. 0			
寸	法	2000 (1000+	-1000) X 7500 (50	000+P2500) X 2500 (P15	00)	
本	体	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	SUS329J4L
		側板1段	t2.0	底板(プレス)	t2.0	SUS444
		ポンプ室	t1.5			SUS444
受台(架台)	A材	C125X65X6	B材 C75X	40X5	
						SS400
仕	上	ステンレス	溶接部は酸洗いる	不動態化処理		
		SS部は溶融	亜鉛メッキ			
保	温	発泡ポリス	チレン30m/m (水	槽部のみ)		
外	装	t0.8アルミ	パネル			
付 原		通気、電極	カバー、ケミカル	ルアンカーボルト		
重	量	本体	1850	k g 受台(勃	(台)	510 kg

品番	名	称	材	質	寸	法	個数	備	考
1	本	体	SU	S				(223-2209-	0Y7)
2	揚水「	П	SUS	3 1 6					
3	給 水 [SUS	3 0 4					
4	溢水		SUS	3 1 6					
5	排水「		SUS	3 0 4					
6	マンホール		SUS32	9 J 4 L	φ 600		2	施錠式 保温付	二重蓋(樹脂)
7	通気		AВ	S	100A		2	防虫網付	
8	電極取付用原	座	SUS	3 1 6	50A		2	内外ソケット	、防波管付
9	外 はしご		STI	KM	350X3	300	1	φ 25. 4 • RB1	6
10	内 はしご		SUS32	9 J 4 L	330X3	300	2	L30X30	

	三和荘改修工事		TE No. 2022, 03	No. M — 1 6
	SCALE	(株)日匠設計 Gene	ral	
	- 衛生設備 1/50 - 受水槽詳細図(改修)	一級建築士事務所 Sta	ff	
	文小僧許和凶(以修)	84790 森田 恭介		







			電気	容 量			
記号	名 称	仕 様	電源 (<i>φ</i> -V)	容量 (W·kW)	台数	設置場所	備考
GHP-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 \$\phi\$ 2 0 0 V		2	1階 屋外 [存置]	電気容量: 1. 0 2 kW(S)
		冷房能力:5 6. O kW(J I S条件時)	原動機	12. 4 kW			0. 64kW (W)
		暖房能力:63.0kW(JIS条件時)	送風機	0.70×2kW			パナソニック: U-GWH560S1DRE
		ガス消費量: 4 2. 5 k W(L P G)					
G H P — 2	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 φ 2 0 0 V		1	1階 屋外 [存置]	電気容量: 0. 55kW(S)
				5. 0 kW	·		0. 30 kW (W)
		暖房能力:25.0kW(JIS条件時)		0. 70kW			パナソニック: U-GH224T1D
		ガス消費量: 20. 4kW (LPG)	X 1940				
	18-1-10-2-8-7						
G H P — 3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 \$\phi 2 0 0 V		1	1階屋外[存置]	電気容量: 0. 65kW(S)
		冷房能力:28.0 kW (JIS条件時)	原動機	6. 2 kW			0. 45 kW (W)
		暖房能力:3 1. 5 kW(J I S条件時)	送風機 	0.70kW			パナソニック: U-GH280T1D
		ガス消費量:3 1. 6 kW (LPG)					
G H P – 4	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 Ø 2 0 0 V		2	1階 屋外 [存置]	電気容量: 1. 24kW(S)
		冷房能力:56.0kW(J I S条件時)	原動機	12. 4 kW			0. 74kW (W)
		暖房能力:63.0kW(JIS条件時)	送風機	0.70×2kW			パナソニック: U-GWH560T1D
		ガス消費量: 4 5. 4 k W(L P G)					
G H P – 5	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 φ 2 0 0 V		2	1階 屋外 [存置]	電気容量: 1. 16kW(S)
		冷房能力:45.0kW(JIS条件時)	原動機	10.0kW			0. 55kW (W)
		暖房能力:50.0kW(JIS条件時)		0.70×2kW			パナソニック:U-GWH450T1DR
		ガス消費量:38.5kW (LPG)					
GHP-1-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット 4 方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	2 0 W	2	1階 和室1 [再取付]	
GHF I I	ガスと一下ホックとル州マルノエノコン	一	1 ψ 2 0 0 ν	2 0 00	2	1階和室2[存置]	
					2	1階 和室3 [存置]	
		である			2	1階 和室4 [存置]	
GHP-1-2	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	1 0 0 W	1	1階 事務室 [存置]	
		冷房能力:14.0kW(JIS条件時)					
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)					
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共					
GHP-1-3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット 4 方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	2 0 W	1	1階 EVホール [存置]	
		冷房能力:4.5kW(JIS条件時)					
		暖房能力:5.0kW(JIS条件時)					
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共					

三和荘改修工事

SCALE

空調設備 機器表(1)(改修) NS

	20
(株)日匠設計	Gener
一級建築士事務所	Staf
84790 森田 恭介	

	DAIE	-	NO.
	2022	2, 03	M-20
株)日匠設計	General		
·級建築士事務所	Staff		
4790 森田 恭介			

			電気	電 気 容 量		l l			
記号	名 称	仕 様	電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	一 台数	設 置 場 所	備 考		
GHP-1-4	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 W	1	1階 階段前 [存置]			
		冷房能力:7. 1 kW(J I S条件時)							
		暖房能力:8.0kW(JIS条件時)							
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共							
GHP-1-5	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井ビルトイン型	1 Ø 2 0 0 V	1 0 W	2	1階 エントランスロビー [存置]			
		冷房能力:9. 0kW(JIS条件時)							
		暖房能力:10.0kW(JIS条件時)							
		付属品:ワイヤードリモコン、その他標準付属品共							
GHP-1-6	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット2方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	9 0 W	1	1階 廊下 [存置]			
		冷房能力:5. 6 kW(J I S条件時)			1	2階 廊下 [存置]			
		暖房能力:6.3kW(JIS条件時)			2	2階 サロン1 [存置]			
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共			1	3階 廊下 [存置]			
					2	3階 サロン2 [存置]			
GHP-2-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 厨房用天吊型	1 Ø 2 0 0 V	3 1 5 W	2	1階 厨房 [存置]			
		冷房能力:11.2kW(JIS条件時)							
		暖房能力:12.5kW(JIS条件時)							
		付属品:ワイヤードリモコン、スポットダクト、その他標準付属品共							
GHP-3-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット 4 方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	3 5 W	4	1階 レストラン [存置]			
GHP-3-1	ガスと一ドボングとル州マルチェアコン	全式・室内機・人弁ガビッドキガ門収出室 冷房能力:7. 1kW(JIS条件時)	Ι Ψ 2 0 0 V	3 3 4	4	「旧レヘトノン【行旦】			
		暖房能力:8.0kW(JIS条件時)							
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共							
G H P — 4 — 1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井ビルトイン型	1 Ø 2 0 0 V	1 0 W	2	1階 エントランスロビー [存置]			
		冷房能力:9.0kW(JIS条件時)							
		暖房能力:10.0kW(JIS条件時)							
		付属品:ワイヤードリモコン、その他標準付属品共							
GHP-4-2	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット2方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	135W	1	1階 ギャラリー [再取付]			
		冷房能力: 7. 1 kW(JIS条件時)			1	1階 ギャラリー [存置]			
		暖房能力:8.0kW(JIS条件時)							
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共							
GHP-4-3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	2 0 W	1	1階 通路 [再取付]			
		冷房能力:4.5kW(JIS条件時)			1	1階 三和連携室 [再取付]			
		暖房能力:5.0kW(JIS条件時)							

空調設備
1

三和荘改修工事

SCALE

機器表(2)(改修)

	DATE		No.
	2022	2, 03	٨
集)日匠設計	General		
·級建築士事務所	Staff		
34790 森田 恭介			

			電気容量				
記号	名 称	仕	電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	- 台数	設 置 場 所	備考
GHP-4-4	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	2 5 W	2	1階 三和地域公民館 [再取付]	
		冷房能力:5. 6 kW(JIS条件時)					
		暖房能力:6.3kW(JIS条件時)					
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共					
GHP-4-5	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 床置型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 5 W	3	1階 多目的ホール [存置]	
		冷房能力:14.0kW(J I S条件時)					
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)					
		付属品:コントロールスイッチ、木台、その他標準付属品共					
GHP-5-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 床置型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 5 W	5	1階 多目的ホール [存置]	
		冷房能力:14. O k W (J I S条件時)					
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)					
		付属品:コントロールスイッチ、木台、その他標準付属品共					
GHP-5-3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 5 W	1	1階 ミーティングルーム [再取付]	
		冷房能力:5. 6 kW(JIS条件時)					
		暖房能力:6. 3 kW (J I S条件時)					
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共					
EHP-1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	型式:室外機	3 \$\phi\$ 2 0 0 V		1	1階 屋外 [存置]	電気容量: 5. 05kW (S)
		冷房能力:16.0kW(JIS条件時)	圧縮機	3.84kW			5. 00kW (W)
		暖房能力:18.0kW(JIS条件時)	送風機	0. 12kW			パナソニック:CU-P160UL4
EHP-1-1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	型式:室内機 天井カセット2方向吹出型			1	1階 前室 [再取付]	
		冷房能力:7.1kW(JIS条件時)			1	1階 三和地域協議会 [再取付]	
		暖房能力:8.0kW(JIS条件時)					
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共					
A C – 8	空冷ヒートルームエアコン	型式:壁掛型	1 φ 1 0 0 V		1	 	
			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1	1階 休憩室 [存置]	
		暖房能力:4. 2 kW(JIS条件時)			1	· 14 (1/6/2 [1/2]	
		付属品:室外機用樹脂製置台、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共					
					1		
					1		
					1		
L	1			I .	1	l .	

三和荘改修工事

空調設備 機器表(3)(改修)

2022, 03 M — 2 2 (株)日匠設計 General 一級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介

SCALE

			電 気 容 量				
記号	名 称	位 様	電 源 (((((((((((容 量 (W・kW)	台数	設置場所 	備 考
P A C - 1	空冷ヒートパッケージエアコン	型式:天井カセット4方向吹出型 ペアタイプ	1 Ø 2 0 0 V		1	1階 配膳室 [新設]	電気容量:1. 28kW(S)
		冷房能力:5. 6 kW (J I S条件時)	圧縮機	1. 2 kW			1. 34kW (W)
		暖房能力:6.3 kW(JIS条件時)	送風機(外)	0. 04kW			
		付属品:室外機用スプリング防振架台、置台固定金具、ワイヤードリモコン、ドレンアップ、	送風機(内)	0. 05kW			通年エネルギー消費効率(APF):7.2
		その他標準付属品共					
P A C – 2	空冷ヒートパッケージエアコン	型式:天井カセット4方向吹出型 ツイン同時タイプ	3 Ø 2 0 0 V		1	1階 創作室 [新設]	電気容量:3.66kW(S)
		冷房能力:14.0kW(JIS条件時)	圧縮機	3. 3 kW			3. 47 kW (W)
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)	送風機(外)	0. 06×2kW			
		付属品:室外機用スプリング防振架台、置台固定金具、ワイヤードリモコン、ドレンアップ、	送風機(内)	0. 12×2kW			通年エネルギー消費効率(APF):6.6
		その他標準付属品共					
P A C - 3	空冷ヒートパッケージエアコン	型式:厨房用天吊型 ツイン同時タイプ	3 Ø 2 0 0 V		1	1階 調理室 [新設]	電気容量: 3. 63kW(S)
		冷房能力:14.0kW(JIS条件時)	圧縮機	1. 2 kW			4. 33 kW (W)
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)	送風機(外)	0. 06×2kW			
		────────────────────────────────────	送風機(内)	0. 04×2kW			通年エネルギー消費効率(APF):4.7
		その他標準付属品共					
R A C – 1	空冷ヒートルームエアコン	型式:壁掛型	1 Ø 1 0 0 V		1	1階 休憩室 [新設]	電気容量: 0. 425kW(S)
		冷房能力:2.2kW(JIS条件時)		0. 6 kW	1	1階 前室(厨房) [新設]	0. 470kW (W)
		暖房能力:2.5kW(JIS条件時)	送風機(外)	5 0 W	1	 シャワー棟 男子洗濯室 [新設]	
		付属品:室外機用樹脂製置台、樹脂製置台固定金具、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	送風機(内)	2 8 W	1	シャワー棟 女子洗濯室 [新設]	通年エネルギー消費効率(APF):6.7
R A C – 2	空冷ヒートハウジングエアコン	型式:天井カセット1方向吹出型	1 Ø 1 0 0 V		1	1階 レストラン事務室 [新設]	電気容量: 0. 690kW(S)
		冷房能力:2.8kW(JIS条件時)	圧縮機	0.75kW	1	1階 打合スペース [新設]	1. 110kW (W)
		暖房能力:4.0kW(JIS条件時)	送風機(外)	5 0 W	1	 1階 ベビールーム [新設]	
		付属品:室外機用樹脂製置台、樹脂製置台固定金具、ワイヤレスリモコン、ドレンアップ、	送風機(内)	3 0 W	1		通年エネルギー消費効率(A P F): 5. 5
		その他標準付属品共			1	1階 更衣室(女) [新設]	
R A C - 3	空冷ヒートルームエアコン	型式:壁掛型	1 Ø 2 0 0 V				電気容量: 0. 965kW(S)
		冷房能力:4.0kW(JIS条件時)		1. 1 kW			1. 090kW (W)
		暖房能力:5.0kW(JIS条件時)	送風機(外)	5 0 W	2		
		付属品:室外機用樹脂製置台、樹脂製置台固定金具、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	送風機(内)	4 6 W	2	シャワー棟 女子ホール [新設]	通年エネルギー消費効率(APF):5.9

		DATE	No.
三和荘改修工事		2022, 03	M - 23
SCALE	(株)日匠設計	General	
空調設備 機器表(4)(改修) NS	一級建築士事務所	Staff	
	84790 森田 恭介		

== ==		,, ,,,	電気	電気容量			
記号	名 称	位 様	電 源 (<i>φ</i> -V)	容量 (W・kW)	一 台数	設 置 場 所	備考
R A C – 4	空冷ヒートルームエアコン	型式:壁掛型	1 Ø 2 0 0 V		2	2階 会議室1 [新設]	電気容量:1.720kW(S)
		冷房能力:5. 6 kW(JIS条件時)	圧縮機	1. 5 kW	2	2階 会議室2 [新設]	1. 580 kW (W)
		暖房能力:6.7 kW(JIS条件時)	送風機(外)	5 0 W	2	2階 会議室3 [新設]	
		付属品:室外機用SUS製壁面取付金物、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	送風機(内)	4 6 W	1	3階 302号室[新設]	通年エネルギー消費効率(APF):5. 7
					1	3階 303号室[新設]	
					1	3階 304号室[新設]	
					1	3階 306号室[新設]	
R A C – 5	空冷ヒートルームエアコン	型式:壁掛型	1 \$\phi\$ 2 0 0 V		1	3階 307号室[新設]	電気容量: 1. 970kW (S)
		冷房能力:6.3 kW(JIS条件時)	圧縮機	1. 7 kW			1. 840kW (W)
		暖房能力:7.1 kW(JIS条件時)	送風機(外)	5 0 W			
		付属品:室外機用SUS製壁面取付金物、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	送風機(内)	4 6 W			通年エネルギー消費効率(APF):5.7
RAC-6		型式:壁掛型	1 φ 2 0 0 V		1	3階 301号室[新設]	電気容量:2.600kW(S)
		冷房能力:7. 1 kW(J I S条件時)	圧縮機	2. 0 kW			2. 300 kW (W)
		暖房能力:8.5kW(JIS条件時)	送風機(外)	5 0 W			
		付属品:室外機用SUS製壁面取付金物、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	送風機(内)	4 6 W			通年エネルギー消費効率(APF):5.2
RAC-7		型式:壁掛型	1 φ 2 0 0 V		2	2階 多目的室 [新設]	電気容量:2.700kW(S)
7	エルこ トル ユエノコン	冷房能力:8. OkW(JIS条件時)	 圧縮機	2. 1 kW	2	2階 大会議室 [新設]	2. 480kW (W)
		暖房能力: 9. 5 kW (JIS条件時)	送風機(外)	5 O W	1	3階 305号室[新設]	2. 480 KW (W)
		付属品:室外機用SUS製壁面取付金物、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共	送風機(内)	3 8 W	'	3階 3035至[制政]	通年エネルギー消費効率(APF): 6. 2
		内周山・王が城市303表至山坂内並物、ノイヤレスサビコン、 Cの他保平内周山只	△/54/1及(P3/	3 5 W			四十二十ルイ 州貝刈平(A F T / . 0. Z
R	多機能ワイヤードリモコン	型式:液晶モニター付			1	1階 公民館前室・通路 [新設]	パナソニック: C Z - 1 0 R T 4 C
CR	 集中リモコン	型式:インテリジェントコントローラー	1-200		1		パナソニック: C Z - 1 0 E S T 4 A
CR	未中りてコン	付属品:通信アダプタ×4、その他標準付属品共	1-200		'	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	77) 7=99 : 02=10E314A
		り周の:週間アダプダペ4、その他標準的周の共					

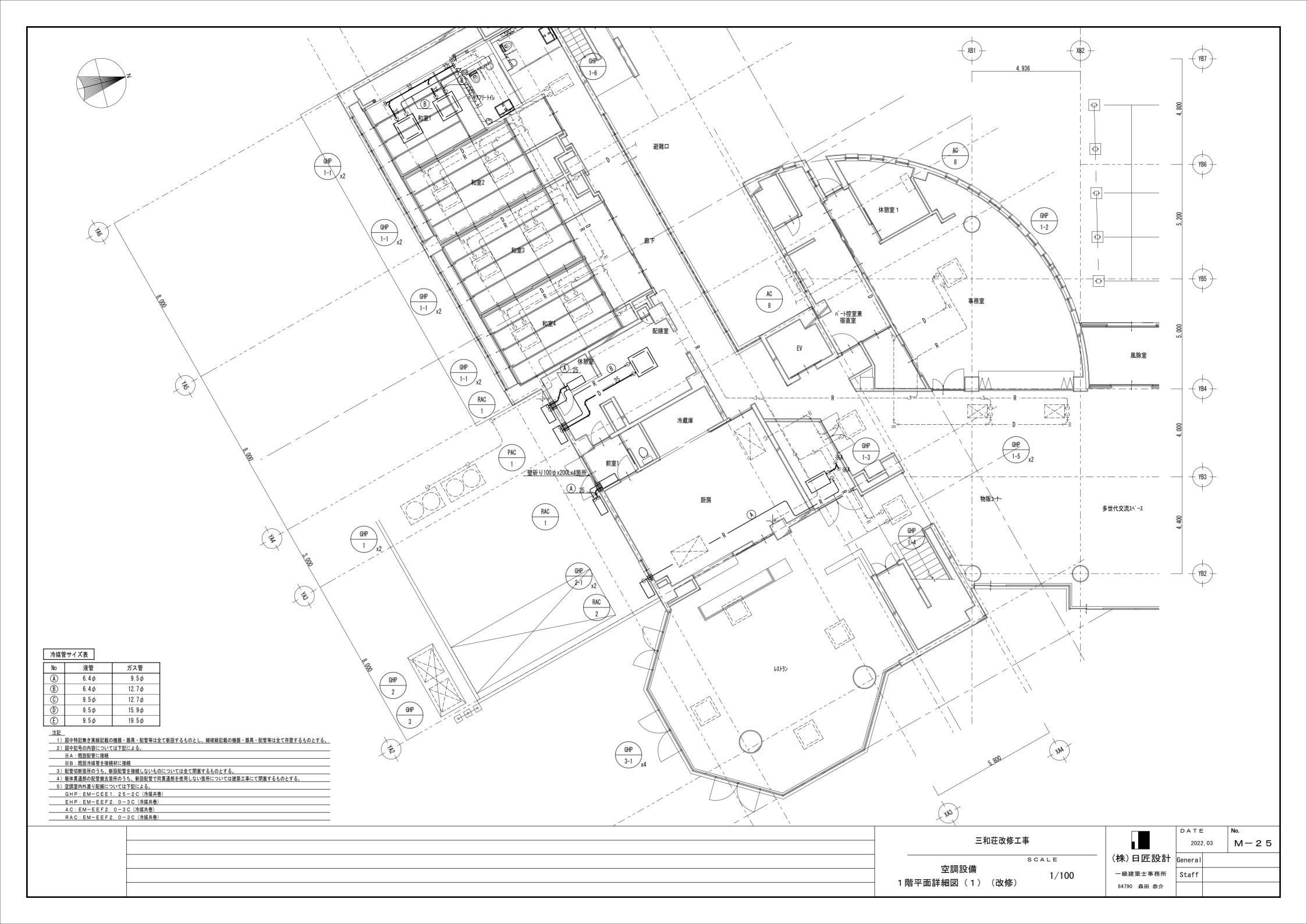
三和荘改修工事

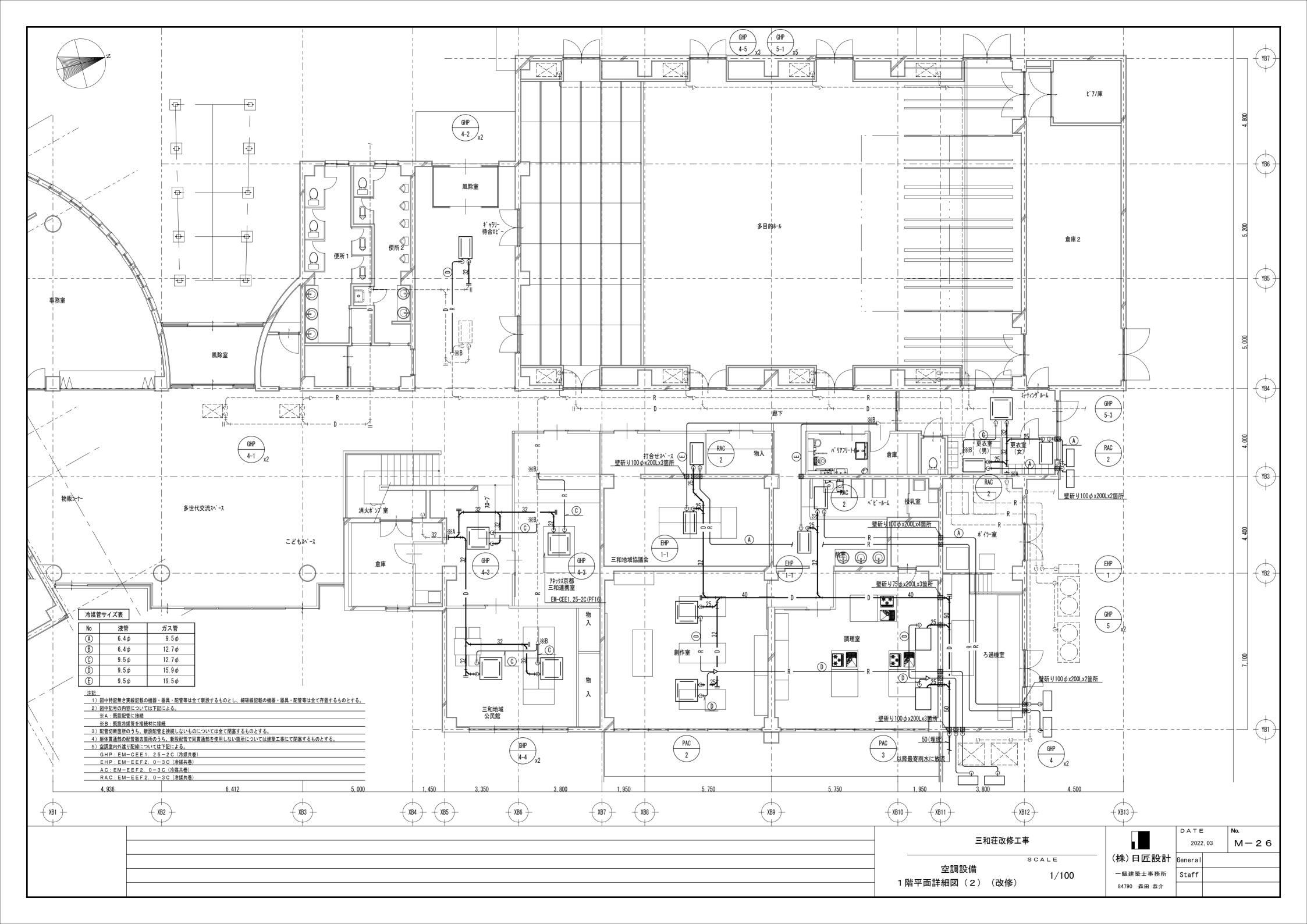
SCALE

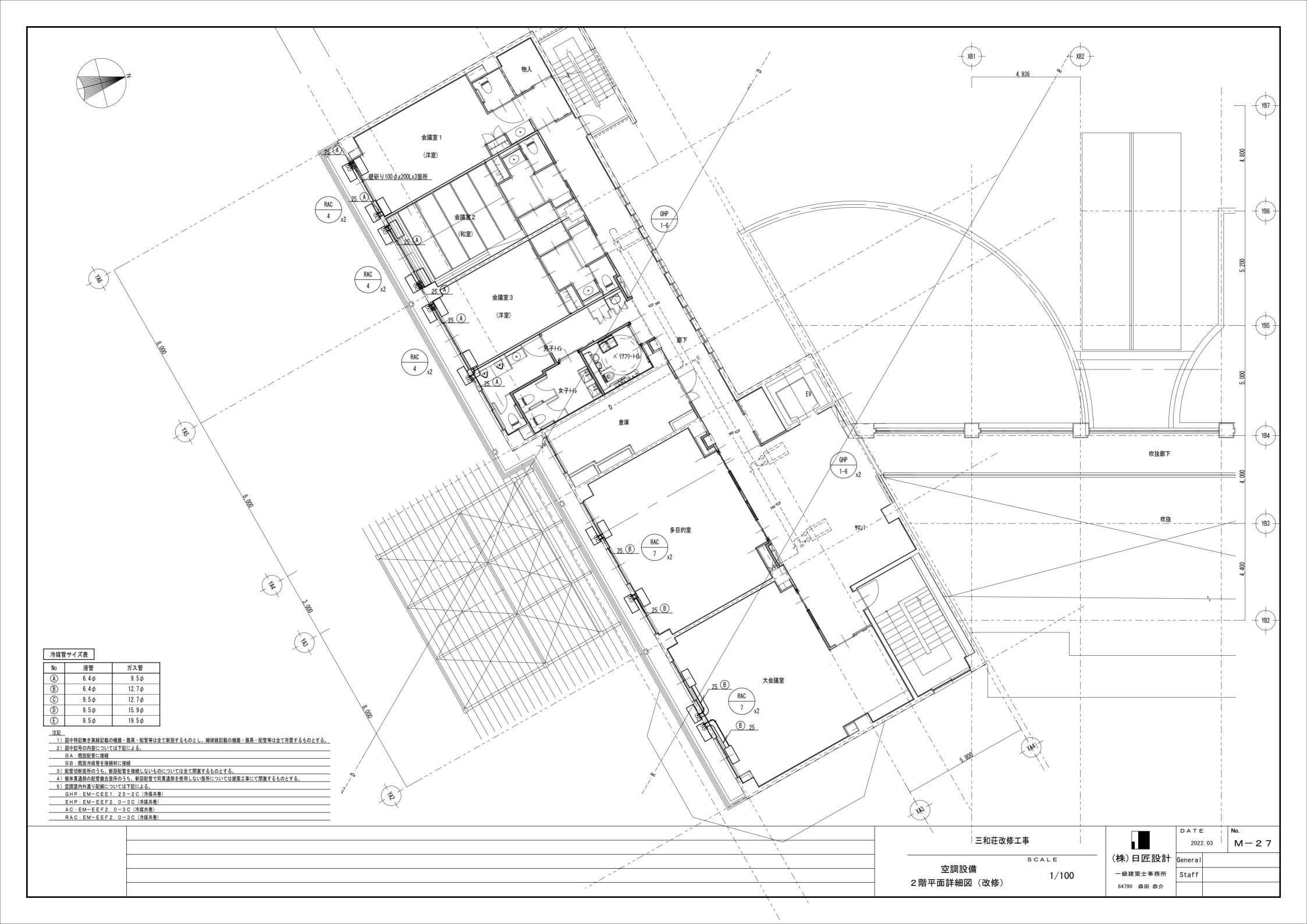
空調設備 機器表(5)(改修) NS

	DATE		No.
1	2022	2, 03	M - 24
(株)日匠設計	General		
一級建築士事務所	Staff		
84790 森田 恭介			

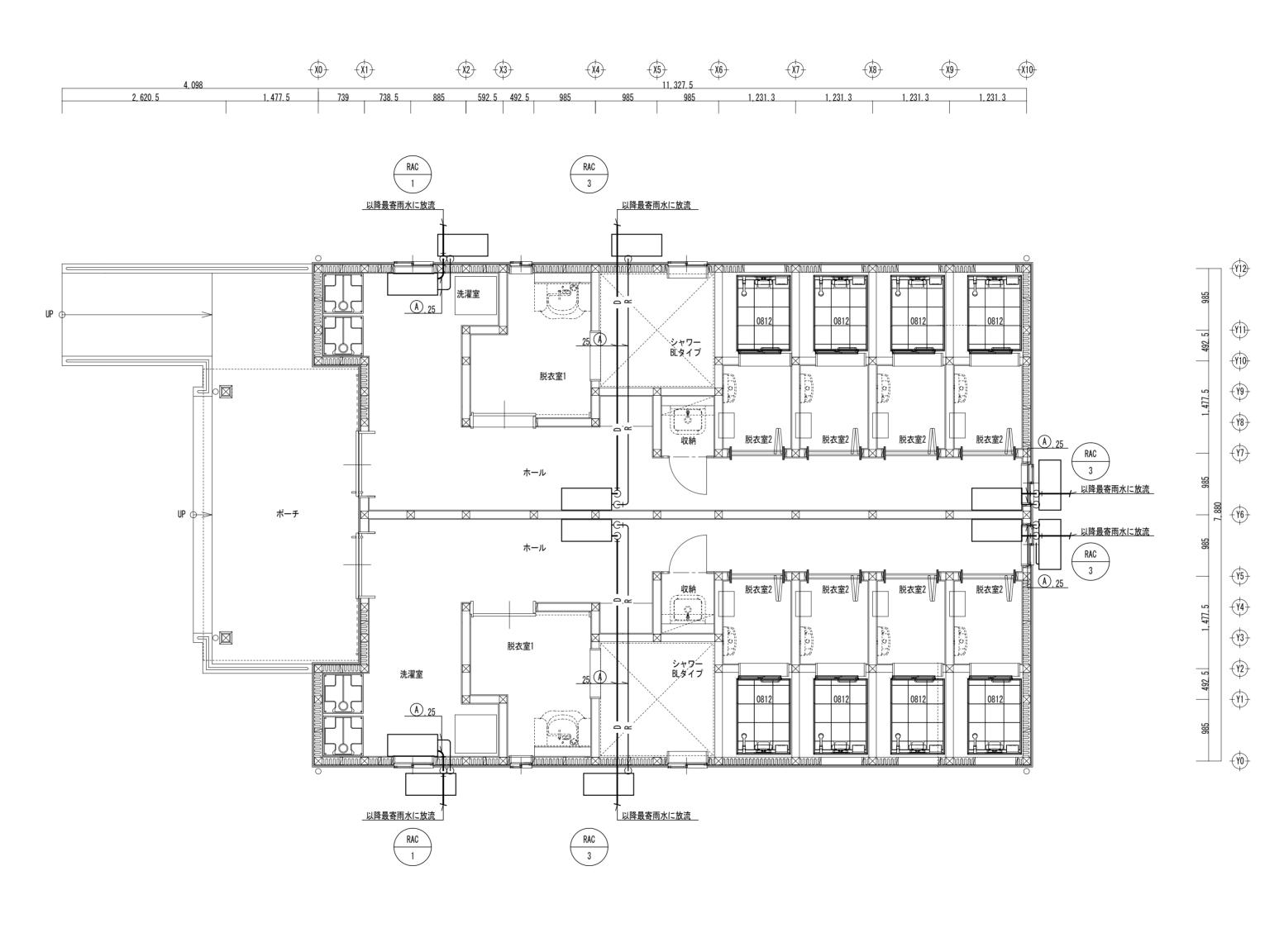
一級建第











ガス管

 9.5ϕ

12.7 ϕ

12.7 ϕ

15.9 ϕ

 19.5ϕ

冷媒管サイズ表

液管 6.4*φ*

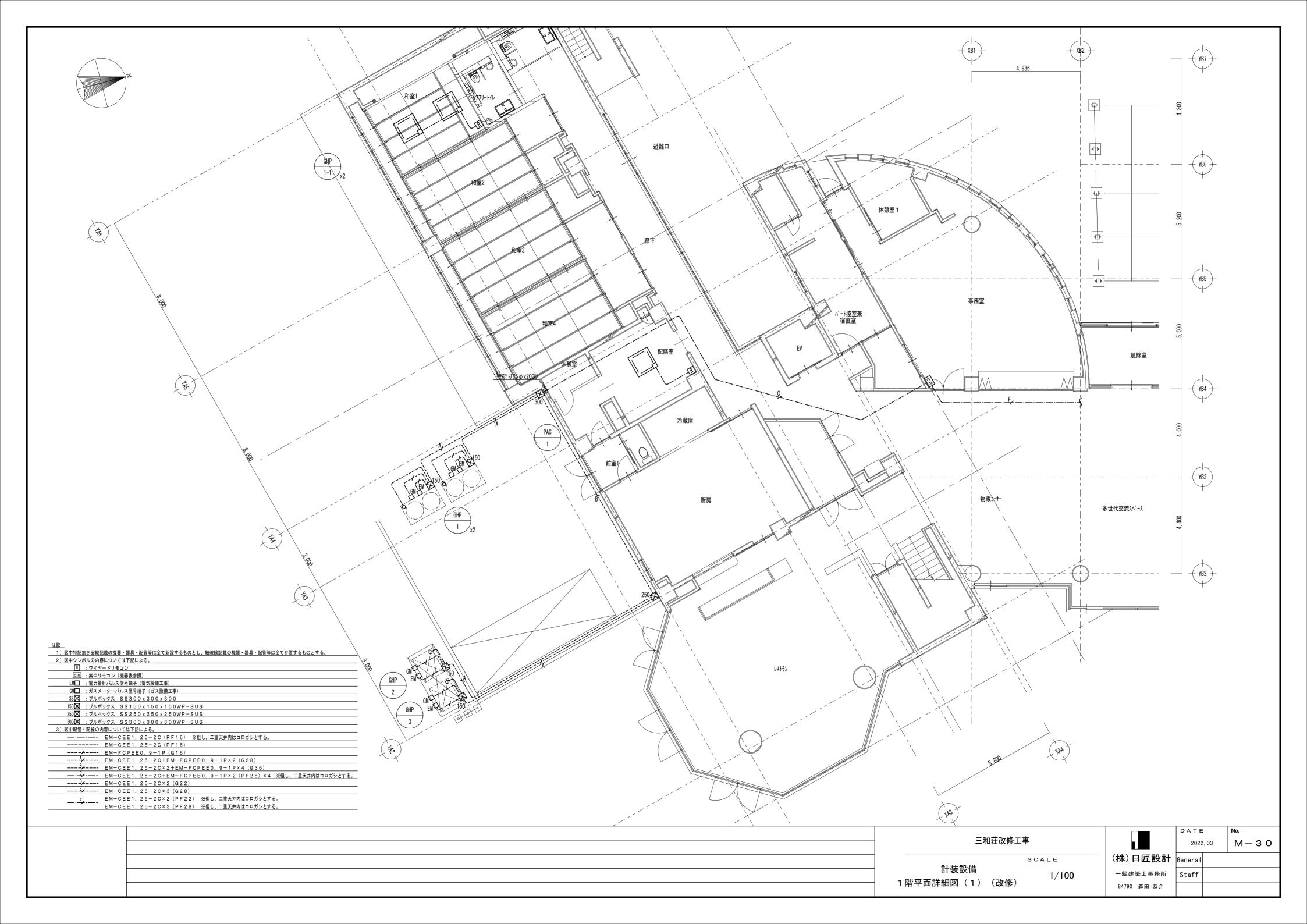
 6.4ϕ

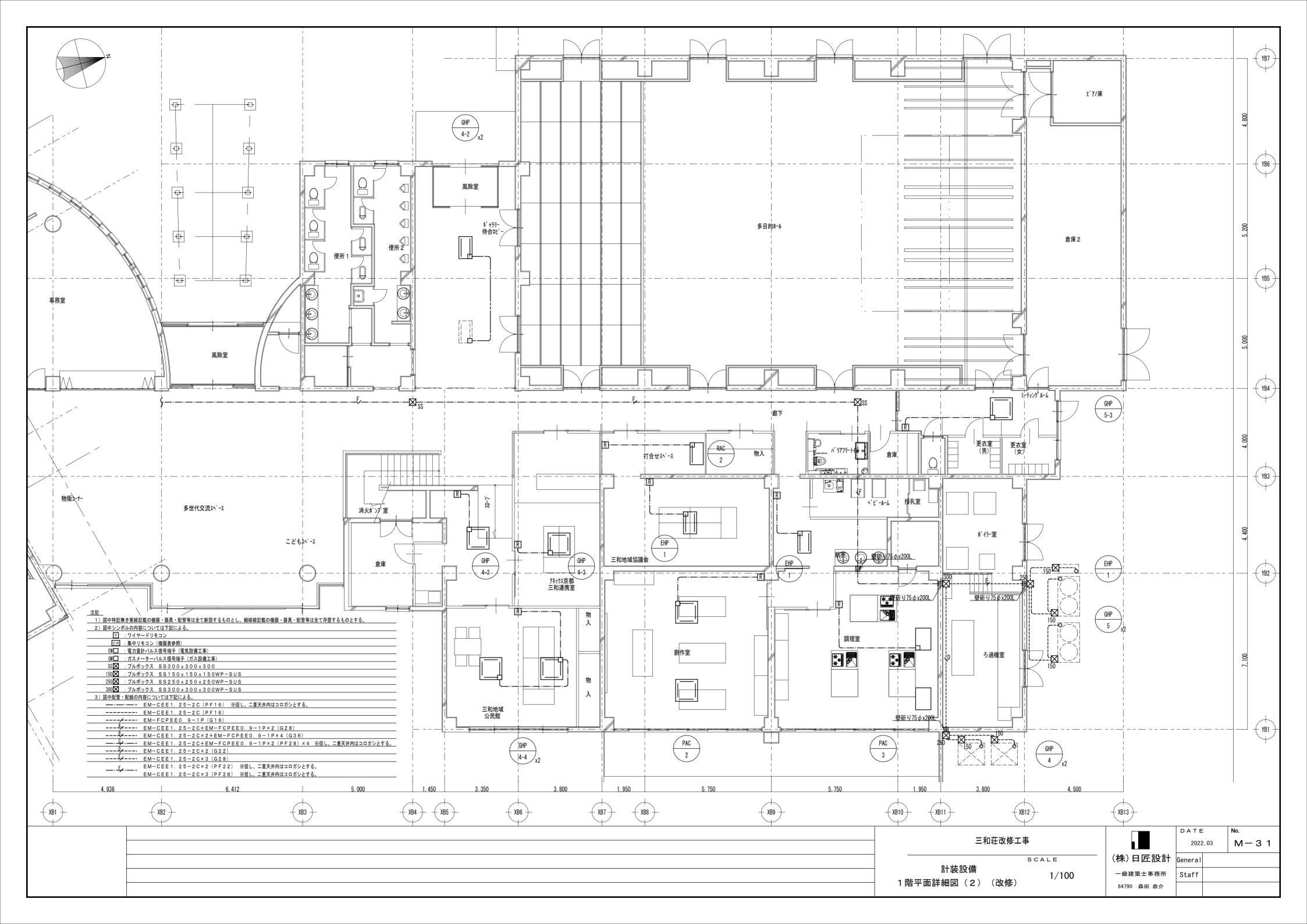
 9.5ϕ

 9.5ϕ

 9.5ϕ

三和荘改修工事	DATE No. M—2 9
SCALE 空調設備 1/50 シャワー棟平面詳細図(改修)	(株) 日匠設計 General -級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介





			電気	容 量			
記号	名称	仕 様 	電 源 (φ – V)	容 量 (W・kW)	一 台数	設 置 場 所	備考
F E – 2	排気ファン	型式:ストレートシロッコファン(消音型)	1 Ø 1 0 0 V	3 8 5 W	1	1階 エントランス女子便所[存置]	
		能力:250 <i>ф</i> ×1,200m3/h×150Pa					
		附属品:防振吊金物共					
V F — 1	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	6 2 W	1	1階 和室1 [存置]	
		能力:150 <i>φ</i> ×300m3/h×80Pa			1	1階 和室2 [存置]	
		附属品:防振吊金物共			1	1階 和室3 [存置]	
					1	1階 和室4 [存置]	
					4	1階 レストラン [存置]	
					1	1階 ミーティングルーム [存置]	
					1	2階 倉庫 [存置]	
					2	2階 サロン1 [存置]	
					1	2階 音響調光室 [存置]	
					1	3階 リネン室2 [存置]	
					2	3階 サロン2 [存置]	
V F — 2	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	2 3 W	1	1階 宿直室倉庫 [存置]	
		能力:100 <i>φ</i> ×100m3/h×80Pa					
		附属品:防振吊金物共					
V F — 3	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	1 7 W	1	1階 厨房便所 [存置]	
		能力:100 <i>φ</i> ×100m3/h×80Pa			1	1階 宿直UB [存置]	
		附属品:防振吊金物共			1	1階 ミーティングルーム便所 [存置]	
V F — 5	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	3 6 W	1	1階宿直室[存置]	
		能力:150 <i>ϕ</i> ×200m3 <i>╱</i> h×80Pa			1	1階 休憩室 [存置]	
		附属品:防振吊金物共					
V F – 6	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	4 6 W	2	1階事務室[存置]	
		能力:150 <i>ϕ</i> ×250m3 <i>╱</i> h×80Pa					
		附属品:防振吊金物共					
V F — 7		 型式:低騒音オール金属型	1 Ø 1 0 0 V	3 5 W	1	1階 宿直室 [存置]	
		能力:150 <i>ϕ</i> ×200m3/h×80Pa					
F O V - 1	有圧扇	型式:低騒音型(給気改造型)	1 Ø 1 0 0 V	3 7 0 W	1	1階 機械室 [存置]	
		能力:450φ×4,000m3/h×100Pa					
		附属品:保護ガード、固定式シャッター、防虫網付SUS製ウェザーカバー、フィルター、					
		給気用アタッチメント、温度スイッチ共					

三和荘改修工事

SCALE

換気設備 機器表(1)(改修)

【株)日匠設計一級建築士事務所84790 森田 恭介

	DATE		No.
	2022	2, 03	M - 32
3匠設計	General		
築士事務所	Staff		
森田 恭介			

			電気	容量		
記号	名称	仕 様	電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	- 台数	設置場所備考
F E V - 1	有圧扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	3 7 0 W	1	1 階 機械室 [存置]
		能力:450 ϕ ×3,500m3 \angle h×50Pa				
		附属品:保護ガード、風圧式シャッター、防虫網付SUS製ウェザーカバー、取付枠共				
FEV-3	 有圧扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	39. 5W	1	1階 ピアノ庫 [存置]
		能力:250 <i>ϕ</i> ×200m3/h×50Pa				
F E V — 4	有圧扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	39. 5W	2	1階 倉庫2 [存置]
		能力:250 <i>ϕ</i> ×350m3 <i>∕</i> h×50Pa	,			
		附属品:風圧式シャッター、防虫網付SUS製ウェザーカバー、取付枠共				
					+	
					1	
					+	
					1	
					+	

三和荘改修工事 SCALE

換気設備 機器表(2)(改修)

M - 33(株)日匠設計 General 一級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介

-3 8	72 TL	// ***	電気	容 量	/> 264	=0. 99 JB =c	
記号	名称	仕 様	電 源 (φ-V)	容量 (W・kW)	一 台数	設置場所構物	
EF-1	排気ファン	型式:片吸込シロッコファン 低騒音型	3 Ø 2 0 0 V	2. 2 kW	1	1階 前室 [新設]	
		能力:#2 1/2×7, 200m3/h×300Pa					
		附属品:防振装置、その他標準附属品共					
EF-2	排気ファン	型式:片吸込シロッコファン 低騒音型	3 Ø 2 0 0 V	1. 5 kW	1	1階調理室[新設]	
		能力:#2 1/2×3, 900m3/h×300Pa					
		附属品:防振装置、その他標準附属品共					
C F - 1	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	9. 3W	1	1階 前室(厨房) [新設]	
		能力:100 <i>ϕ</i> ×50m3∕h×50Pa			1	シャワー棟 男子洗濯室 [新設]	
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共			4	シャワー棟 男子脱衣室2 [新設]	
					1	シャワー棟 男子シャワー室BL [新設]	
					1	シャワー棟 女子洗濯室 [新設]	
					4	シャワー棟 女子脱衣室2 [新設]	
					1	シャワー棟 女子シャワー室BL [新設]	
C F - 2	天井扇	型式:熱交換機能付	1 Ø 1 0 0 V	4 4 W	1	1階 休憩室 [新設]	
		能力:100 <i>ϕ</i> ×50m3/h×50Pa					
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共					
CF-3	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	15.5W	1	1階 レストラン事務室 [新設]	
		能力:100 <i>ϕ</i> ×100m3/h×50Pa			1	1階 打合スペース [新設]	
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共			1	1階物入[新設]	
					1	1階 バリアフリートイレ [新設]	
					1	2階 会議室2便所 [新設]	
					1	2階 会議室3便所 [新設]	
					1	3階 301号室便所 [新設]	
					1	3階 301号室UB [新設]	
					1	3階 302号室便所 [新設]	
					1	3階 302号室UB [新設]	
					1	3階 303号室便所 [新設]	
					1	3階 303号室UB [新設]	
					1	3階 304号室便所 [新設]	
					1	3階 304号室UB [新設]	
					1	3階 305号室便所 [新設]	
					1	3階 306号室便所 [新設]	
					1	3階 306号室UB [新設]	
					1	3階 307号室便所 [新設]	
					1	3階 307号室UB [新設]	
					1	シャワー棟 男子脱衣室1 [新設]	
					1	シャワー棟 女子脱衣室1 [新設]	

三和荘改修工事

SCALE

換気設備 機器表(3)(改修) NS

DATE 2022, 03 MO. M—3 4

(株) 日匠設計 General Staff 84790 森田 恭介

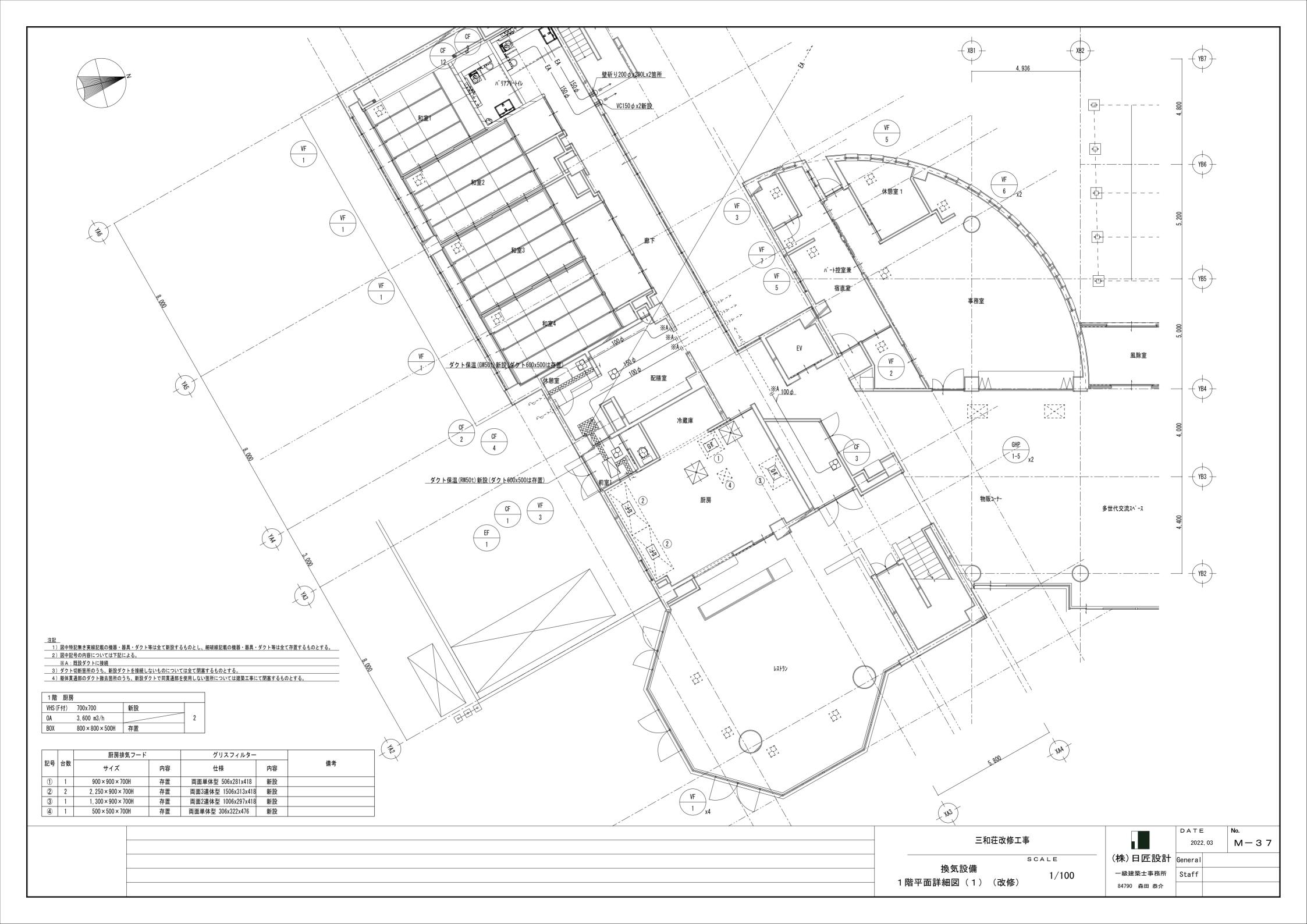
NS 一級

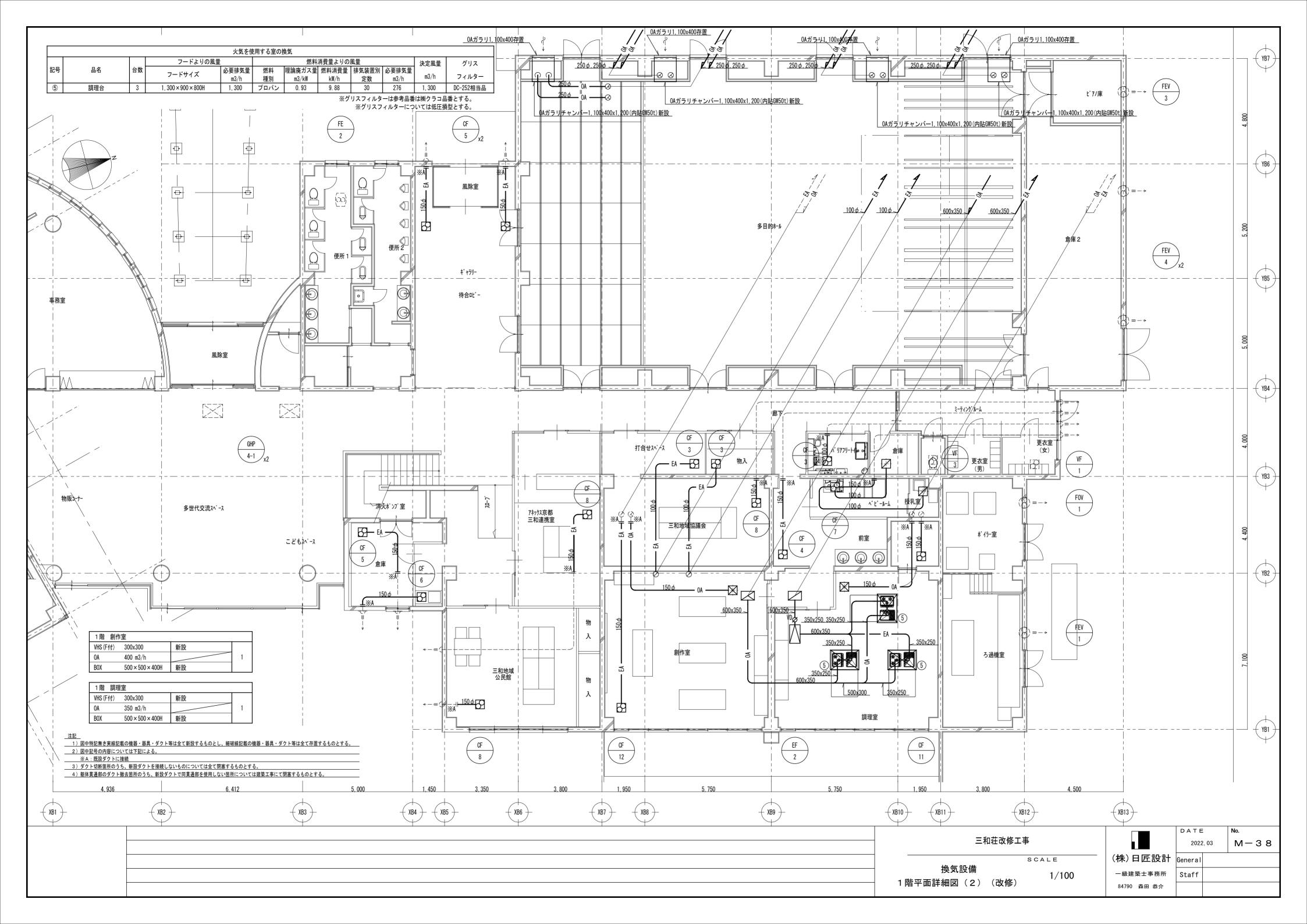
= □	th.	<i>1</i> 1	電気	容 量	△ ₩-	한 음 면 뜨	/# **
記号	名称	仕 様	電 源 (φ-V)	容量 (W·kW)	- 台数	設 置 場 所	備考
C F — 4	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	29. 5W	1	1階 配膳室 [新設]	
		能力:150 <i>φ</i> ×150m3/h×50Pa			1	1階 前室 [新設]	
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共			1	2階会議室1便所[新設]	
					1	3階 305号室UB [新設]	
					1	シャワー棟 男子ホール [新設]	
					1	シャワー棟 女子ホール [新設]	
C F - 5	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	29. 5W	2	1階 ギャラリー [新設]	
		能力:150 <i>φ</i> ×200m3/h×50Pa			1	1階 倉庫 [新設]	
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共					
CF-6	天井扇	型式:鋼板製	1 \$\phi\$ 1 0 0 V	3 5 W	1	1階 給湯室 [新設]	
		能力:150 <i>0</i> ×200m3/h×50Pa					
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共					
CF-7	天井扇	型式:低騒音型 3室換気用	1 Ø 1 0 0 V	35.5W	1	1階 ベビールーム [新設]	
		能力:150 <i>ϕ</i> ×200m3 <i>/</i> h×50Pa					
		附属品:天吊金具、副吸込口×2、その他標準附属品共					
CF-8	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	4 9 W	1	1階 三和地域公民館 [新設]	
		能力:150 <i>φ</i> ×250m3/h×50Pa			1	1階 三和連携室 [新設]	
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共			1	1階 三和地域協議会 [新設]	
CF-9	天井扇	型式:低騒音型	1 φ 1 0 0 V	4 9 W	1	1階 バリアフリートイレ [新設]	
		能力:150 <i>φ</i> ×300m3/h×50Pa			1	2階 バリアフリートイレ [新設]	
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共					
CF-10	天井扇	型式:低騒音型	1 φ 1 0 0 V	8 2 W	1	2階 女子トイレ [新設]	
		能力:150 <i>φ</i> ×350m3/h×50Pa					
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共					
CF-11			1 φ 1 0 0 V	6 4 W	1		
		能力:150 <i>ϕ</i> ×350m3∕h×50Pa	,				
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共					
CF-12		型式:低騒音型	1 φ 1 0 0 V	8 2 W	1	1 階 創作室 [新設]	
'-	/\/I P91	能力:150 <i>ϕ</i> ×400m3 <i>∕</i> h×50Pa	1,41004	5211	1	1階 バリアフリートイレ [新設]	
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共			1	2階 会議室2 [新設]	
		MINAH ・ ン・ル 並 大 、 し 、 に 1水十四 海 川 六			1	2階会議室3[新設]	
					1	2階 男子トイレ [新設]	
					2	2階 多目的室 [新設]	
					2	2階 大会議室 [新設]	
						— FH	

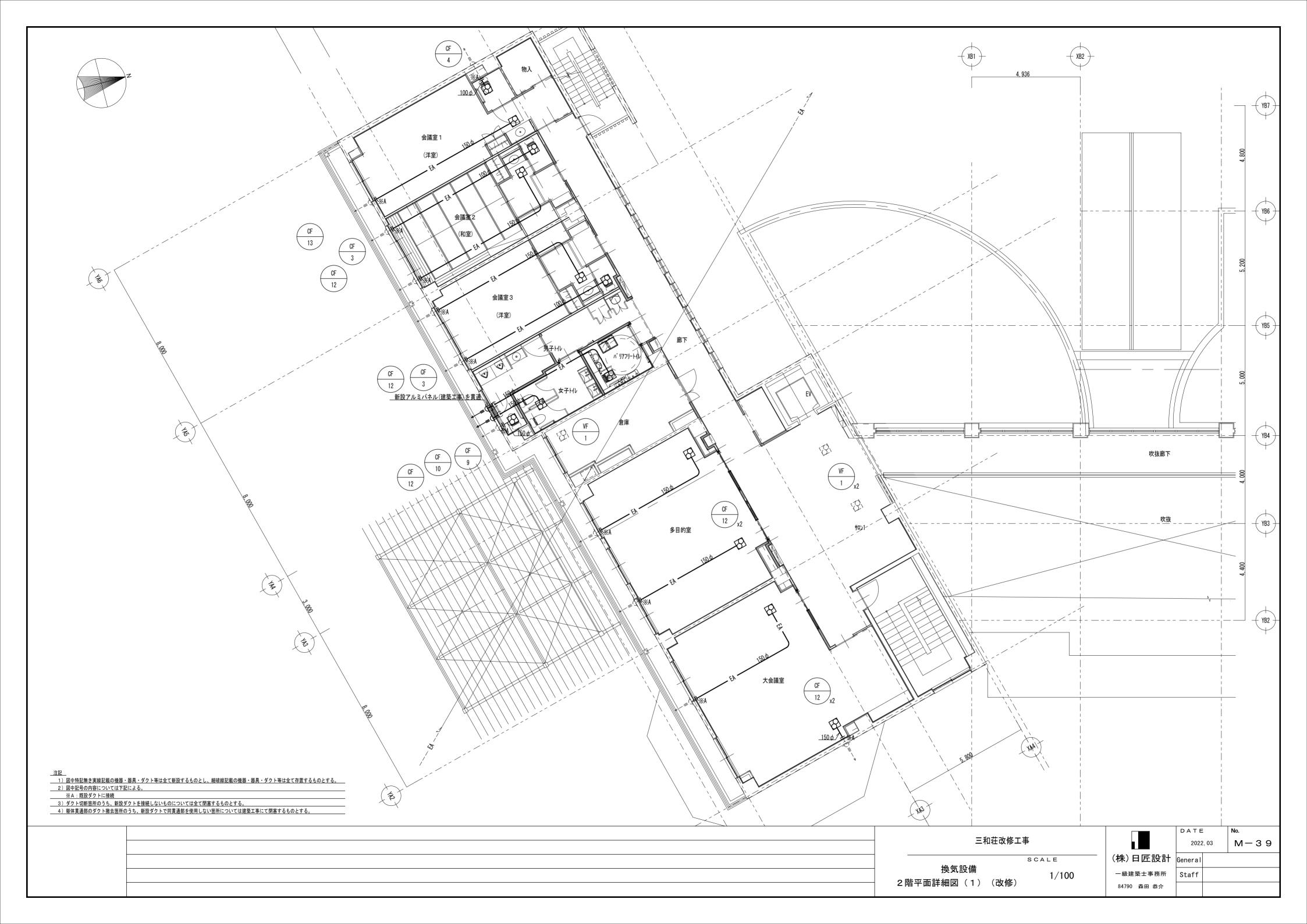
	三和荘改修工事		DATE 2022, 03	No. M — 3 5
	SCALE	(株)日匠設計	General	
	換気設備 機器表(4)(改修) NS	一級建築士事務所	Staff	
		84790 森田 恭介		

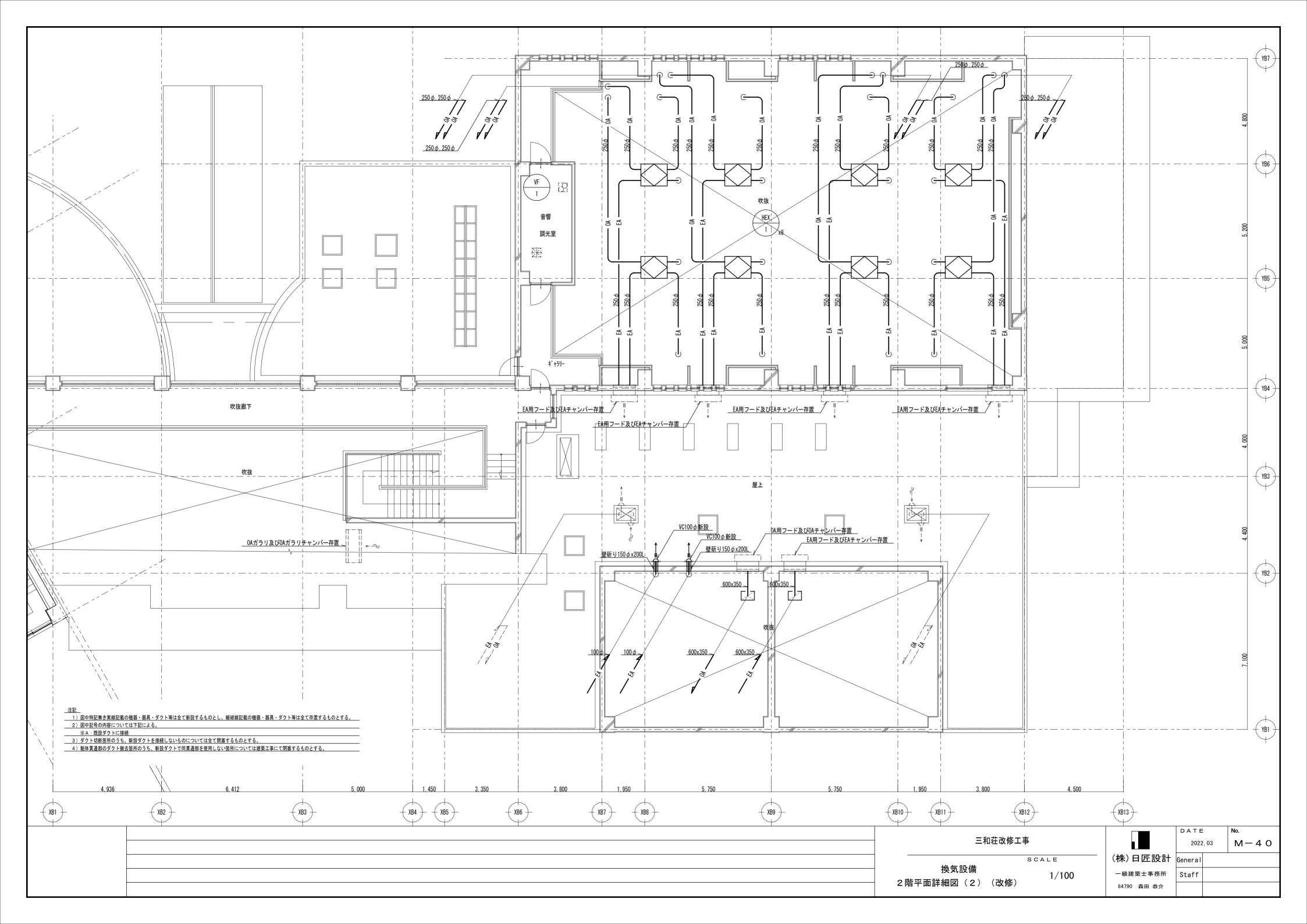
_	h 7L	11 144	電気	電気容量		-1. 2. 1. 2
記号	名称	仕 様	電 源 (<i>ϕ</i> – V)	容量 (W・kW)	一 台数	設置場所 備 考
F-13	天井扇	型式:低騒音型	1 \$\phi\$ 1 0 0 V	8 2 W	1	2階会議室1[新設]
		能力:150 <i>ϕ</i> ×450m3∕h×50Pa				
		附属品:天吊金具、その他標準附属品共				
F-A	天井扇	※別途工事(ダクト接続については設備工事)	1 Ø 1 0 0 V		4	シャワー棟 男子シャワーブース [新設]
					4	シャワー棟 女子シャワーブース [新設]
E X — 1	全熱交換器	型式:天井埋込型	1 \$\phi\$ 1 0 0 V	6 9 5 W	8	2階 多目的室吹抜 [新設]
		能力:250 <i>φ</i> ×875m3/h×200Pa				
		附属品:防振吊金具、コンパクトリモコン、その他標準附属品共				

		DATE	No.
三和荘改修工事		2022, 03	M-36
SCALE	(株)日匠設計	General	
換気設備 機器表(5)(改修) NS		Staff	
	84790 森田 恭介		

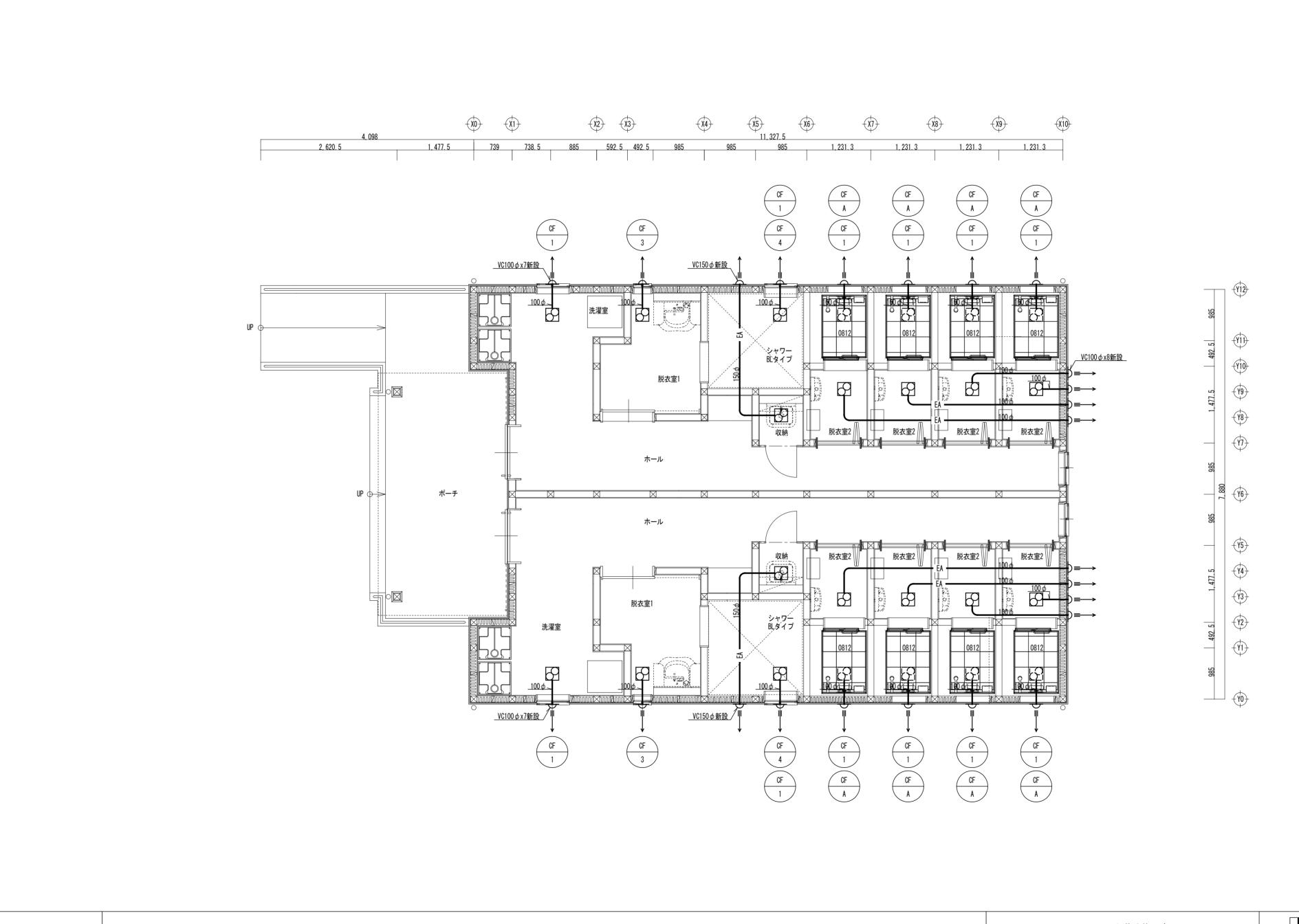












 三和荘改修工事
 1/50
 2022,03
 M-42

 (株)日匠設計
 General

 一級建築土事務所
 Staff

 シャワー棟平面詳細図(改修)
 84790 森田 恭介

			電気	容 量			
記号	名称	位 様	電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	台数	設置場所 備 考	
BH-1	ボイラー	型式:真空式温水ヒーター 竪型2回路	3 Ø 2 0 0 V	0. 45kW	2	1 階 ろ過機室 [存置]	
		定格出力:349.0kW					
		燃料消費量:43.5 L / h (灯油)					
		附属品:制御盤(外部警報取出端子付)、感振器、煤煙濃度計、投光器、受光器共					
TO-1	オイルタンク	型式:地下埋設型 SS400製(銅・鏡板共6.0m/m)			1	1階屋外[存置]	
		容量:4,000L(灯油)					
		参考寸法:1,300φ×3,000L(全長:3,556L)					
		附属品:油面計、他標準附属品共					
TOS-1	オイルサービスタンク	型式:単板型 SS400製(3.2m/m)			1	1階 屋外 [存置]	
		容量:100L(灯油) 耐震:1.0G					
		参考寸法:400×450×630					
		附属品:フロートスイッチ、側圧式油面計、架台1,500H(溶融亜鉛めっき仕上)共					
T V W – 1	貯湯槽	型式: 竪型 SUS444製			1	1階 ろ過機室 [存置]	
		容量:1,500L 耐震:1.0G					
		参考寸法:1, 000φ×2, 554H 最高使用圧力:0. 49MPa					
		附属品:標準附属品共					
TE-1	膨張水槽	型式:鋼板製密閉型隔膜式ダイヤフラム			1	1階 ろ過機室 [存置]	
	<給湯系統>	容量: 240 L タンク容量: 300 L					
		参考寸法: 6 1 0 φ × 1, 4 0 0 H 最高使用圧力: 0. 7 8 M P a					
		附属品:圧力計共					
TE-2	膨張水槽	型式:鋼板製密閉型隔膜式ダイヤフラム			1	1階 ろ過機室 [撤去]	
	<昇温系統>	容量:59L タンク容量:98L					
		参考寸法:406φ×910H 最高使用圧力:0.78MPa					
		附属品:圧力計、ブラケット架台(溶融亜鉛めっき仕上)共					
P – 1	給湯一次ポンプ	型式:SUS製ラインポンプ	3 Ø 2 0 0 V	0. 40kW	2	1階 ろ過機室 [存置]	
		能力:40 Ø×125 L / m i n × 9.5 m					
		附属品:標準附属品共					
P – 2	給湯二次ポンプ	型式:SUS製ラインポンプ	3 ¢ 2 0 0 V	0. 15kW	2	1階 ろ過機室 [存置]	
		能力:25 Ø×30 L / m i n×5 m					
		附属品:標準附属品共					
P-3	ろ過循環ポンプ	型式:自吸タービンポンプ	3 ¢ 2 0 0 V	0.75kW	2	1階 ろ過機室 [撤去]	
		能力:32 Ø×140 L/min×16m					
		附属品:標準附属品共					

- 10 # 3 W - =		DATE	No.
三和荘改修工事		2022, 03	M-43
SCALE	(株)日匠設計 Ge	neral	
ー 衛生設備 機器表(1)(撤去) NS	一級建築士事務所S	Staff	
	84790 森田 恭介		

			電気	電 気 容 量 電 源 容 量 (φ-V) (W·kW)			
記号	名 称	仕 様 -	電 源 (<i>ϕ</i> – V)			設 置 場 所	備 考
P D – 1		型式:雑排水水中ポンプ(自動交互並列運転)	3 \$\phi 2 0 0 V	0. 25 kW	2	1階 ろ過機室排水槽 [撤去]	
		能力:50 Ø × 1 50 L / m i n × 5 m					
		附属品:フロートスイッチ共					
P O G - 1	オイルポンプ	型式:灯油用歯車ポンプ 屋外用(自動交互並列運転)	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	0. 2 kW	2	1階 屋外 [存置]	
		能力:12φ×5L/min×4m					
G H – 1	ガス給湯器	型式:屋外壁掛型	1 Ø 1 0 0 V	175W	2	2階 客室 [撤去]	
		給湯能力:16号					
		燃料消費量: 2. 49 k g / h (LPG)					
		附属品:浴室リモコン、循環アダプター共					
BH-2	ボイラー	型式:真空式温水ヒーター	3 \$\phi\$ 2 0 0 V		1	1階屋外[撤去]	
		定格出力: 3 4 9. 0 kW					
		附属品:標準附属品共 					
	-1.5						
T V W – 2	貯湯槽 ————————————————————————————————————	型式: 竪型 SUS444製			1	1階屋外[撤去]	
		容量:3,000L					
		附属品:標準附属品共 					
TE-3	膨張水槽	刑士・領布制応用刑原始士がノわつニル			1	1階屋外[撤去]	
12-3	脚)成八僧	型式:鋼板製密閉型隔膜式ダイヤフラム 容量:100L タンク容量:130L			'		
		特量: 1000 アンプロー アンプロー					
		P13 /中3 H4 ・ 7水十-P13 /内3 H4 ノ					
P-4	 給湯一次ポンプ		3 \$\phi\$ 2 0 0 V		1		
	18/1/2 7 17 2 2						
P – 5	 給湯二次ポンプ	型式:SUS製ラインポンプ	3 \$\phi\$ 2 0 0 V		1	1階屋外[撤去]	

三和荘改修工事 SCALE

衛生設備 機器表(2)(撤去)

M - 4 4(株)日匠設計 General 一級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介

			電気	容量			
記号	名称	仕 様	電源 (<i>φ</i> -V)	I I I		設置場所備考	
J P — 1	ジェットポンプ	型式:片吸込式うず巻ポンプ	3 \$\phi 2 0 0 V	2. 2 kW	2	1階 ろ過機室 [撤去]	
		能力:50 <i>φ</i> -40×250L/min×20m					
BP-1	ブロアポンプ	型式: ルーツブロウ	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	1. 5 kW	2	1階 ろ過機室 [撤去]	
		能力:32 Ø × 1,600 L / m i n × 1,500 mm A q					
W F — 1	ろ過機	型式: SUS304製			1	1階 ろ過機室 [撤去]	
		処理能力: 7 t / h 500 φ × 1, 960 h			1		
	***	제공 보이트로 사실 수를 사용하				a Mit of Victoria Chick 1	
C L – 1	薬注タンク	型式:ポリエチレン製容量:100L	1.10004	4.514	1	1階 ろ過機室 [撤去]	
	薬注ポンプ	型式:ソレノイド駆動定量ポンプ(次亜塩素ナトリウム注入専用)	1 \$\phi\$ 2 0 0 V	1 5 W	3	1階 ろ過機室 [撤去]	
		最大吐出量:30mL/min 最高吐出圧力:0.7MPa					
S V – 1	 ミキシング装置				1		
	(1) (1) (1) (1)	門海田・ハーレ) ・・こ・温及田・(ひ)に称中門海田八			 '	THE JAMES LINAS	

三和荘改修工事 SCALE

 (株) 日匠設計

 -級建築士事務所

 84790 森田 恭介

 2022, 03

 M - 4 5

 General

 Staff

衛生設備 機器表(3)(撤去)

NS

器 具 表

名 称	参 考 品 番	付 属 品	合計	1階 便所8	1階 便所 9	1階 便所3	便 服 4	1 皆 说友室1 更乐		1階 脱衣室2便所	脱衣室	1階 浴室2	2階 ツインルーム2-1	2階 和室2-1	2階 和室2-2	2階 ツインルーム 2-2	5 5 7 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	ングルルーム2-ングルルーム2-	階 ツインルーム2-3	2階 ツインルーム2-4	3階 和室3-1	3階 和室3-2	3階 和室3-3	3階 ツインルーム3-1	シングルルーム3-	ングレレーム3-	シングルルーム。	ツインルーム3-	3階 ツインルーム3-3		備考
洋風大便器	CS680B	SH680BA, TCF581M, YH120S	2	1		1																								撤去	
洋風大便器	CS680B	SH680BA, TCF581W, YH120S	24		2		2	1		1			1	1	1	1 1	1	1 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	撤去	
小便器	UFS800CE		2	1		1																								撤去	
はめ込み洗面器	L546U	TEL71AX, T7P10, TL516G, TS126BR	28	1	1	1	1		3		3		1	1	1	1 1	1	1 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	撤去	
シャワー金具	TMF49C1S		14						7			7																		撤去	
散水栓	T27CH13	SUS製ボックス (壁埋込型) 共	2						1			1																		撤去	
電気温水器	REW03E1F1	貯湯量:3.3L 1φ100V800W	16											1	1	1 1	1	1 1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	撤去	
洗面カウンター	建築工事		(24)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1	1)		(1)		(1)	(1)	(1)	(1) (1	(1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1) (1)	(1)	(1)	(1)	撤去	
ユニットバス	建築工事		(2)										(1)							(1)										撤去	

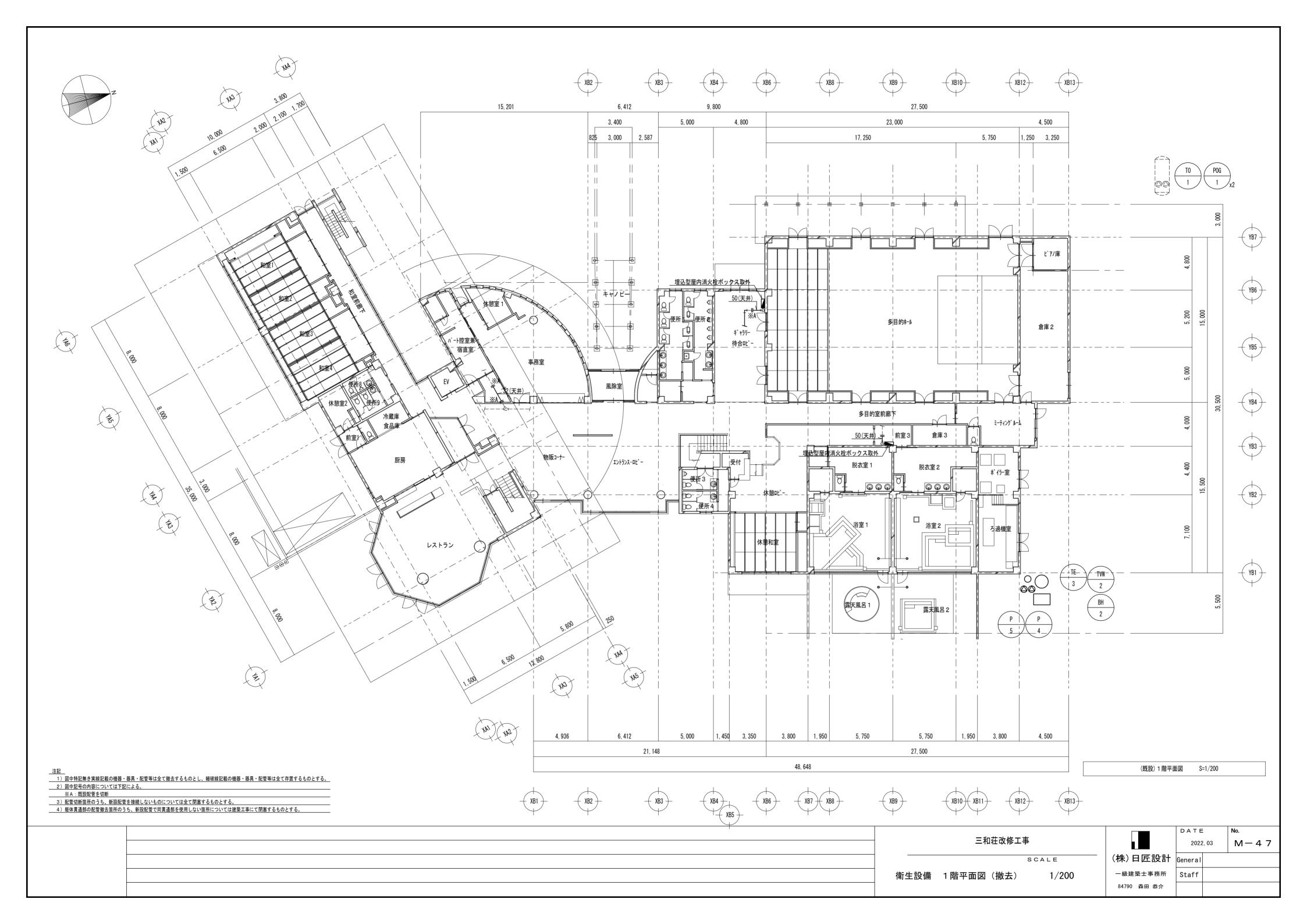
三和荘改修工事

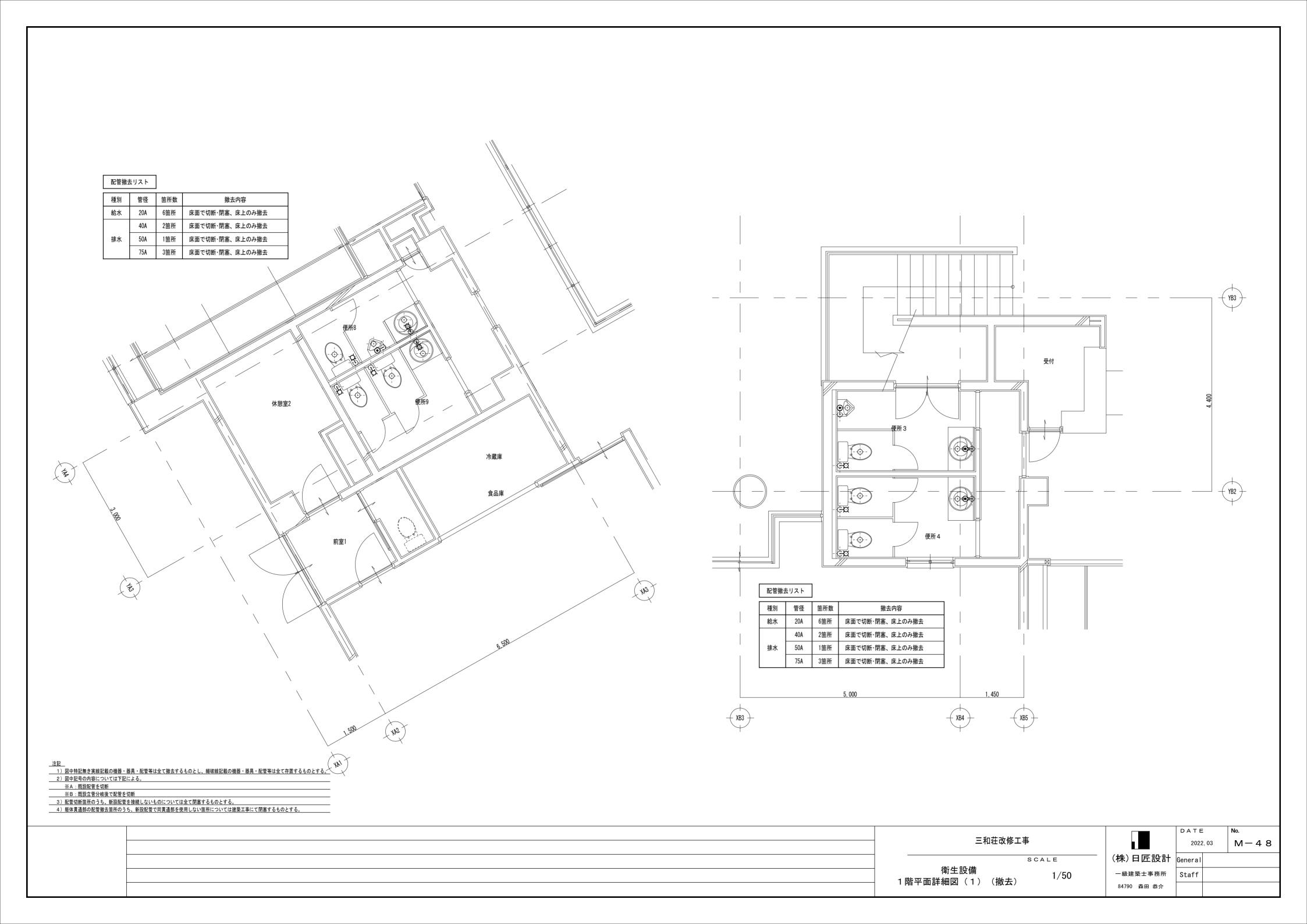
SCALE

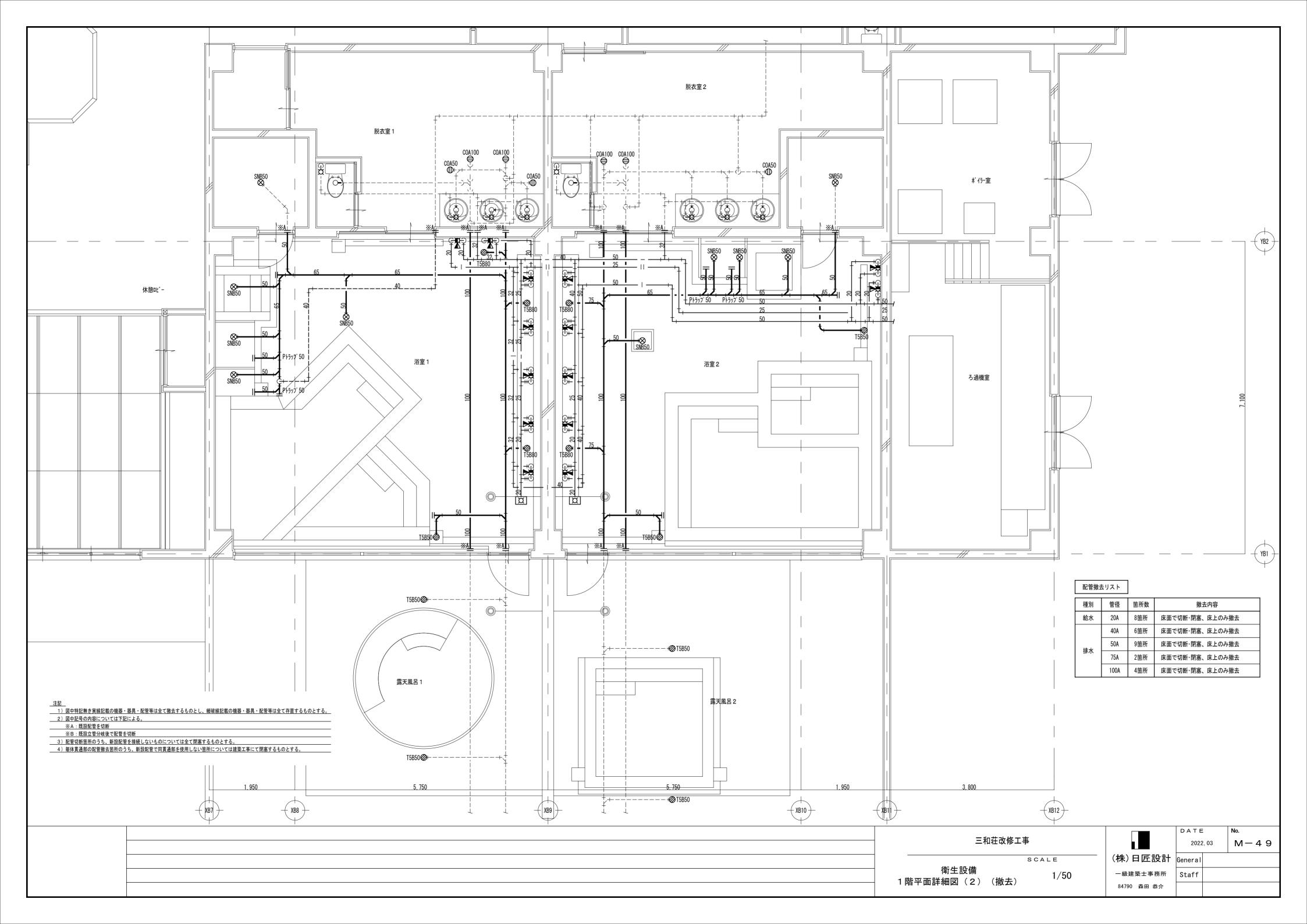
衛生設備 器具表(撤去)

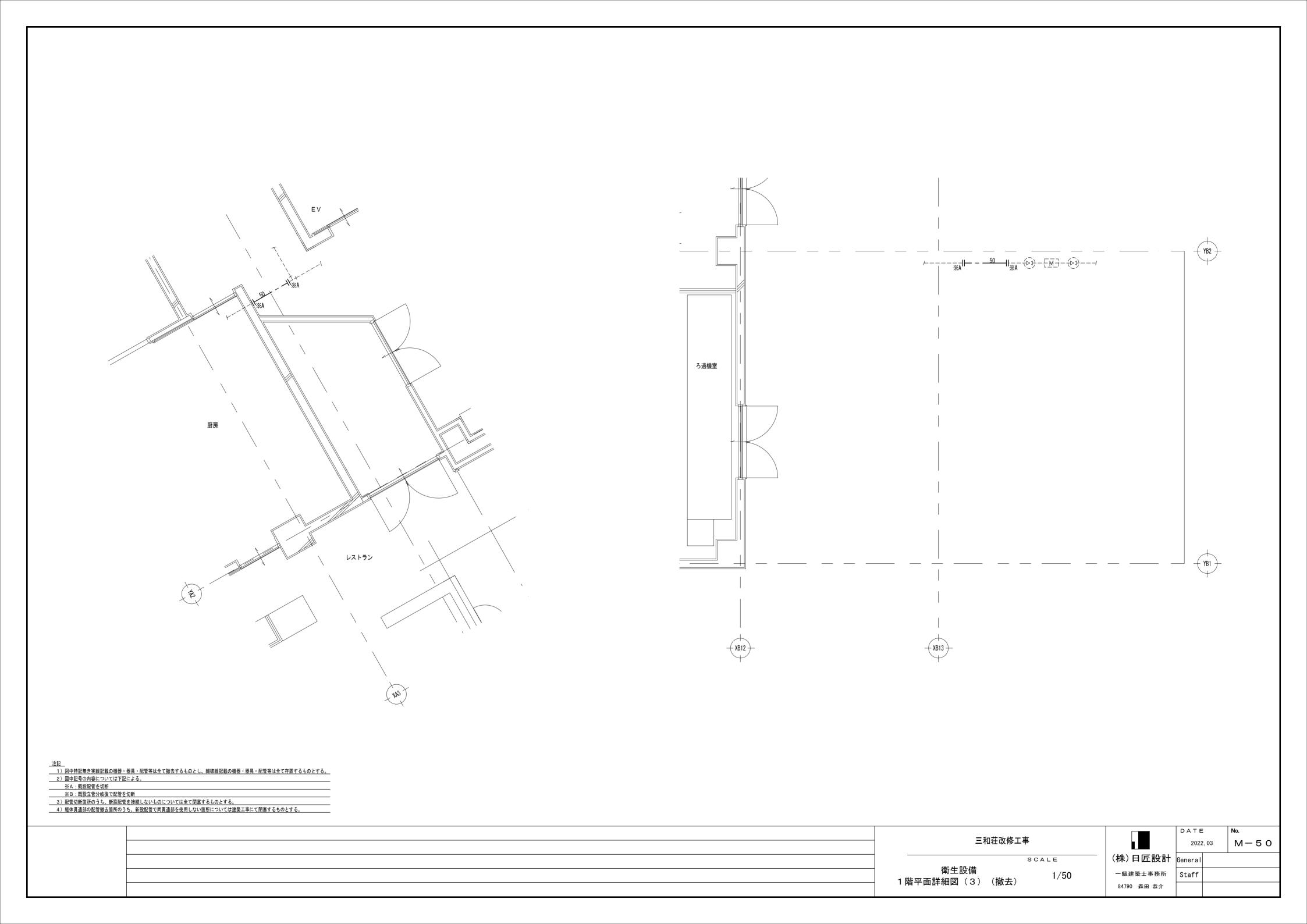
NS

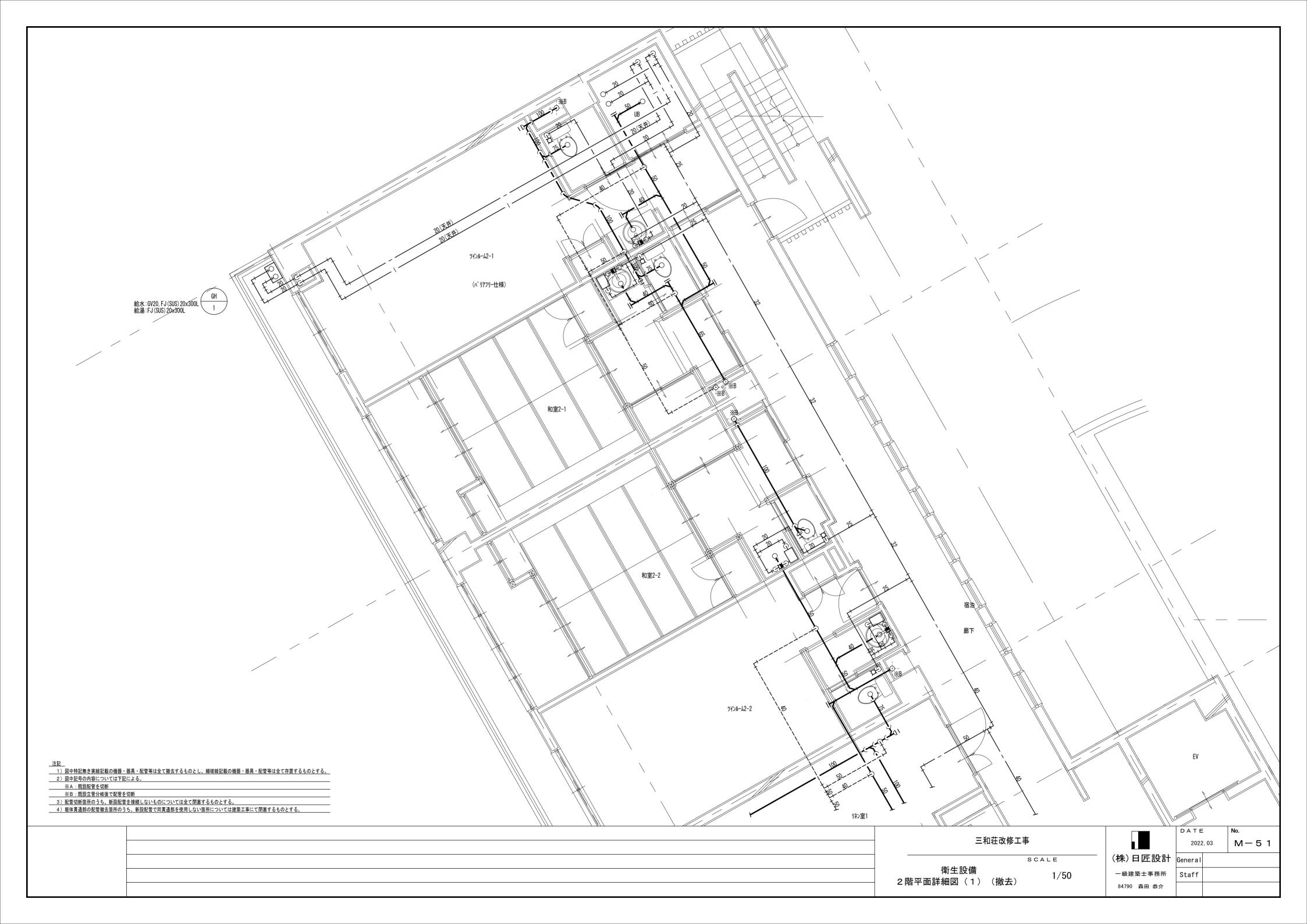
84790 森田 恭介

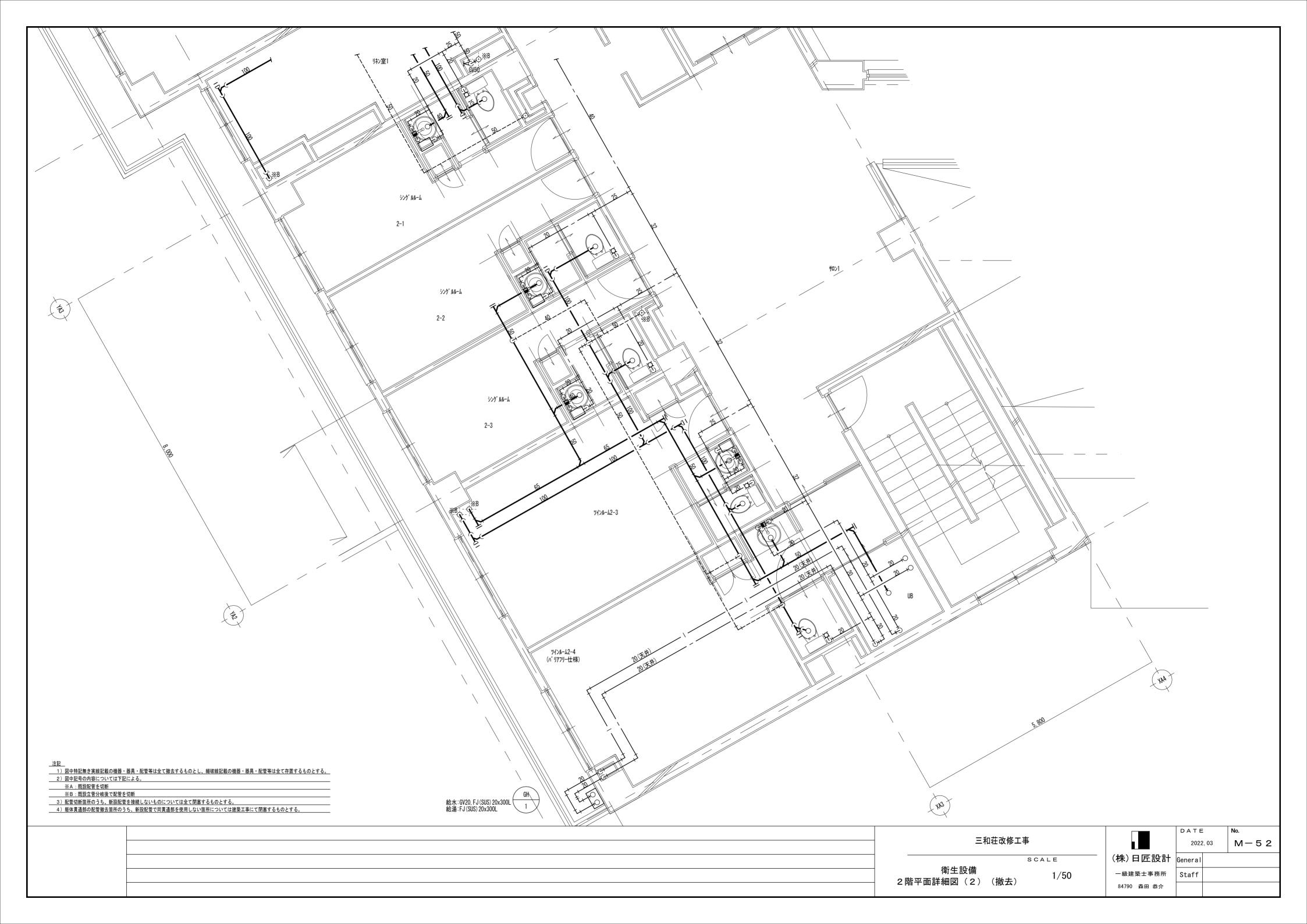


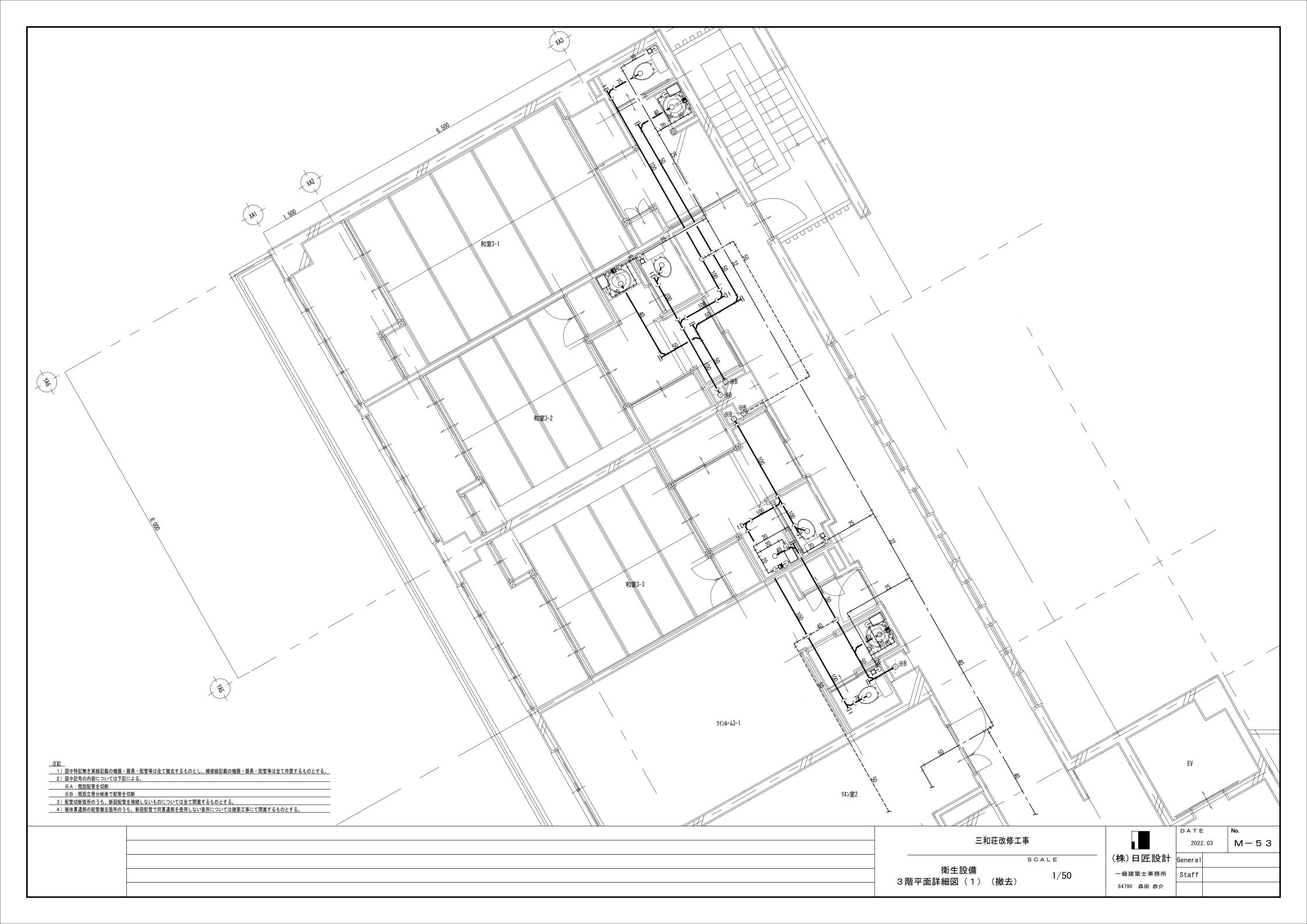


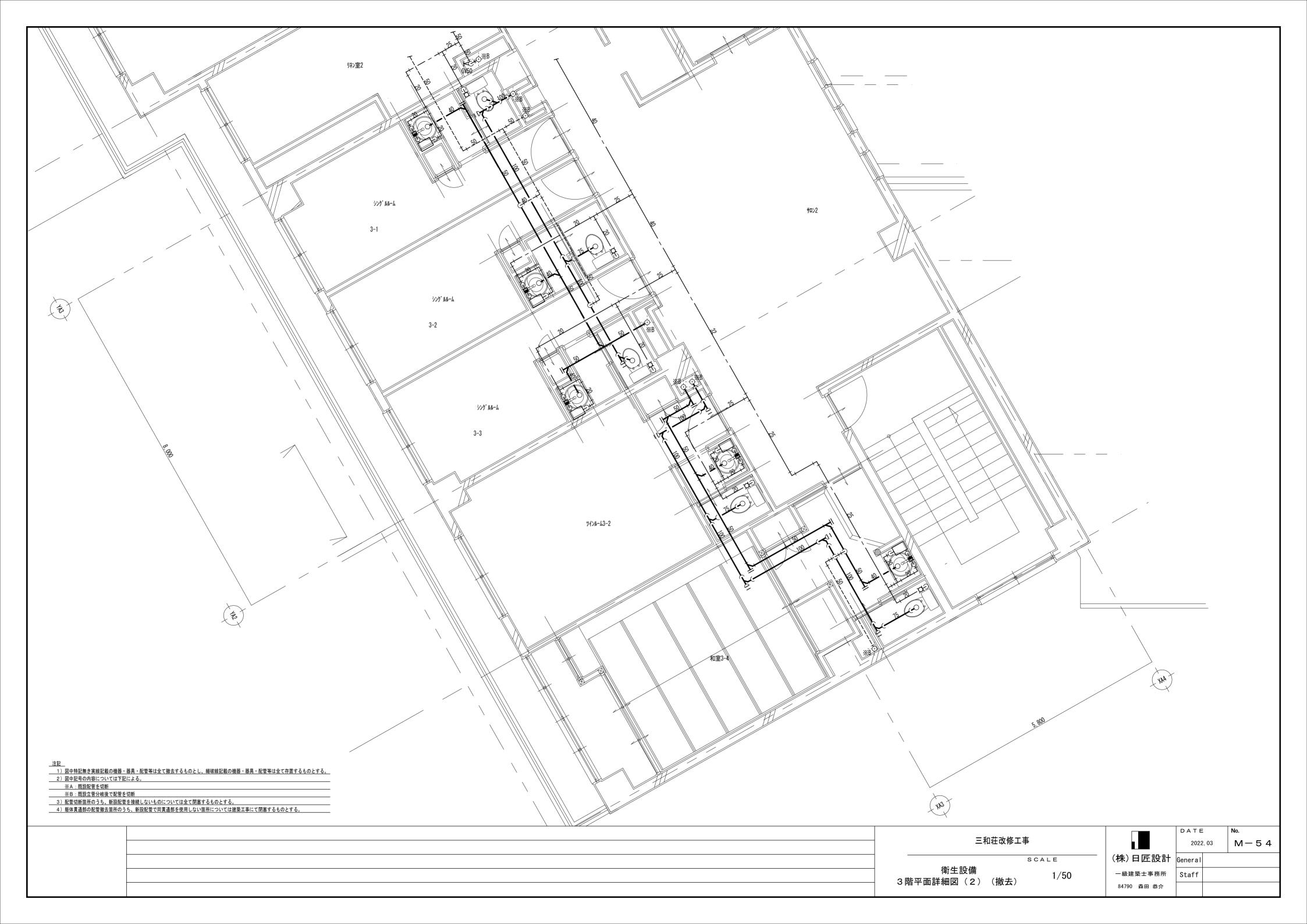


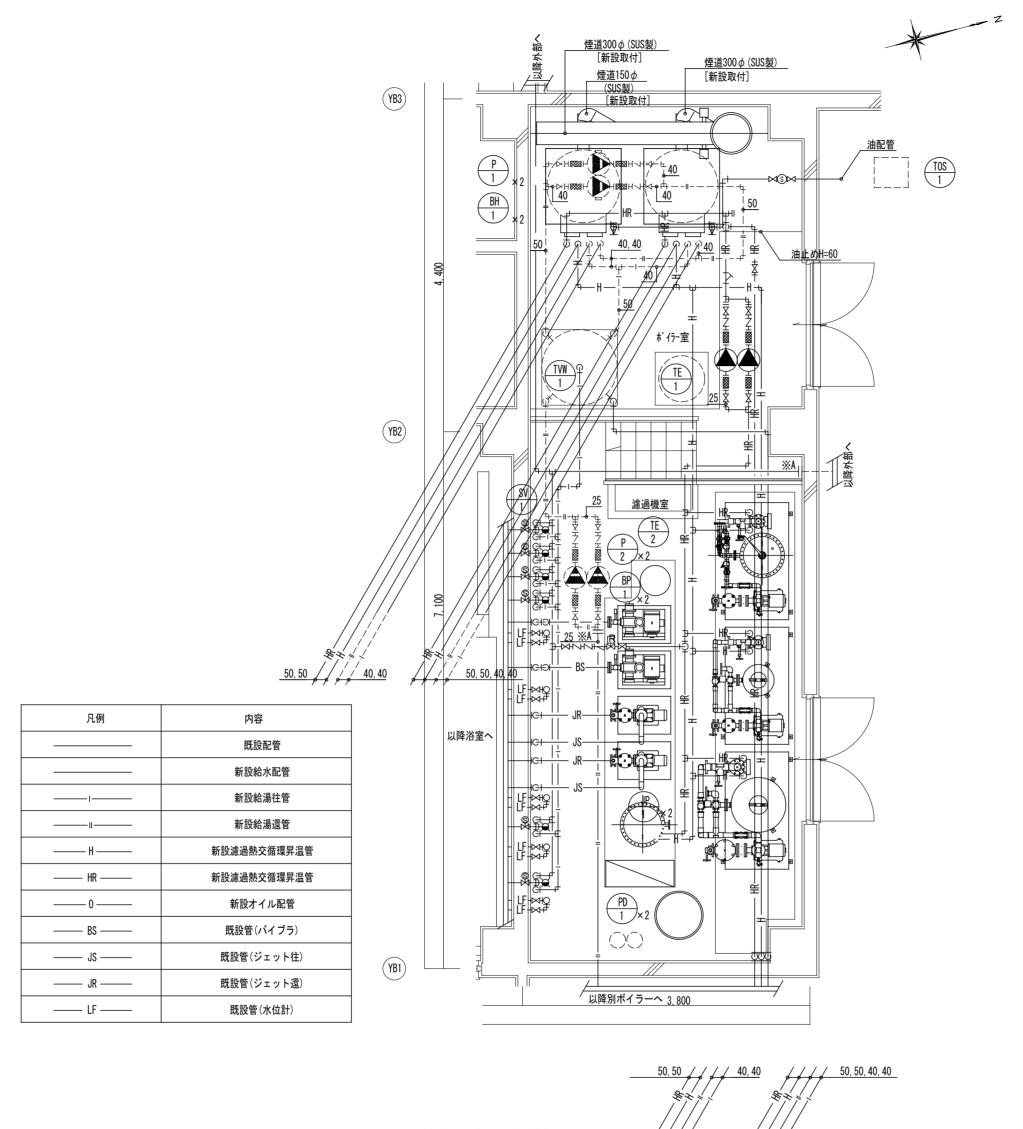












弁リスト	
------	--

	1
機器番号	弁 類 ・ 付 属 品
P-1	GV40x2, CV40, FJ (SUS) 40x500Lx2
SV-1	Yスト25x2, 温度計
P-2	GV25x2, CV25, FJ (SUS) 25x300Lx2
	GV20x2, GV40x2, GV20, FJ (SUS) 40x500L
DII 1	FJ (SUS) 50x500L, 間接排水口150
BH-1	温度計x4, 圧力計x4, 瞬間流量計x2
	安全弁x2
BP-1	FJ (SUS) 32x500Lx2
JP-1	GV40, CV40, FJ (コ゚ム) 50A, 圧力計, ヘアキャッチャー

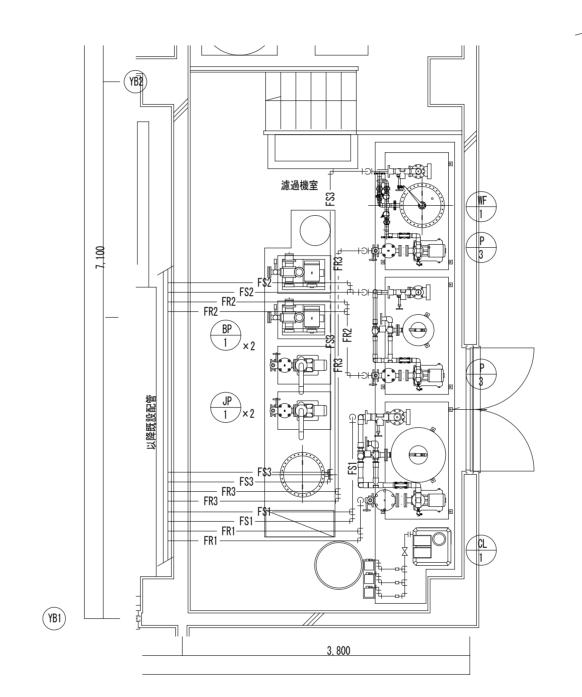
※弁リスト内の器具の撤去・存置については付随する機器の撤去・存置に準ずるものとする。

(YB3)	
	300 300 250
	20 20 0
	# # # # # # # # # # # # # # # # # #

※A:既設配管を切断
3) 配管切断箇所のうち、新設配管を接続しないものについては全て閉塞するものとする。
4) 躯体胃温部の配管撤去箇所のうち、新設配管で同貫通部を使用しない箇所については建築工事にて閉塞するものとする。

5)機器の撤去・存置については機器表を参照すること。

	三和荘改修コ	事	.	DATE 2022, 03	No. M — 5 5
	- 10 - 0 H	SCALE	(株)日匠設計	General	
	ろ過設備 平面詳細図(1)(撤去)	1/50	一級建築士事務所	Staff	
	十四計和四(1)(放五)		84790 森田 恭介		





弁リスト

機器番号	弁 類 ・ 付 属 品			
WF-1	電動2方弁40Ax4, 自動エア一抜弁15A			
WI-1	温度検出器, 圧力計, GV40A, GV15A			
P-3	GV32, CV32, FJ (コ゚ム) 32A, 圧力計, ヘアキャッチャー	χź		

※弁リスト内の器具の撤去・存置については付随する機器の撤去・存置に準ずるものとする。

	PAGINATO E
—— F\$1——	大浴場濾過配管(往)
F\$2	小浴場濾過往管(往)
—— FS3——	露天風呂濾過配管 (往)
FR1	大浴場濾過配管(還)
FR2	小浴場濾過往管 (還)
FR3	露天風呂濾過配管 (還)

内容

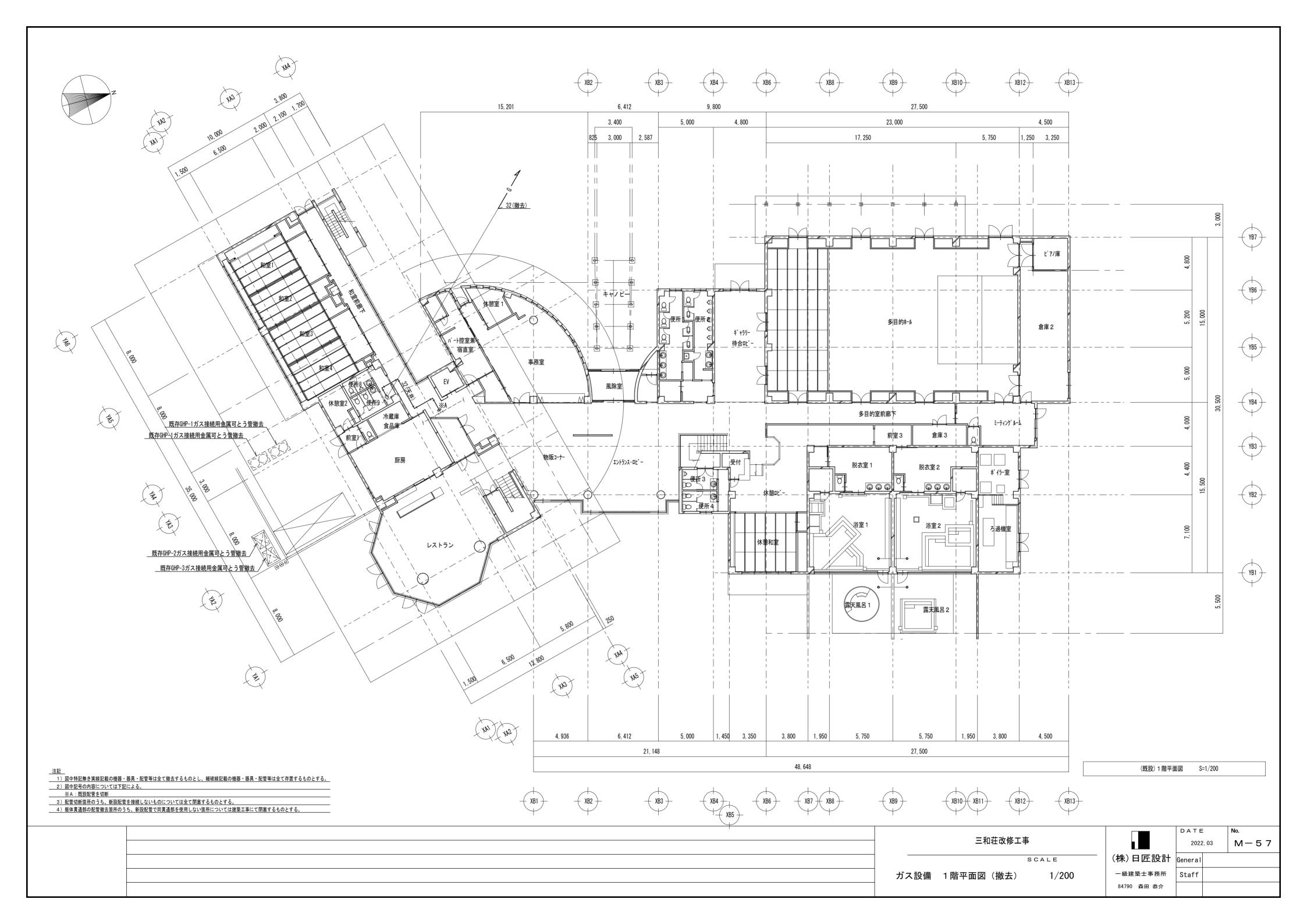
※A: 既設配管を切断

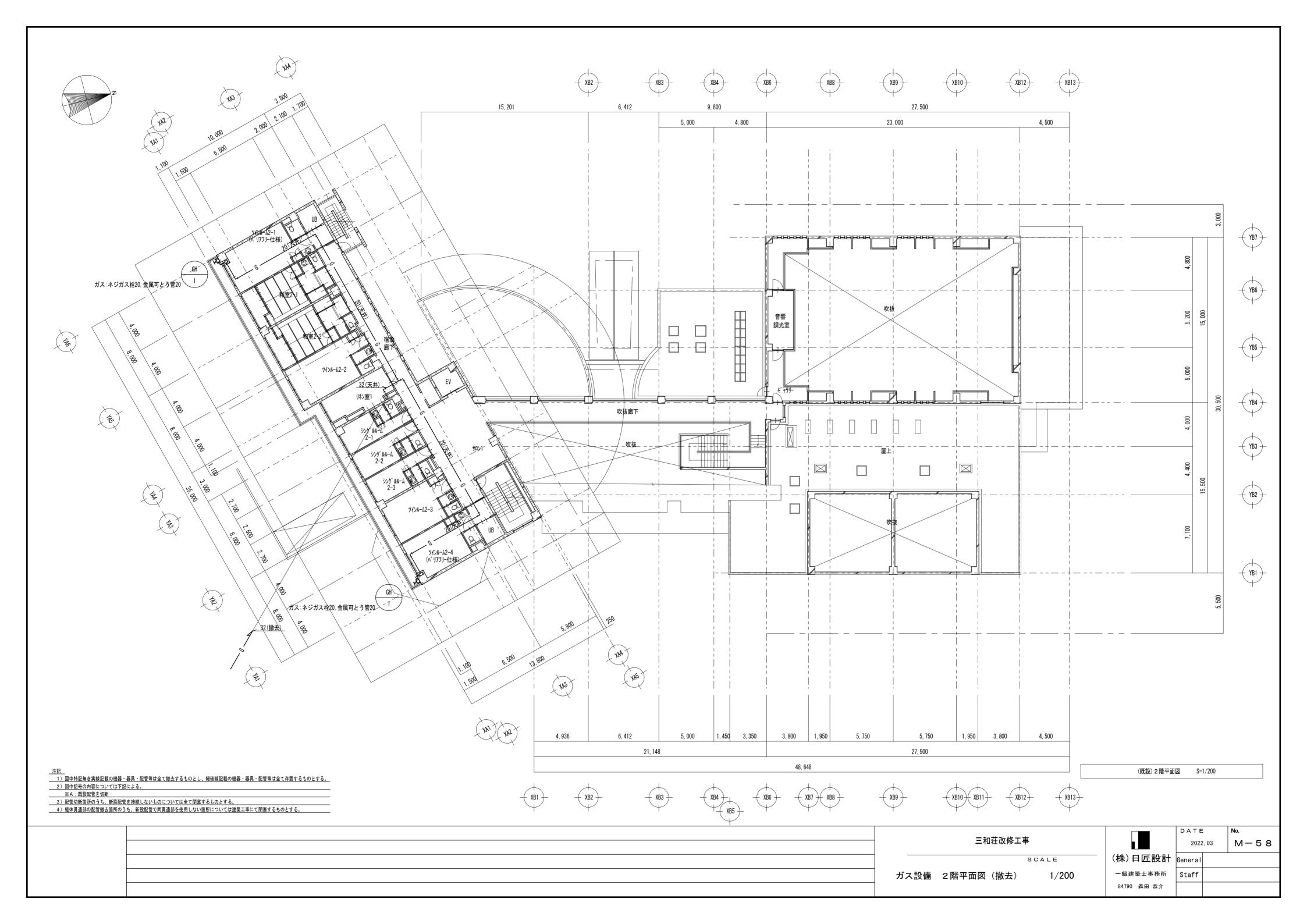
3) 配管切断箇所のうち、新設配管を接続しないものについては全て閉塞するものとする。

4) 躯体貫通部の配管撤去箇所のうち、新設配管で同貫通部を使用しない箇所については建築工事にて閉塞するものとする。

5) 機器の撤去・存置については機器表を参照すること。

DATE 三和荘改修工事 2022, 03 M - 56(株)日匠設計 General SCALE ろ過設備 1/50 一級建築士事務所 Staff 平面詳細図(2)(撤去) 84790 森田 恭介





			電気	電 気 容 量			
記号	名 称	仕	電 源 (φ-V)	容量 (W·kW)	台数	設置場所	備考
G H P — 1	ガスヒートポンプビル用マルチェアコン	型式:室外機	3 \$\phi\$ 2 0 0 V	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2	1階屋外[存置]	電気容量: 1. 02kW(S)
		冷房能力:56.0kW(JIS条件時)	原動機	12.4kW			0. 64 kW (W)
		暖房能力:63.0kW(JIS条件時)	送風機	0.70×2kW			パナソニック: U-GWH560S1DRE
		ガス消費量:42.5kW(LPG)					
G H P – 2	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 Ø 2 0 0 V		1	1階 屋外 [存置]	電気容量:0.55kW(S)
		冷房能力:22.4kW(JIS条件時)	原動機	5. 0 kW			0. 30kW (W)
		暖房能力:25.0kW(JIS条件時)	送風機	0.70kW			パナソニック: U-GH224T1D
		ガス消費量:20.4kW(LPG)					
G H P - 3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 \$\phi\$ 2 0 0 V		1	1階 屋外 [存置]	電気容量: 0. 65kW(S)
		冷房能力:28.0kW(JIS条件時)	原動機	6. 2 kW			0. 45kW (W)
		暖房能力:31.5kW(JIS条件時)	送風機	0.70kW			パナソニック:U-GH280T1D
		ガス消費量:31. 6 kW(LPG)					
G H P — 4	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 \$\phi\$ 2 0 0 V		2	1階屋外[存置]	電気容量: 1. 24kW(S)
		冷房能力:56. 0kW(JIS条件時)	原動機	12.4kW			0. 74 kW (W)
		暖房能力:63.0kW(JIS条件時)	送風機	0.70×2kW			パナソニック: U-GWH560T1D
		ガス消費量: 4 5. 4 kW(L P G)					
G H P - 5	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室外機	3 \$\phi\$ 2 0 0 V		2	1階屋外[存置]	電気容量: 1. 16kW(S)
		冷房能力:45.0kW(JIS条件時)	原動機	10.0kW			0. 55kW (W)
		暖房能力:50.0kW(JIS条件時)	送風機	0.70×2kW			パナソニック: U-GWH450T1DR
		ガス消費量:38.5kW(LPG)					
GHP-1-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	2 0 W	2	1階和室1[取外]	
		冷房能力:3. 6 k W (J I S条件時)			2	1階和室2[存置]	
		暖房能力:4. 2 kW(JIS条件時)			2	1階和室3[存置]	
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共			2	1階 和室4 [存置]	
GHP-1-2	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	1 0 0 W	1	1階 事務室 [存置]	
		冷房能力: 1 4 . 0 kW (J I S条件時)					
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)					
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共					
0115 1 5	1,17 1,18 1,1			2 2 3 3 3		4 Mt = 1/4 5 + 00.3	
GHP-1-3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 φ 2 0 0 V	2 0 W	1	1階 EVホール [存置]	
		冷房能力:4. 5 kW(JIS条件時)					
		暖房能力:5. 0kW(JIS条件時)					
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共					
	-						
			I	ı	ı		

三和荘改修工事

SCALE

空調設備 機器表(1)(撤去)

2022, 03 M − 5 9

(株) 日匠設計
-級建築士事務所
84790 森田 恭介

			電気	電 気 容 量		
記号	号 名	仕 様	電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	一 台数	設置場所備考
GHP-1-4	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 W	1	1階 階段前 [存置]
		冷房能力:7. 1 k W (J I S条件時)				
		暖房能力:8.0kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共				
GHP-1-5	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井ビルトイン型	1 Ø 2 0 0 V	1 0 W	2	1階 エントランスロビー [存置]
		冷房能力:9.0kW(J I S条件時)				
		暖房能力:10.0kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、その他標準付属品共				
GHP-1-6	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット2方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	9 0 W	1	1階 和室前廊下 [存置]
		冷房能力:5. 6 kW(J I S条件時)			1	2階 宿泊廊下 [存置]
		暖房能力:6.3kW(JIS条件時)			2	2階 サロン1 [存置]
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共			1	3階 宿泊廊下 [存置]
					2	3階 サロン2 [存置]
GHP-2-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 厨房用天吊型	1 Ø 2 0 0 V	3 1 5 W	2	1階 厨房 [存置]
		冷房能力:11.2kW(JIS条件時)				
		暖房能力:12.5kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、スポットダクト、その他標準付属品共				
GHP-3-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 W	4	1階 レストラン [存置]
		冷房能力:7. 1 kW(J I S条件時)				
		暖房能力:8. 0kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共				
GHP-4-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井ビルトイン型	1 Ø 2 0 0 V	1 0 W	2	1階 エントランスロビー [存置]
		冷房能力:9.0kW(JIS条件時)				
		暖房能力:10.0kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、その他標準付属品共				
GHP-4-2	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット2方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	135W	1	1階 ギャラリー [取外]
		冷房能力:7. 1 k W (J I S条件時)			1	1階 ギャラリー [存置]
		暖房能力:8. 0kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共				
GHP-4-3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	2 0 W	2	1階 受付ロビー [取外]
		冷房能力:4. 5 kW(JIS条件時)				
		暖房能力:5. 0 kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共				

三和荘改修工事	DATE 2022,
SCALE	(株)日匠設計 General
空調設備 機器表(2)(撤去) NS	一級建築士事務所 Staff
	84790 森田 恭介

M-60

2022, 03

			電 気 容 量			
記号	名 称	仕 様	電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	- 台数	設置場所備考
G H P - 4 - 4	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 \$\phi\$ 2 0 0 V	2 5 W	2	1階 休憩和室 [取外]
		冷房能力:5. 6 kW(J I S条件時)				
		暖房能力:6.3kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共				
GHP-4-5	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 床置型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 5 W	3	1階 多目的ホール [存置]
		冷房能力:14.0kW(JIS条件時)				
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)				
		付属品:コントロールスイッチ、木台、その他標準付属品共				
GHP-5-1	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 床置型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 5 W	5	1階 多目的ホール [存置]
		冷房能力:14. 0kW(JIS条件時)				
		暖房能力:16.0kW(JIS条件時)				
		付属品:コントロールスイッチ、木台、その他標準付属品共				
GHP-5-3	ガスヒートポンプビル用マルチエアコン	型式:室内機 天井カセット4方向吹出型	1 Ø 2 0 0 V	3 5 5 W	1	1階 ミーティングルーム [取外]
		冷房能力:5. 6 kW(JIS条件時)				
		暖房能力:6.3kW(JIS条件時)				
		付属品:ワイヤードリモコン、化粧パネル、その他標準付属品共				
E H P — 1	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	型式:室外機	3 Ø 2 0 0 V		1	1 階 屋外 [存置] 電気容量: 5. 0 5 kW(S)
		冷房能力:16.0kW(JIS条件時)	圧縮機	3.84kW		5. 00kW (W)
		暖房能力:18.0kW(JIS条件時)	送風機	0. 12kW		パナソニック:CU-P160UL4
EHP-1-1	空冷ヒートポンプパッケージェアコン	型式:室内機 天井カセット2方向吹出型			1	1階 脱衣室1 [取外]
	至市に一ドホンノバッケーシェアコン	全式: 室内機 大井ガセットと方向収出室 冷房能力: 7. 1kW(JIS条件時)			'	1階 脱衣室2 [取外]
		暖房能力:8. 0kW(JIS条件時)			'	「哈 航我至2 [477]
A C - 5	空冷ヒートルームエアコン	型式:壁掛型	1 Ø 2 0 0 V		1	2階 ツインルーム2-1 [撤去]
		冷房能力:5. 6 kW(JIS条件時)				
		暖房能力:6.7kW(JIS条件時)				
		付属品:室外機用樹脂製置台、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共				

三和荘改修工事

SCALE

空調設備 機器表(3)(撤去)

	DATE		No.
	2022	2, 03	M-61
(株)日匠設計	General		
一級建築士事務所	Staff		
84790 森田 恭介			

| (株)日[

			電 気 容 量			
記号	記号名称	仕 様	電 源 (φ -V)	容 量 (W·kW)	台数	設置場所備考
A C - 6	空冷ヒートルームエアコン	型式:壁掛型	1 Ø 2 0 0 V		1	2階 和室2-1 [撤去]
		冷房能力:4.0kW(JIS条件時)			1	2階 和室2-2 [撤去]
		暖房能力:5.0kW(JIS条件時)			1	2階 ツインルーム2-2 [撤去]
		付属品:室外機用樹脂製置台、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共			1	2階 ツインルーム2-3 [撤去]
					1	2階 ツインルーム2-4 [撤去]
					1	3階 和室3-1 [撤去]
					1	3階 和室3-2 [撤去]
					1	3階 和室3-3 [撤去]
					1	3階 和室3-4 [撤去]
					1	3階 ツインルーム3-1 [撤去]
					1	3階 ツインルーム3-2 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-1 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-2 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-3 [撤去]
A C – 7		型式:壁掛型	1 \$ 1 0 0 V		1	2階 シングルルーム2-1 [撤去]
		冷房能力:2.5kW(JIS条件時)	·		1	2階 シングルルーム2-2 [撤去]
		暖房能力:2.8kW(JIS条件時)			1	2階 シングルルーム2-3 [撤去]
		付属品:室外機用樹脂製置台、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共				
A C – 8	空冷ヒートルームエアコン		1 \$\phi\$ 1 0 0 V		1	1階 宿直室 [存置]
			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1	1階 休憩室 [存置]
		暖房能力:4.2kW(JIS条件時)				
		付属品:室外機用樹脂製置台、ワイヤレスリモコン、その他標準付属品共				
		13周围,工厂及75周周发星日(7)(7)700万年),周围700万年,5月100万年,5月1000万年,5月1000000000000000000000000000000000000				

	空調設備

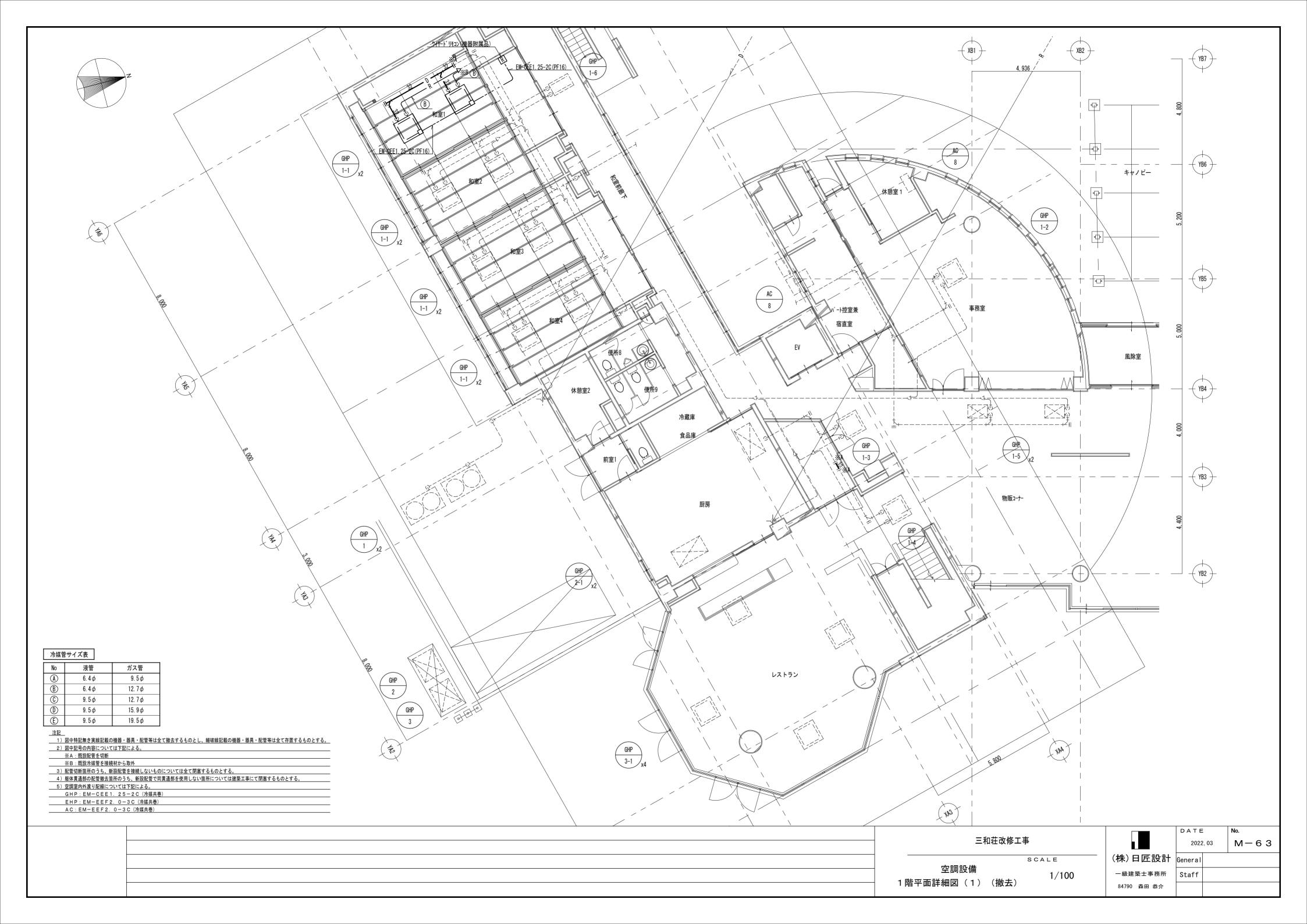
三和荘改修工事

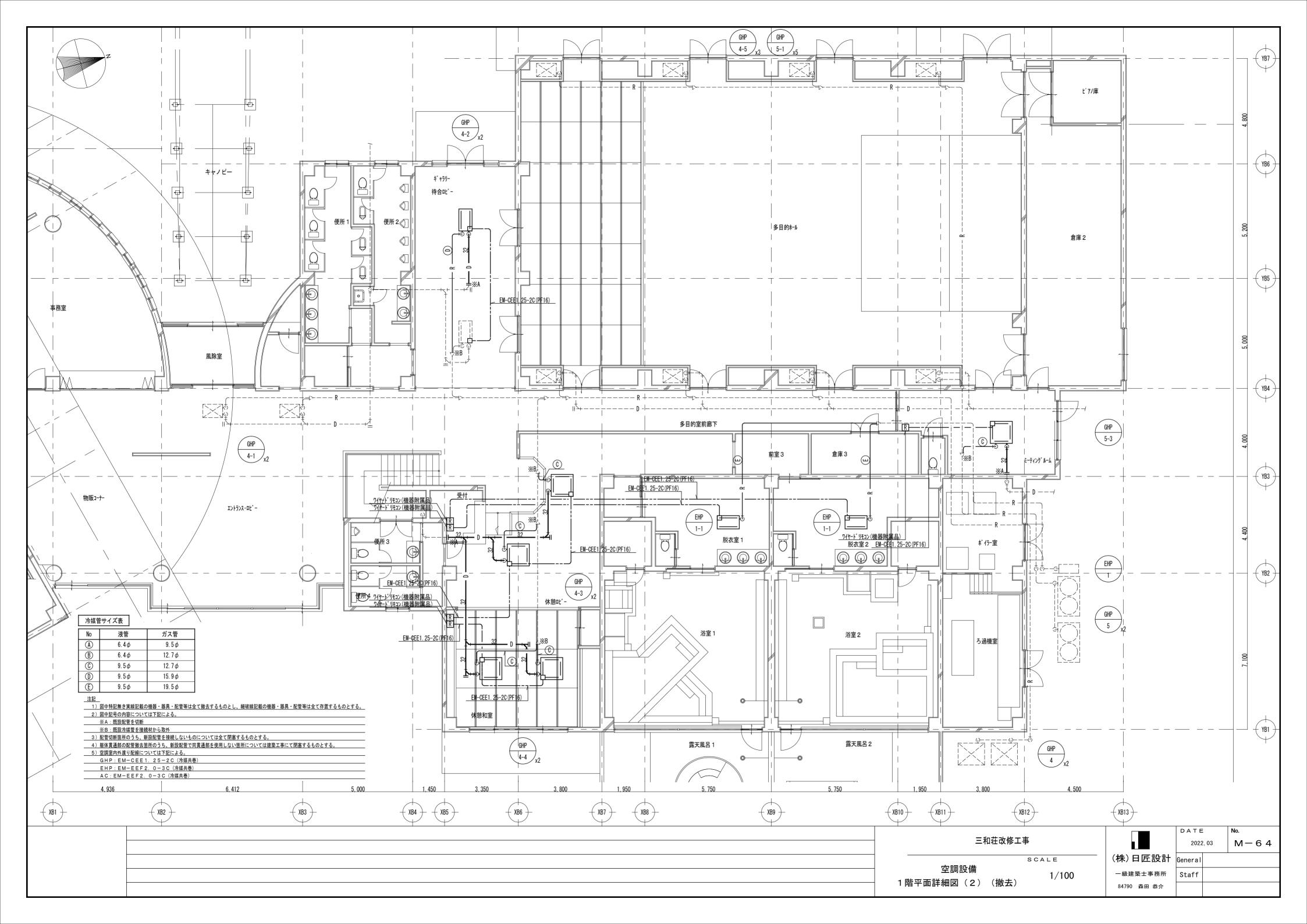
SCALE

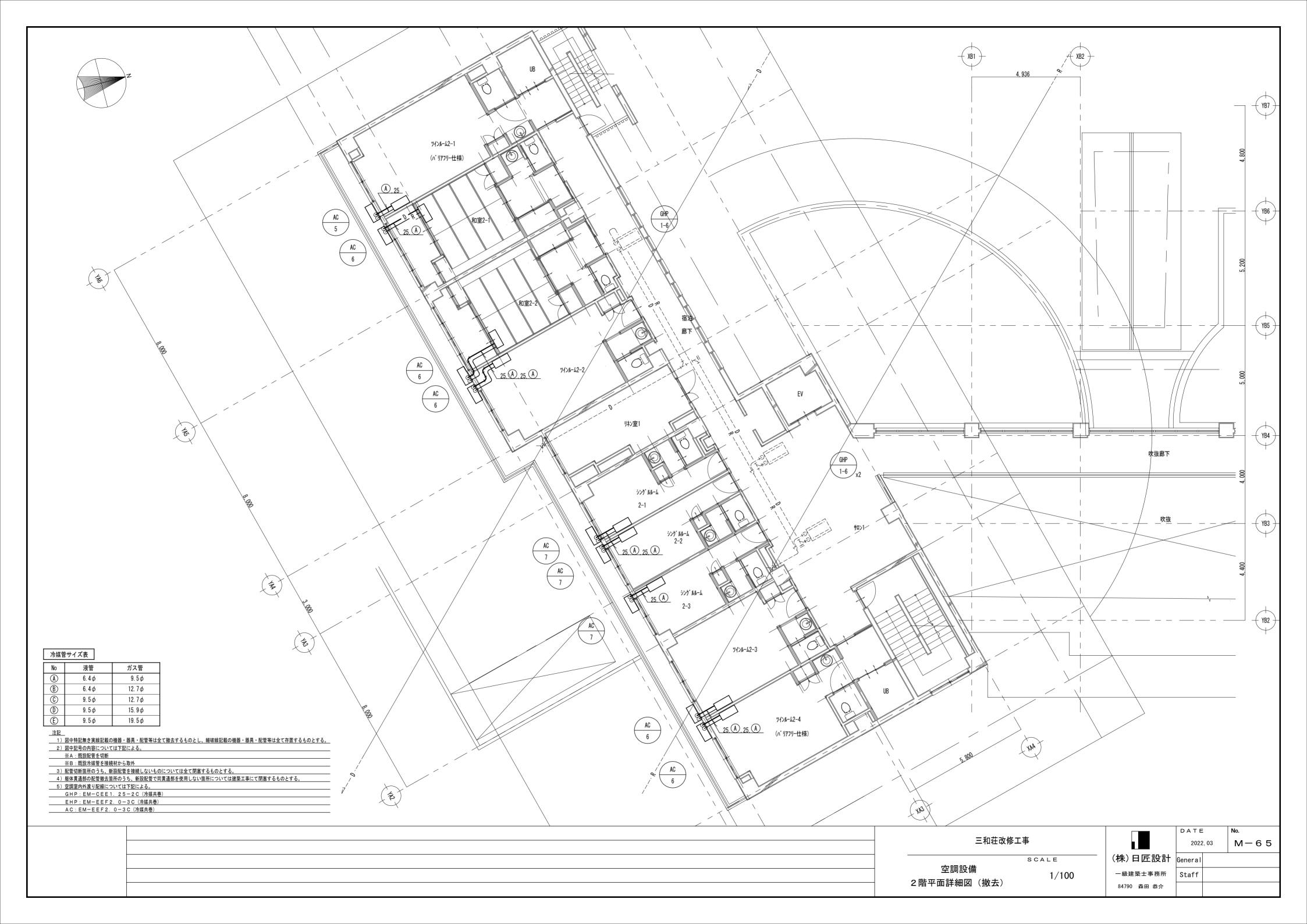
空調設備 機器表 (4) (撤去)

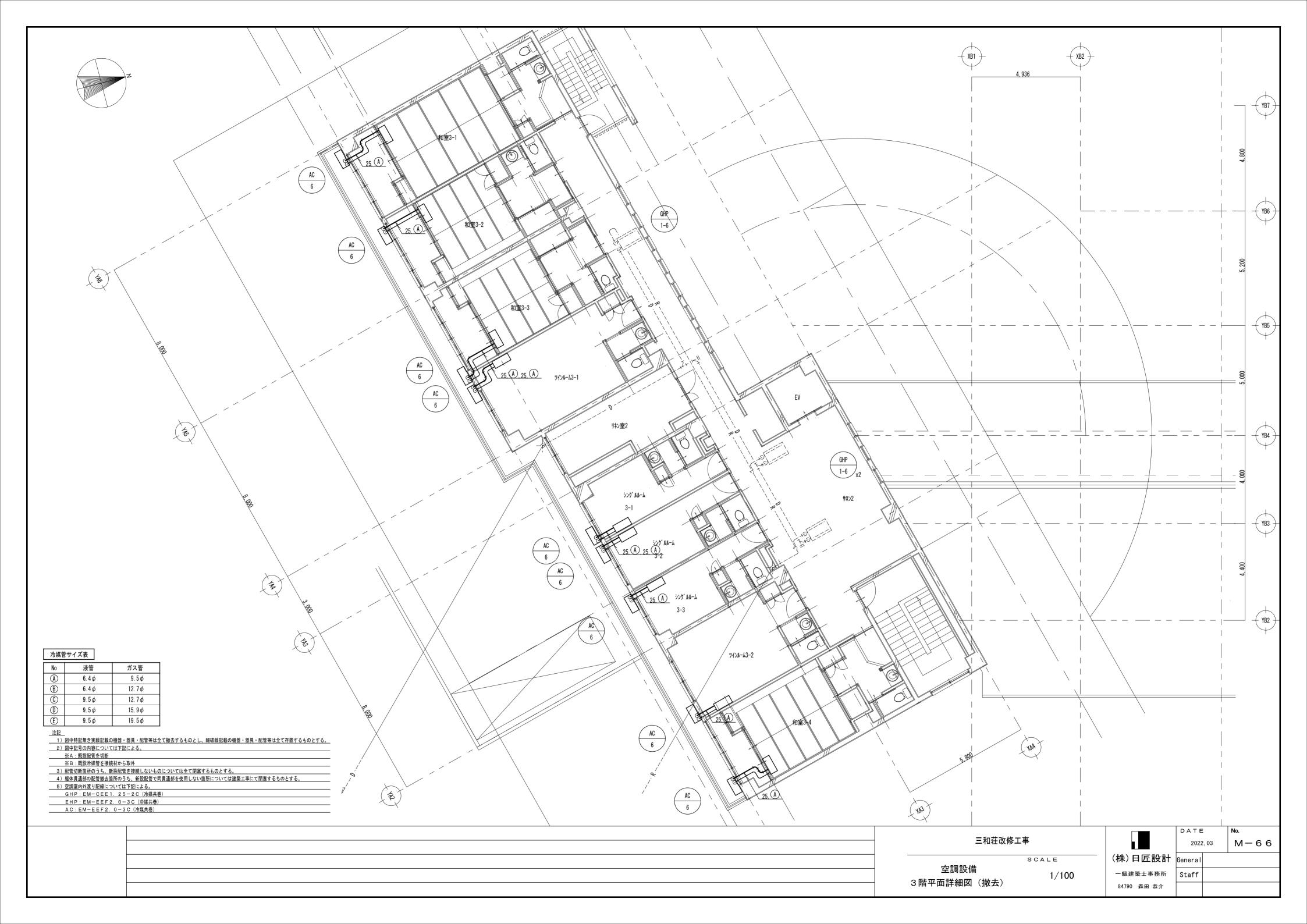
	DATE		No.
	2022, 03		M-62
(株)日匠設計	General		
一級建築士事務所	Staff		
84790 森田 恭介			

一級建









記号	名 称	仕 様	電気	電気容量			
			電 源 (<i>φ</i> -V)	容 量 (W・kW)	一 台数	設 置 場 所	備考
F E - 1	 排気ファン	型式:片吸込シロッコファン(片持天吊型)	3 \$\phi 2 0 0 V	2. 2 kW	1	1階 前室 [撤去]	
		能力: #2 1/2×7, 200m3/h×300Pa					
		附属品:防振吊金物共					
F E - 2	排気ファン	型式:ストレートシロッコファン(消音型)	1 Ø 1 0 0 V	3 8 5 W	1	1階 エントランス女子便所 [存置]	
		能力:250 ф×1,200m3/h×150Pa					
		附属品:防振吊金物共					
V F — 1	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	6 2 W	1	1階 和室1 [存置]	
		能力:150 <i>ф</i> ×300m3/h×80Pa			1	1階 和室2 [存置]	
		附属品:防振吊金物共			1	1階 和室3 [存置]	
					1	1階 和室4 [存置]	
					4	1階 レストラン [存置]	
					1	1階 休憩和室 [撤去]	
					1	1階 ミーティングルーム [存置]	
					1	2階 リネン室1 [存置]	
					2	2階 サロン1 [存置]	
					1	2階 ツインルーム2-1 [撤去]	
					1	2階 ツインルーム2-2 [撤去]	
					1	2階 ツインルーム2-3 [撤去]	
					1	2階 ツインルーム2-4 [撤去]	
					1	2階 和室2-1 [撤去]	
					1	2階 和室2-2 [撤去]	
					1	2階 音響調光室 [存置]	
					1	3階 リネン室2 [存置]	
					2	3階 サロン2 [存置]	
					1	3階 ツインルーム3-1 [撤去]	
					1	3階 ツインルーム3-2 [撤去]	
					1	3階 和室3-1 [撤去]	
					1	3階 和室3-2 [撤去]	
					1	3階 和室3-3 [撤去]	
					1	3階 和室3-4 [撤去]	
V F – 2	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	2 3 W	1	1階 休憩室2 [撤去]	
		能力:100φ×100m3/h×80Pa			1	1階 食品庫 [撤去]	
		附属品:防振吊金物共			1	1階 宿直室倉庫 [存置]	

三和荘改修工事 SCALE

換気設備 機器表(1)(撤去) NS

	DATE		No.
	2022, 03		M-67
株) 日匠設計	General		
一級建築士事務所	Staff		
84790 森田 恭介			

	名 称	仕 様	電 気 容 量			
記号			電 源 (((((((((((容 量 (W・kW)	- 台数	設置場所 備 考
V F - 3	天井扇	型式:低騒音型	1 \$\phi\$ 1 0 0 V	1 7 W	1	1階 厨房便所 [存置]
		能力:100 <i>ϕ</i> ×100m3/h×80Pa			1	1階 宿直UB [存置]
		附属品:防振吊金物共			1	1階 脱衣便所 1 [撤去]
					1	1階 脱衣便所 2 [撤去]
					1	1階 ミーティングルーム便所 [存置]
					1	2階 ツインルーム2-1便所 [撤去]
					1	2階 ツインルーム2-2便所 [撤去]
					1	2階 ツインルーム2-3便所 [撤去]
					1	2階 ツインルーム2-4便所 [撤去]
					1	2階 和室2-1便所 [撤去]
					1	2階 和室2-2便所 [撤去]
					1	2階 シングルルーム2-1便所 [撤去]
					1	2階 シングルルーム2-2便所 [撤去]
					1	2階 シングルルーム2-3便所 [撤去]
					1	2階 ツインルーム2-1UB [撤去]
					1	2階 ツインルーム2-4UB [撤去]
					1	3階 ツインルーム3-1 [撤去]
					1	3階 ツインルーム3-2 [撤去]
					1	3階 和室3-1 [撤去]
					1	3階 和室3-2 [撤去]
					1	3階 和室3-3 [撤去]
					1	3階 和室3-4 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-1便所 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-2便所 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-3便所 [撤去]
V F - 4	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	4 6 W	1	1階 便所3 [撤去]
		能力:150 <i>ϕ</i> ×200m3/h×80Pa			1	1階 便所 4 [撤去]
		附属品:防振吊金物共			1	1階 便所8 [撤去]
					1	1階 便所9 [撤去]
V F — 5	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	3 6 W	1	1階 EVホール [撤去]
		能力:150 <i>φ</i> ×200m3/h×80Pa			1	1階 宿直室 [存置]
		附属品:防振吊金物共			1	1階 休憩室 [存置]
					2	1階 ギャラリー [撤去]
					2	1階 休憩ロビー [撤去]
					1	1階 倉庫3 [撤去]
					1	2階 シングルルーム2-1 [撤去]
					1	2階 シングルルーム2-2 [撤去]
					1	2階 シングルルーム2-3 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-1 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-2 [撤去]
					1	3階 シングルルーム3-3 [撤去]
		1	1	1	1	

三和荘改修工事 SCALE

換気設備 機器表(2)(撤去)

M-68 (株)日匠設計 General 一級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介

		仕 様	電気	電 気 容 量		
記号	名 称		電 源 (φ-V)	容量 (W・kW)	一 台数	設置場所備考
V F - 6	天井扇	型式:低騒音インテリア型	1 Ø 1 0 0 V	4 6 W	2	1階 事務室 [存置]
		能力:150 <i>ϕ</i> ×250m3/h×80Pa				
		附属品:防振吊金物共				
V F — 7	天井扇	型式:低騒音オール金属型	1 Ø 1 0 0 V	3 5 W	1	1階宿直室[存置]
		能力:150 <i>ϕ</i> ×200m3 <i>╱</i> h×80Pa				
		附属品:防振吊金物共				
V F - 8	天井扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	4 6 W	1	1階 脱衣室1 [撤去]
		能力:150 <i>ϕ</i> ×300m3/h×80Pa			1	1階 脱衣室 2 [撤去]
		附属品:防振吊金物共				
FOV-1	有圧扇	型式:低騒音型(給気改造型)	1 Ø 1 0 0 V	3 7 0 W	1	1階機械室[存置]
		能力:450 <i>ф</i> ×4,000m3/h×100Pa				
		附属品:保護ガード、固定式シャッター、防虫網付SUS製ウェザーカバー、フィルター、				
		給気用アタッチメント、温度スイッチ共				
F E V - 1	有圧扇	型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	3 7 0 W	1	1 階 機械室 [存置]
		能力:450 ϕ ×3,500m3 \angle h×50Pa				
		附属品:保護ガード、風圧式シャッター、防虫網付SUS製ウェザーカバー、取付枠共				
F E V - 2		型式:低騒音型	3 Ø 2 0 0 V	1 4 8 W	4	2階 多目的ホール吹抜 [撤去]
		能力:350φ×1,750m3/h×50Pa				
		附属品:防虫網付SUS製ウェザーカバー、取付枠共				
FEV-3		型式:低騒音型	1 Ø 1 0 0 V	39. 5W	1	1階 ピアノ庫 [存置]
		能力:250 <i>ϕ</i> ×200m3/h×50Pa				
		附属品:風圧式シャッター、防虫網付SUS製ウェザーカバー、取付枠共				
FEV-4	有圧扇	型式:低騒音型	1 \$\phi\$ 1 0 0 V	39. 5W	2	1階 倉庫2 [存置]
12 4	D /T M	能力: 250 φ × 350 m 3 / h × 50 P a	141001	00.00	-	
		MIRITIAN MIRITIA				
		阿爾田・風圧などイング 、例五個目3000数フェブ ガバ 、私口行				
FEV-5	 有圧扇	型式:低騒音型	1 φ 1 0 0 V	3 \$\phi 2 0 0 V	2	2階 浴室吹抜 [撤去]
• •	D /ㅗ/4/3	能力: 350 φ × 1, 250 m 3 / h × 50 P a	Ι Ψ 1 Ο Ο V	3 4 2 0 0 V		
		FIJAMAN NO CORVEY NO. CANDITY				
					+	
					1	

三和荘改修工事

SCALE

換気設備 機器表(3)(撤去)

(株)日匠設計 General 一級建築士事務所 Staff 84790 森田 恭介

M - 69

